
令和7年度
大分市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

報告書

令和8年3月
大分市



目 次

I 調査の概要	1
1 調査の方法	1
2 調査票の回収結果	1
3 集計結果の表し方	1
II 集計結果	3
回答者の基本属性	3
問1 あなたのご家族や生活状況について	6
問2 からだを動かすことについて	13
問3 食べることについて	33
問4 毎日の生活について	38
問5 地域での活動について	44
問6 就労について	53
問7 人とのつながりについて	55
問8 健康について	69
問9 認知症について	76
問10 医療や介護が必要になったときの過ごし方について	83
問11 長寿応援バス（旧：ワンコインバス）について	88
問12 ご意見・ご提案について	92
III 生活機能低下リスク等の評価	93
IV 調査票	125



I 調査の概要



I 調査の概要

1 調査の方法

本調査は、大分市に居住する 65 歳以上の在宅高齢者に関し、要介護度の悪化につながるリスクや生活支援の充実、介護予防の推進等のために必要な社会資源を把握し、「大分市高齢者福祉計画及び第 10 期大分市介護保険事業計画」の基礎資料とするものです。

調査対象	大分市の 65 歳以上の在宅高齢者(要介護1～要介護5の方を除く)
抽出方法	無作為抽出
調査期間	令和7年 12 月1日(月)発送～令和8年2月6日(金) ※佐賀関地区の火災の影響により調査期間を1か月延長
調査方法	郵送による調査票の配布・回収
調査項目	・「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」に示されるモデル調査票の必須設問と一部の任意設問 ・市独自設問(外出の行先・範囲・移動手段、認知症支援等)

2 調査票の回収結果

調査票の配布数	5,000 票
調査票の回収数	3,503 票
回収率	70.0%

3 集計結果の表し方

- ・ 百分率による集計では、回答者数(限定設問においては該当者数)を 100%として算出し、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。複数回答の設問では、比率の合計が 100%を超えることがあります。
- ・ 報告書中の「n=」は各項目の比率を計算する際の母数となるサンプル数(回答者数)を示します。
- ・ クロス集計(年齢階級別の集計等)の図については、分析軸の項目の後に(n=XX)として、各項目の回答者数を表記しています。
- ・ クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。
- ・ 数表の網掛けは、各分類の中で最も回答が多かった項目を意味します。ただし、最大値であっても回答割合が 10%未満、回答数が 10 件未満、「その他」のいずれかに該当する場合は網掛けの対象外としています。

Ⅱ 調査結果

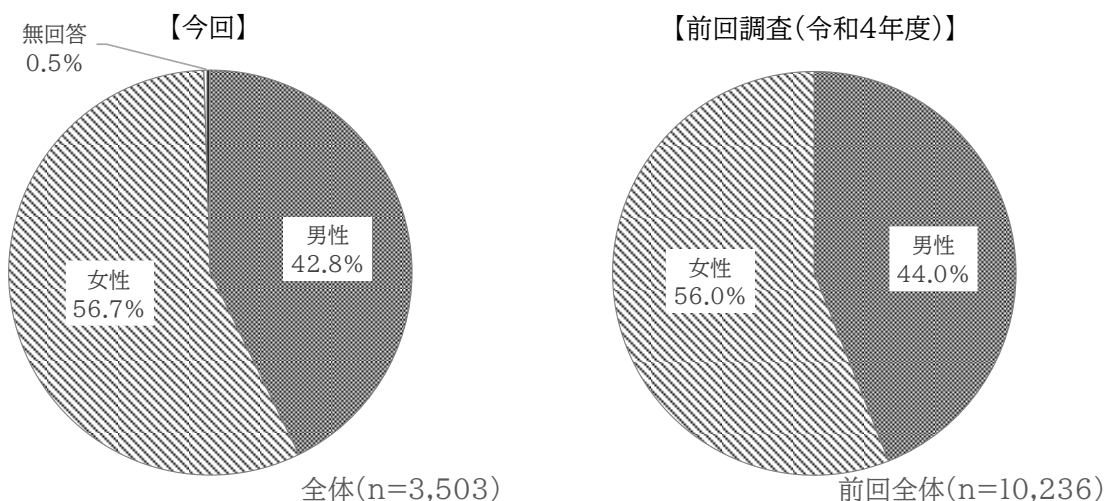


Ⅱ 集計結果

回答者の基本属性

(1) 性別

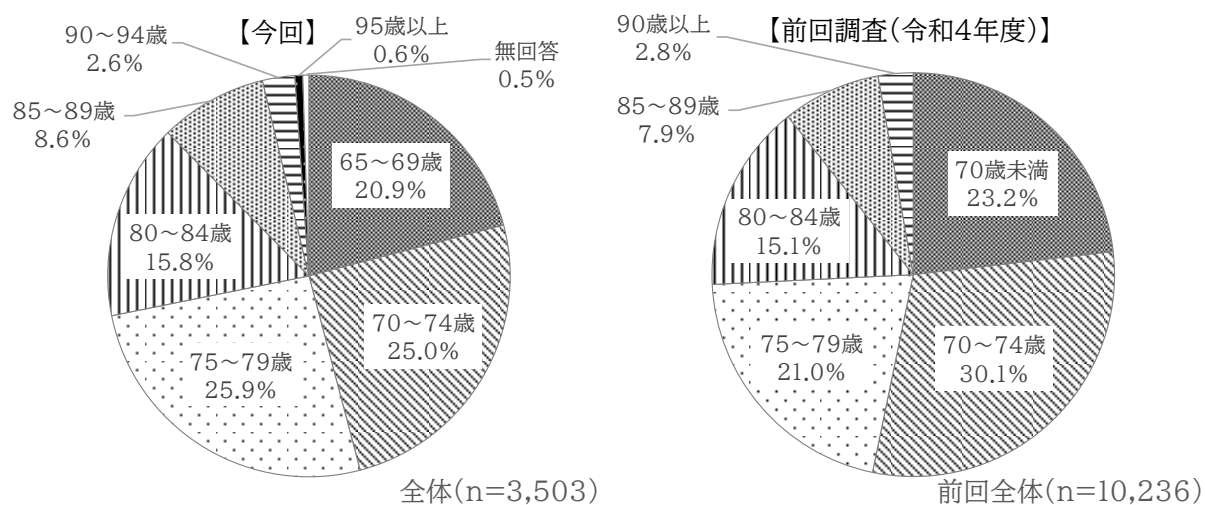
回答者の性別は、「男性」が42.8%、「女性」が56.7%となっています。
なお、参考として、前回調査（令和4年度）の性別構成を掲載します。



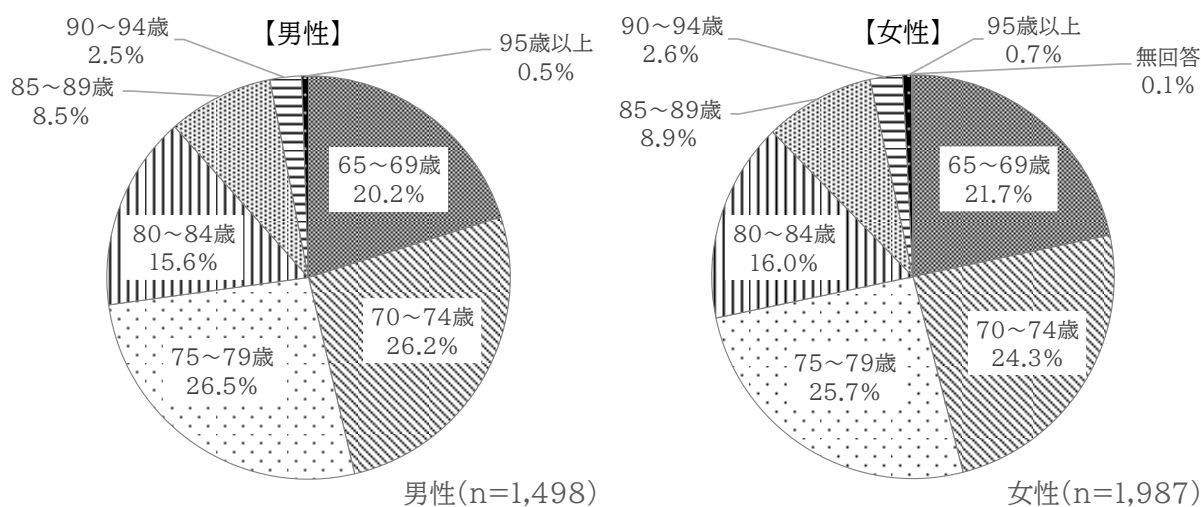
(2) 年齢

回答者の年齢は、「75～79歳」が25.9%と最も高く、次いで「70～74歳」の25.0%、「65～69歳」の20.9%、「80～84歳」の15.8%、「85～89歳」の8.6%、「90～94歳」の2.6%、「95歳以上」の0.6%となっています。

なお、参考として、前回調査（令和4年度）の年齢構成を掲載します。



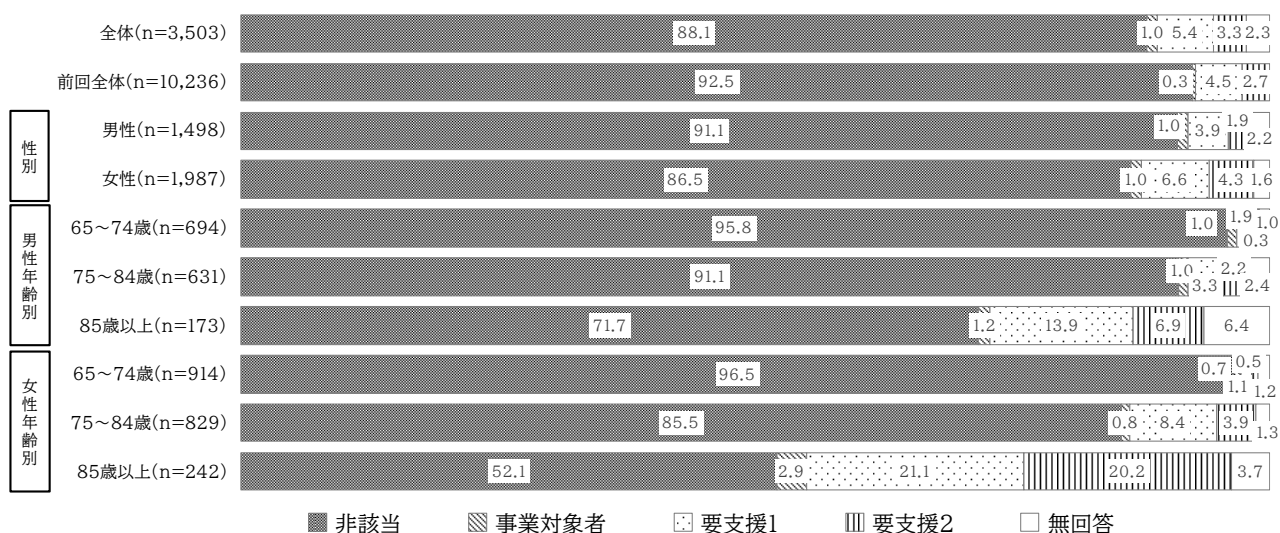
- ・ 男性では「75～79歳」が26.5%と最も高く、次いで「70～74歳」の26.2%、「65～69歳」の20.2%の順となっています。
- ・ 女性では「75～79歳」が25.7%と最も高く、次いで「70～74歳」の24.3%、「65～69歳」の21.7%の順となっています。



(3) 要介護状態

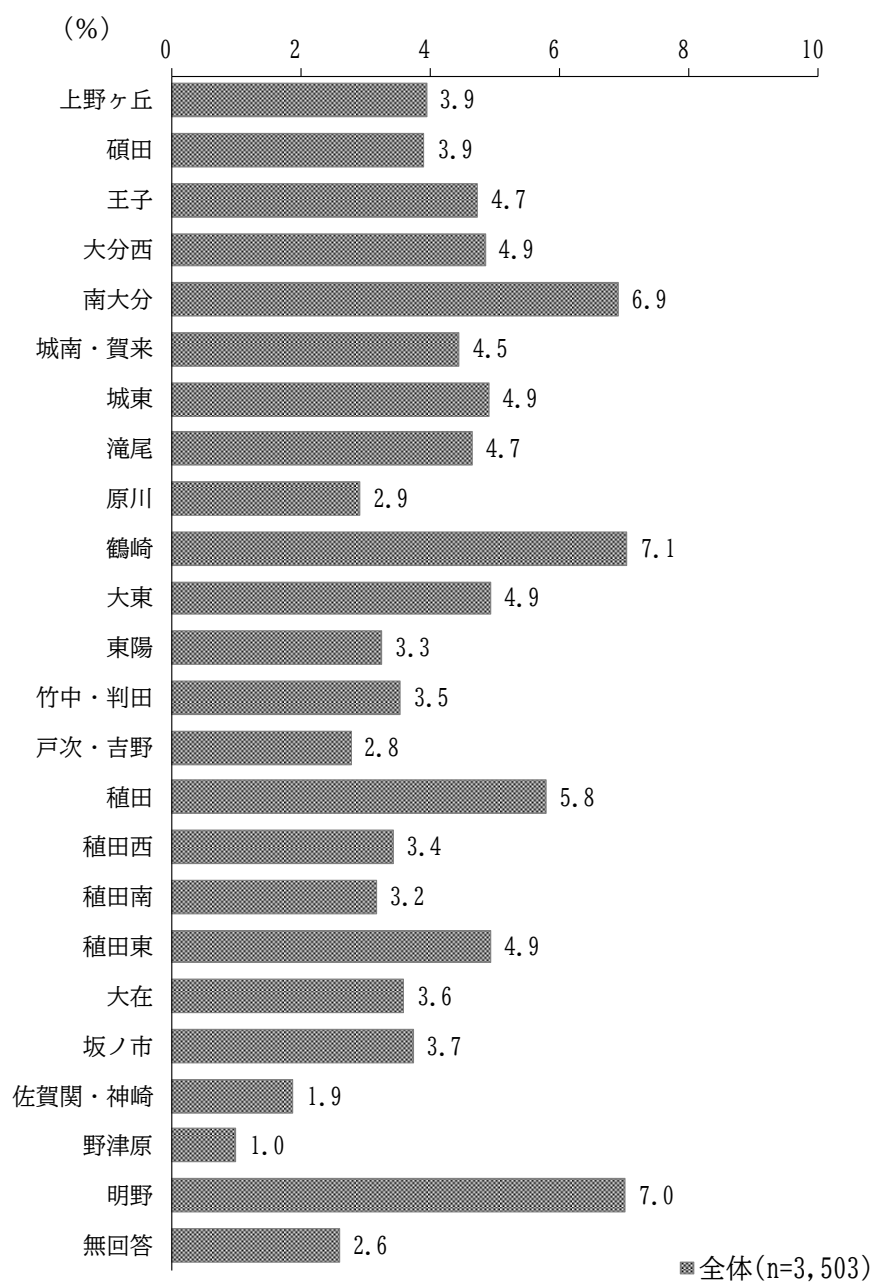
回答者の要介護状態は、「非該当」が88.1%で、「事業対象者」が1.0%、「要支援1」が5.4%、「要支援2」が3.3%となっています。

- ・ 「事業対象者」、「要支援1」、「要支援2」の該当者は、85歳以上の男性で2割強、85歳以上の女性で4割強です。



(4) 居住地区

回答者の居住地区は、「鶴崎」が7.1%で最も高く、次いで「明野」の7.0%、「南大分」の6.9%、「植田」の5.8%、「大分西」「城東」「大東」「植田東」の4.9%の順となっています。

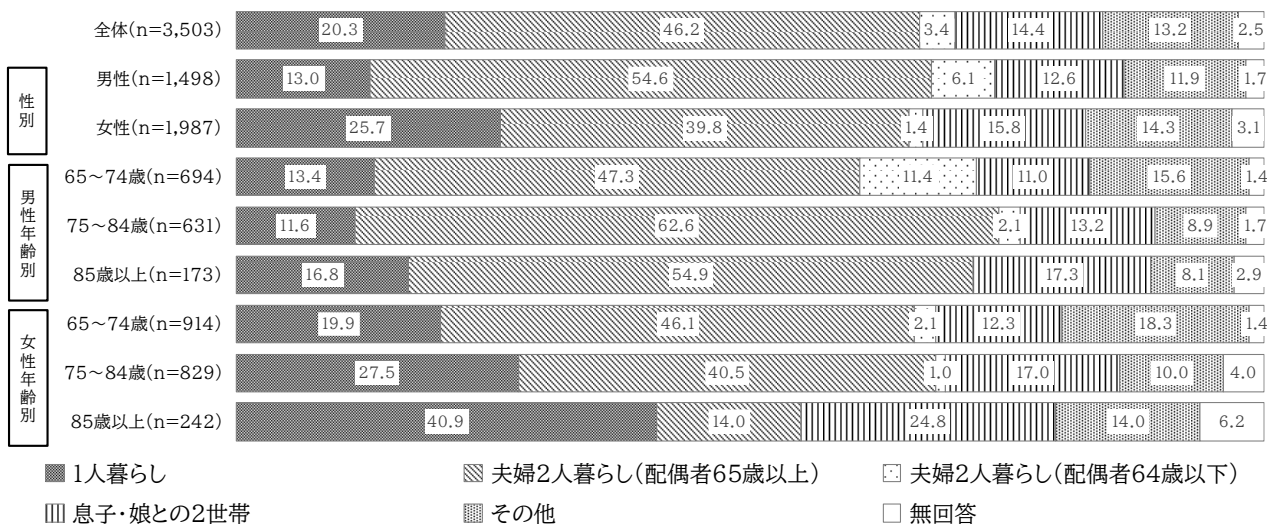


問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成を教えてください

家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が46.2%と最も高く、次いで「1人暮らし」が20.3%、「息子・娘との2世帯」が14.4%となっています。

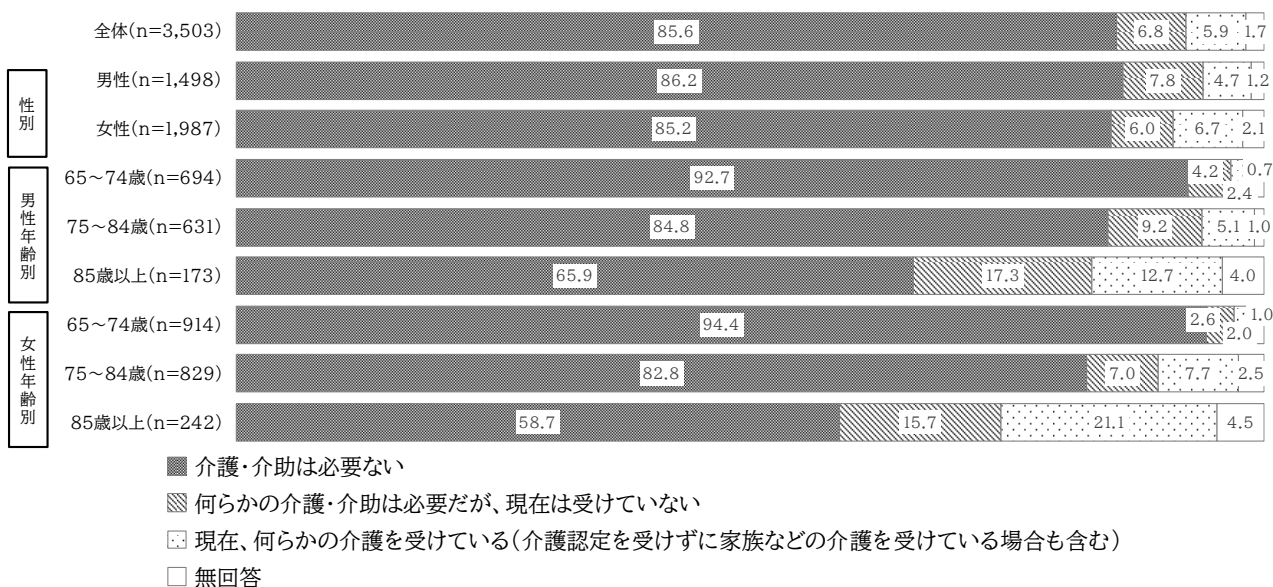
- 85歳以上の女性では「1人暮らし」が4割にのびります。



(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

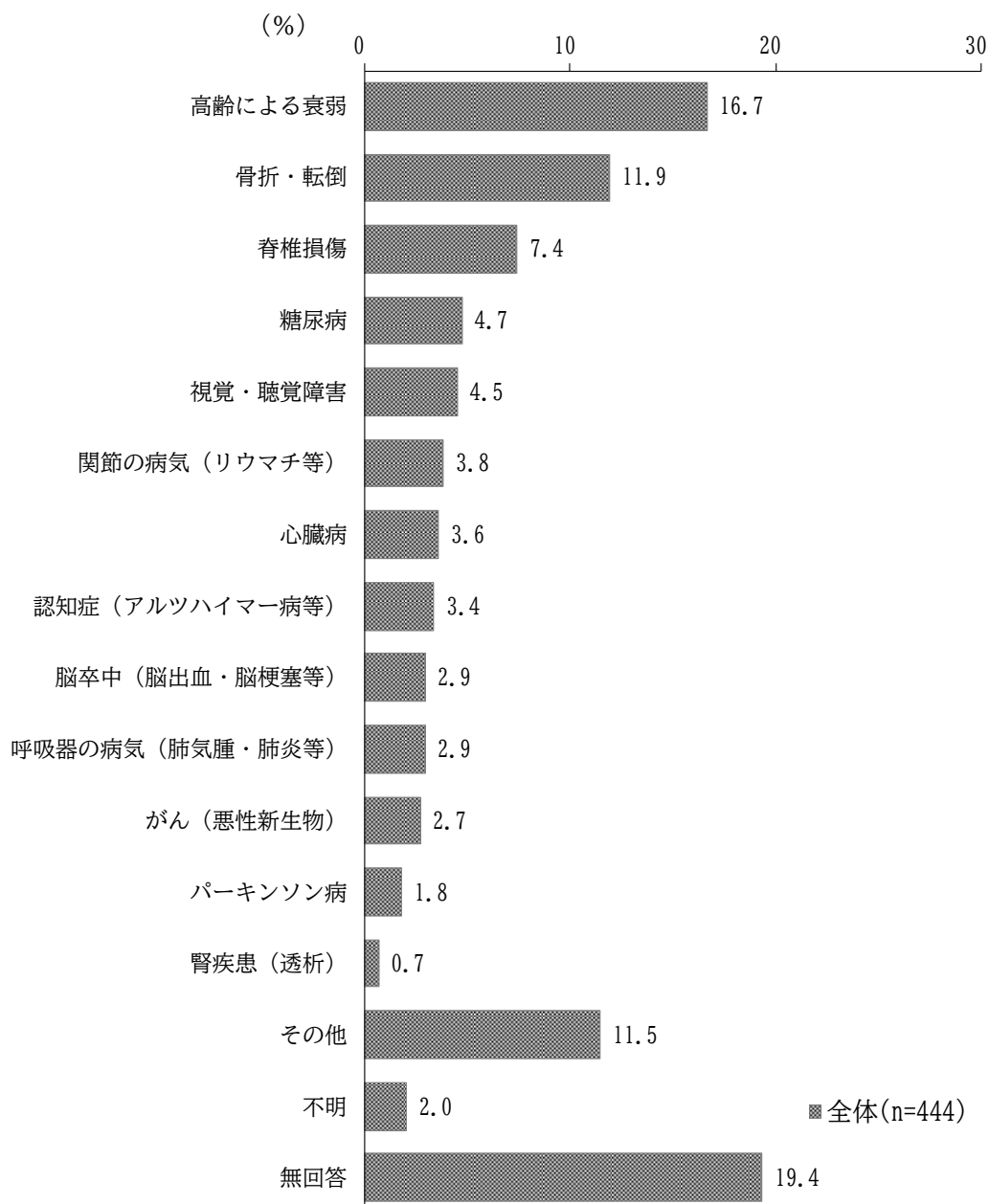
介護・介助の状況は、「介護・介助は必要ない」が85.6%で大部分を占めており、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.8%、「現在、何らかの介護を受けている」が5.9%となっています。

- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」の割合が高くなっています。



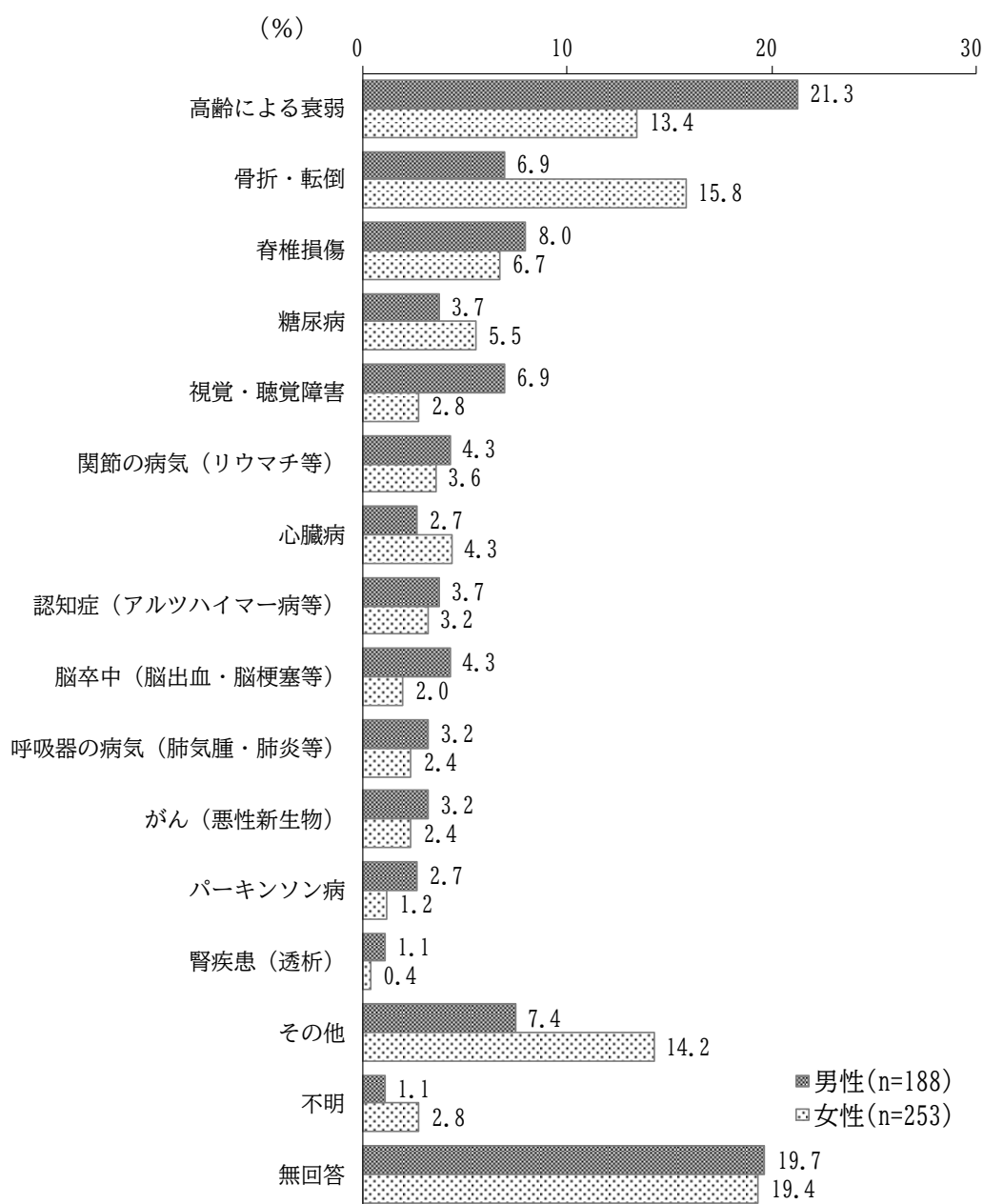
(2) ① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（いくつでも）

(2)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方
介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」の割合が16.7%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の11.9%、「脊椎損傷」の7.4%となっています。



※「全体」降順ソート

- ・ 男性は「高齢による衰弱」が女性よりも 7.9 ポイント、女性は「骨折・転倒」が男性よりも 8.9 ポイント高くなっています。



※「全体」降順ソート

[上段:人 下段:%]	高齢による衰弱	骨折・転倒	脊椎損傷	糖尿病	視覚・聴覚障害	関節の病気（リウマチ等）	心臓病	等 認知症（アルツハイマー病）	等 脳卒中（脳出血・脳梗塞）	等 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	等 がん（悪性新生物）	等 パーキンソン病	等 腎疾患（透析）
	全体 (n=444)	74 16.7	53 11.9	33 7.4	21 4.7	20 4.5	17 3.8	16 3.6	15 3.4	13 2.9	13 2.9	12 2.7	8 1.8
男性 (n=188)	40 21.3	13 6.9	15 8.0	7 3.7	13 6.9	8 4.3	5 2.7	7 3.7	8 4.3	6 3.2	6 3.2	5 2.7	2 1.1
男性 65～74歳 (n=46)	7 15.2	2 4.3	3 6.5	1 2.2	4 8.7	1 2.2	3 6.5	1 2.2	4 8.7	0 0.0	2 4.3	2 4.3	2 4.3
男性 75～84歳 (n=90)	9 10.0	6 6.7	10 11.1	4 4.4	7 7.8	7 7.8	2 2.2	5 5.6	3 3.3	4 4.4	4 4.4	3 3.3	0 0.0
男性 85歳以上 (n=52)	24 46.2	5 9.6	2 3.8	2 3.8	2 3.8	0 0.0	0 0.0	1 1.9	1 1.9	2 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
女性 (n=253)	34 13.4	40 15.8	17 6.7	14 5.5	7 2.8	9 3.6	11 4.3	8 3.2	5 2.0	6 2.4	6 2.4	3 1.2	1 0.4
女性 65～74歳 (n=42)	4 9.5	3 7.1	1 2.4	5 11.9	1 2.4	0 0.0	1 2.4	1 2.4	0 0.0	0 0.0	3 7.1	1 2.4	0 0.0
女性 75～84歳 (n=122)	14 11.5	23 18.9	8 6.6	7 5.7	4 3.3	6 4.9	2 1.6	4 3.3	5 4.1	3 2.5	2 1.6	2 1.6	1 0.8
女性 85歳以上 (n=89)	16 18.0	14 15.7	8 9.0	2 2.2	2 2.2	3 3.4	8 9.0	3 3.4	0 0.0	3 3.4	1 1.1	0 0.0	0 0.0

[上段:人 下段:%]	その他	不明	無回答
	全体 (n=444)	51 11.5	9 2.0
男性 (n=188)	14 7.4	2 1.1	37 19.7
男性 65～74歳 (n=46)	5 10.9	1 2.2	8 17.4
男性 75～84歳 (n=90)	7 7.8	0 0.0	19 21.1
男性 85歳以上 (n=52)	2 3.8	1 1.9	10 19.2
女性 (n=253)	36 14.2	7 2.8	49 19.4
女性 65～74歳 (n=42)	8 19.0	1 2.4	13 31.0
女性 75～84歳 (n=122)	18 14.8	4 3.3	19 15.6
女性 85歳以上 (n=89)	10 11.2	2 2.2	17 19.1

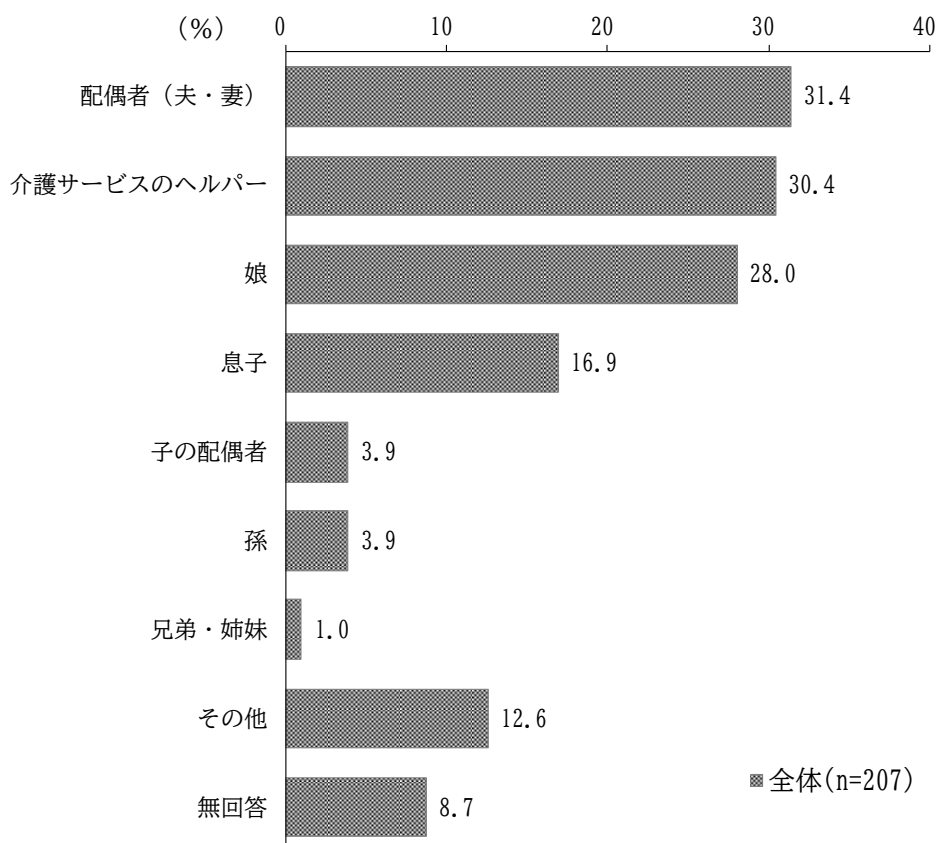
- ・ 男性の75～84歳では「脊椎損傷」、女性の65～74歳では「糖尿病」、女性の75～84歳では「骨折・転倒」の割合が最も高くなっています。

※「全体」降順ソート
 ※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目
 ただし、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目および「その他」については網掛けしていない。
 （本報告書においては、以下同様）
 また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

(2) ② 主にどなたの介護・介助を受けていますか (いくつでも)

(2)で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方

主に介護・介助している人は「配偶者(夫・妻)」が31.4%と最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」の30.4%、「娘」の28.0%の順となっています。



※「全体」降順ソート

- 性別にみると、男性は「配偶者」が53.5%と5割を超えて最も高く、また女性よりも34.7ポイント高くなっています。女性は「娘」が37.6%で最も高くなっています。
- 年齢別にみると、年齢層に関係なく男性は「配偶者」、女性は「娘」の割合が最も高くなっています。

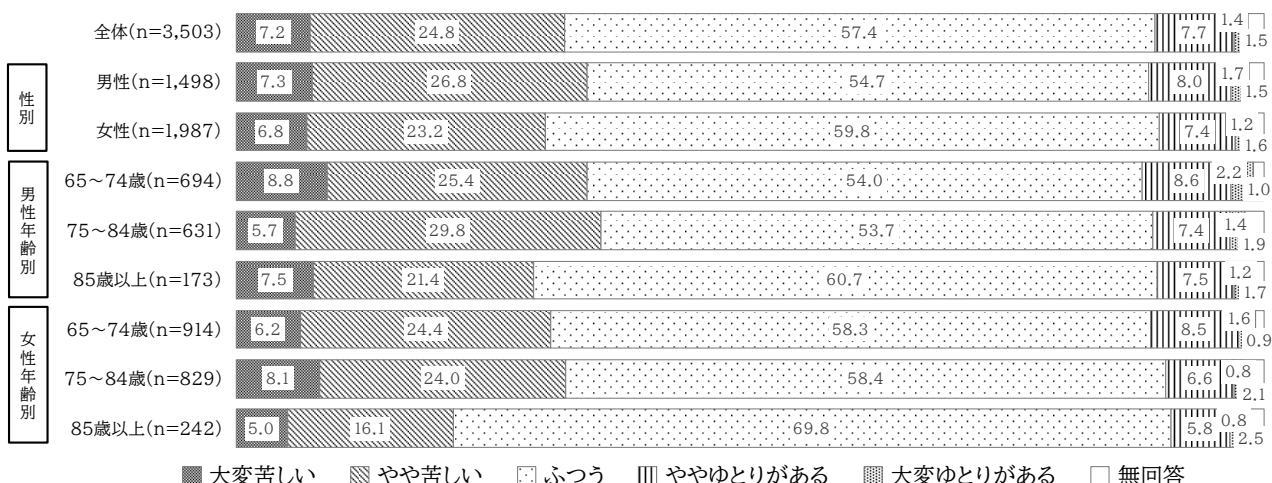
[上段:人 下段:%]	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービスの ヘルパー	その他	無回 答
	全体 (n=207)	65 31.4	35 16.9	58 28.0	8 3.9	8 3.9	2 1.0	63 30.4	26 12.6
男性 (n=71)	38 53.5	13 18.3	7 9.9	2 2.8	1 1.4	0 0.0	18 25.4	10 14.1	6 8.5
男性 65~74歳 (n=17)	10 58.8	2 11.8	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 17.6	2 11.8	1 5.9
男性 75~84歳 (n=32)	19 59.4	5 15.6	3 9.4	1 3.1	1 3.1	0 0.0	6 18.8	5 15.6	3 9.4
男性 85歳以上 (n=22)	9 40.9	6 27.3	3 13.6	1 4.5	0 0.0	0 0.0	9 40.9	3 13.6	2 9.1
女性 (n=133)	25 18.8	22 16.5	50 37.6	6 4.5	7 5.3	2 1.5	44 33.1	16 12.0	11 8.3
女性 65~74歳 (n=18)	4 22.2	1 5.6	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 38.9	3 16.7	2 11.1
女性 75~84歳 (n=64)	18 28.1	10 15.6	25 39.1	3 4.7	4 6.3	2 3.1	17 26.6	6 9.4	6 9.4
女性 85歳以上 (n=51)	3 5.9	11 21.6	21 41.2	3 5.9	3 5.9	0 0.0	20 39.2	7 13.7	3 5.9

※「全体」降順ソート

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

現在の暮らしの経済状況をみると、「ふつう」が57.4%と最も高く、「大変苦しい」は7.2%、「やや苦しい」は24.8%となっています。

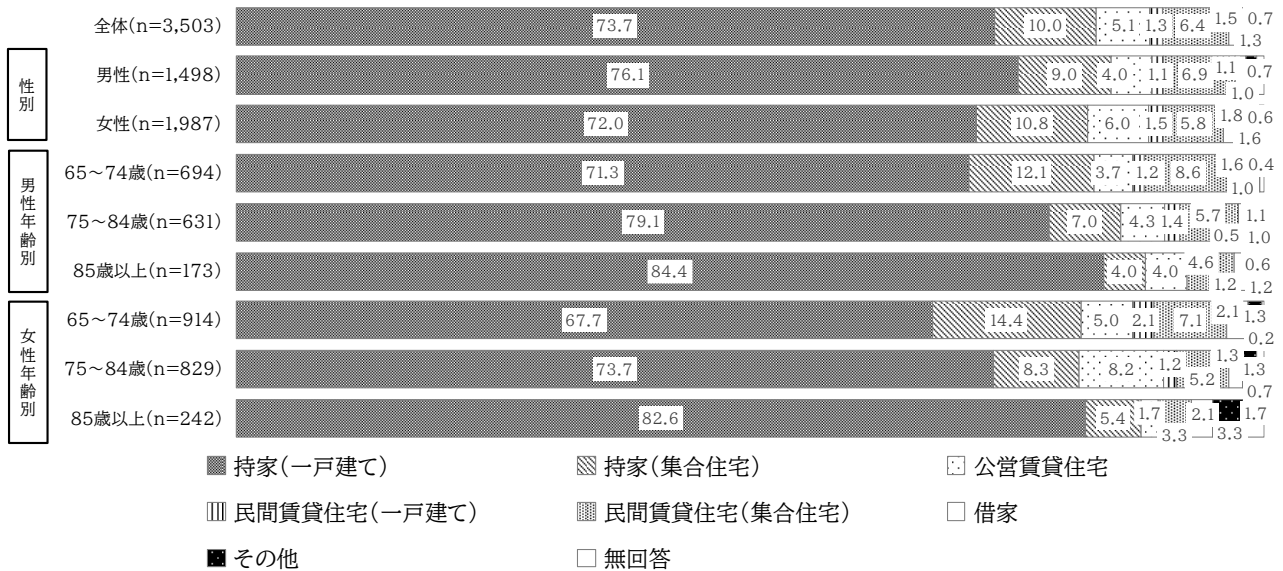
- 「大変苦しい」は65~74歳の男性と75~84歳の女性でやや高くなっています。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

住居形態としては、「持家（一戸建て）」が73.7%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が10.0%、「公営賃貸住宅」が5.1%の順となっています。

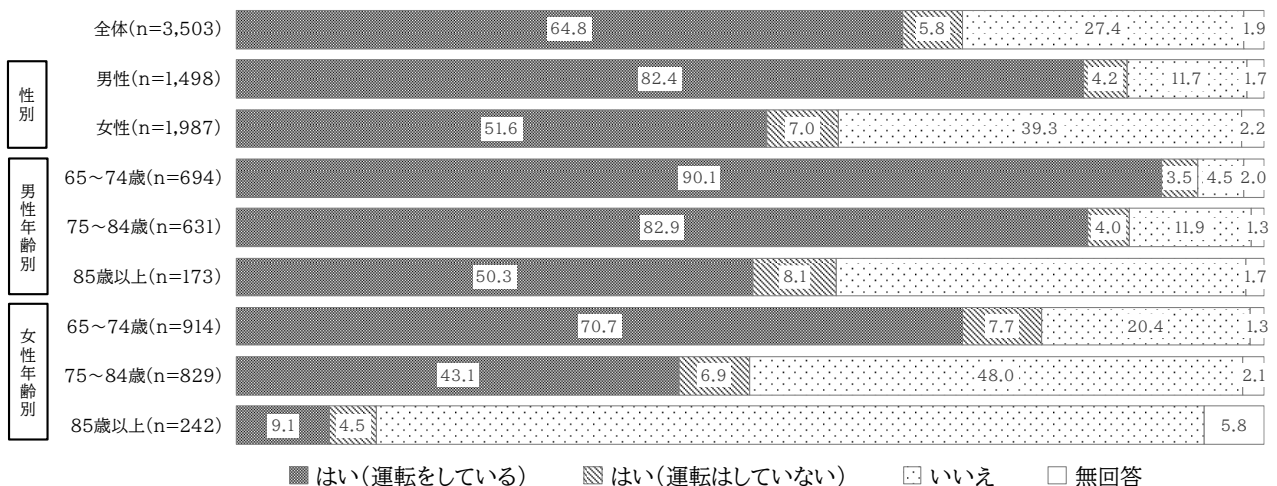
- 「持家（集合住宅）」が男女とも65～74歳で高くなっています。



(5) 自動車運転免許を持っていますか（自動車を運転していますか）

自動車運転免許の所有（自動車を運転しているか）については「はい（運転している）」は64.8%、「はい（運転はしない）」は5.8%、「いいえ」は27.4%となっています。

- 「はい（運転している）」は男性の方が女性よりも高く、男性では85歳以上でも5割となっています。



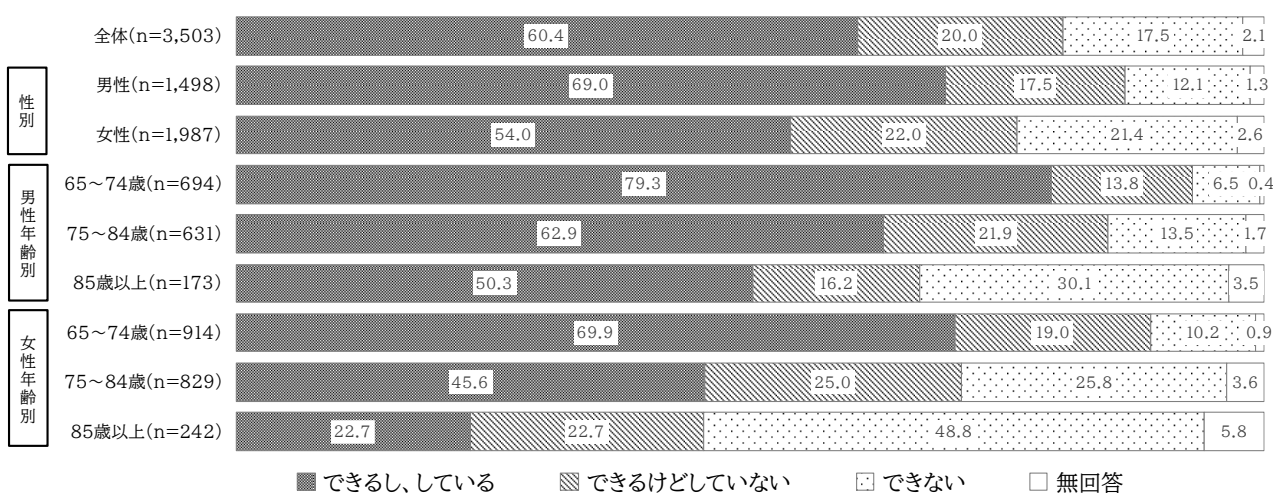
問2 からだを動かすことについて

問2(1)～(5)は運動器機能の低下を問う設問です。これらの設問で3問以上該当する選択肢((1)～(3)「できない」、(4)「何度もある」「1度ある」、(5)「とても不安である」「やや不安)」が回答された場合は、運動器機能の低下している高齢者と判定されます。

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」は60.4%、「できるけどしていない」は20.0%、「できない」は17.5%となっています。

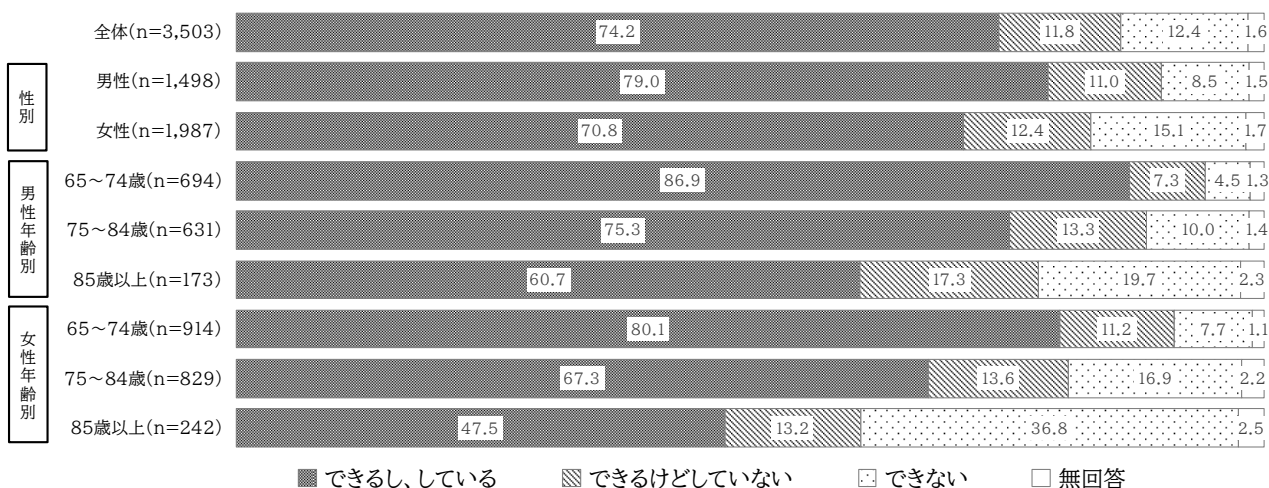
- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなっており、特に85歳以上の女性では5割近くが「できない」と回答しています。



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」は74.2%、「できるけどしていない」は11.8%、「できない」は12.4%となっています。

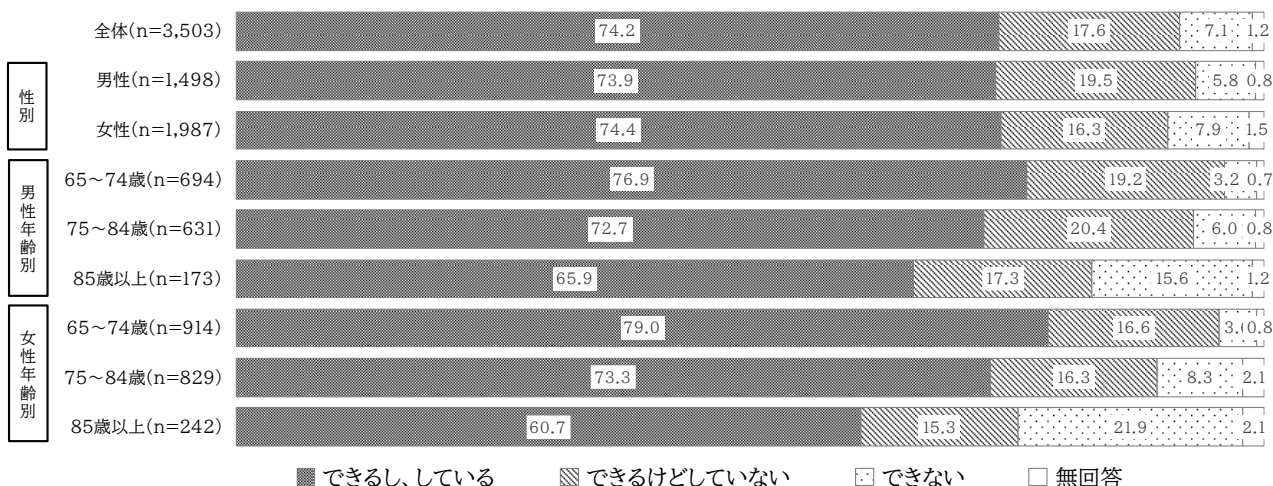
- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなっており、特に85歳以上の女性では4割近くが「できない」と回答しています。



(3) 15分位続けて歩いていますか

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」は74.2%、「できるけどしていない」は17.6%、「できない」は7.1%となっています。

- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなっており、85歳以上の女性の約2割が「できない」と回答しています。

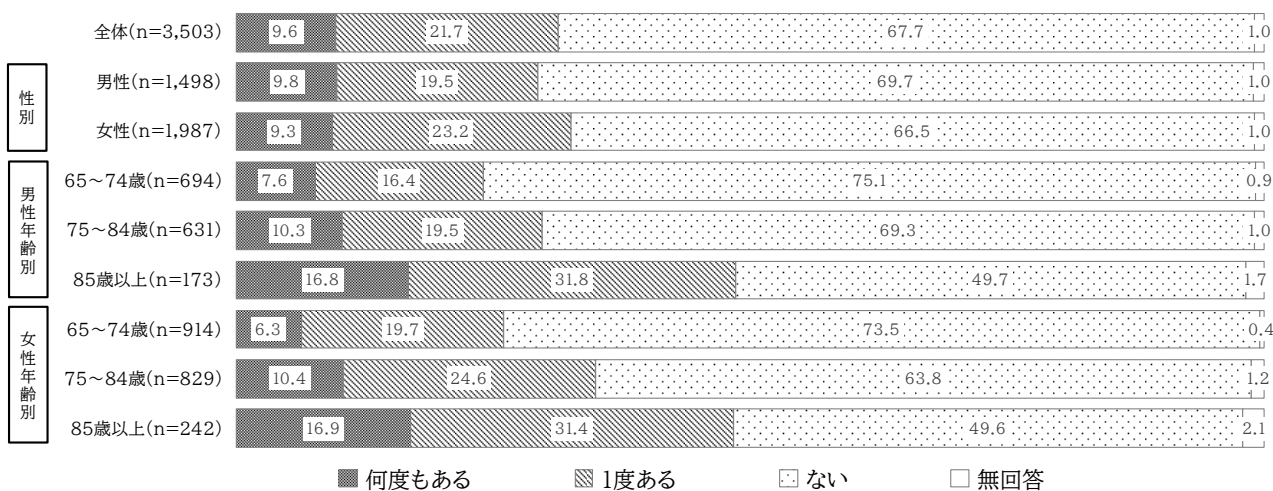


問2(4)は転倒リスクを問う設問です。「何でもある」「1度ある」が回答された場合は、転倒リスクのある高齢者と判定されます。

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が67.7%と最も高く、次いで「1度ある」の21.7%、「何でもある」の9.6%の順となっています。

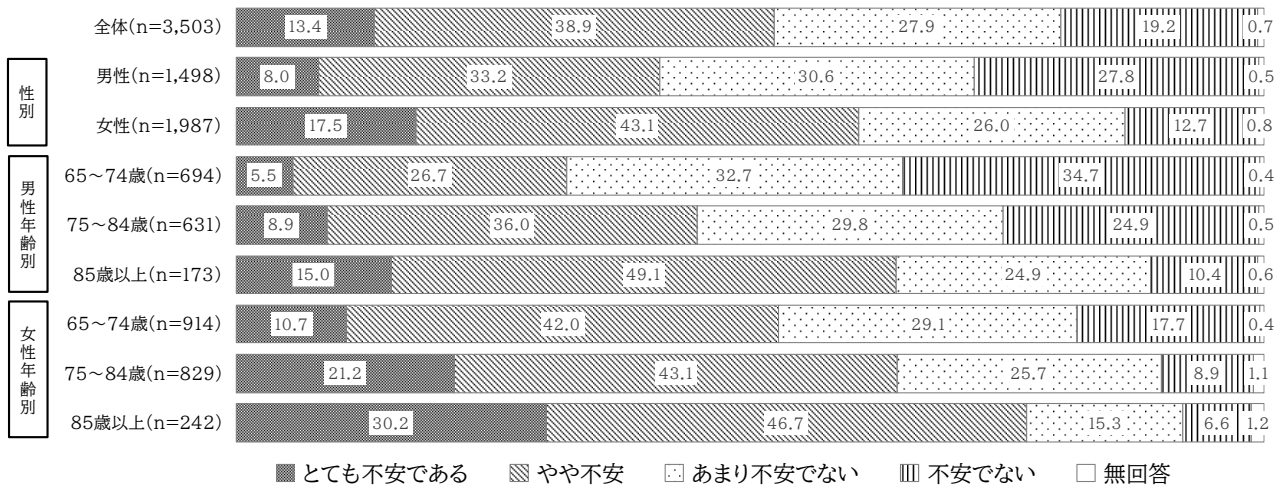
- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「何でもある」「1度ある」の割合が高くなっています。



(5) 転倒に対する不安は大きいですか

転倒に対する不安については、「とても不安である」は13.4%、「やや不安」は38.9%、「あまり不安でない」は27.9%、「不安でない」は19.2%となっています。

- ・ 「とても不安である」「やや不安である」を合わせた割合は女性の方が高くなっています。
- ・ 男女ともに年齢が高くなるにつれて「とても不安である」「やや不安」の割合が高くなり、85歳以上の女性では、8割近くが転倒に不安があると回答しています。

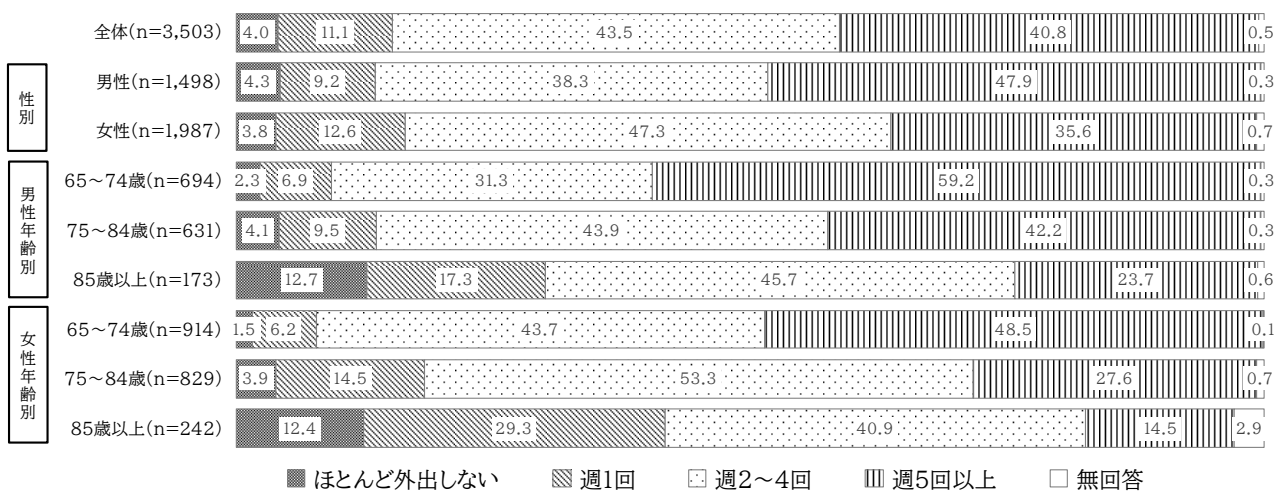


問2(6)は閉じこもり傾向を問う設問です。「ほとんど外出しない」「週1回」が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者と判定されます。

(6) 週に1回以上は外出していますか

外出の回数については、「週2~4回」が43.5%と最も高く、次いで「週5回以上」の40.8%、「週1回」の11.1%、「ほとんど外出しない」4.0%の順となっています。

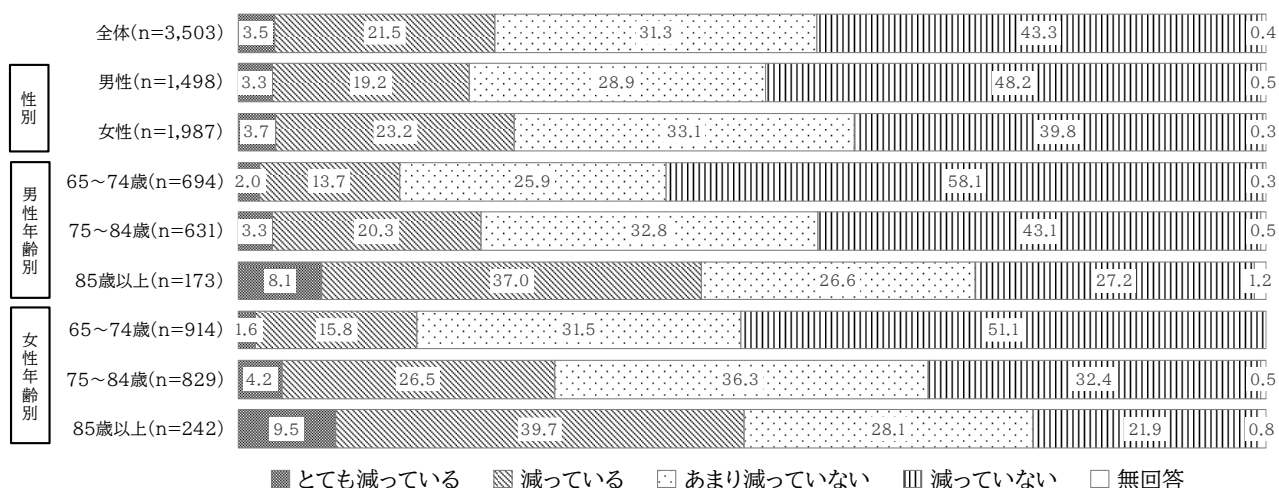
- ・ 男性は「週5回以上」の割合が女性よりも高く、男性の方が外出する頻度の高い傾向がみられます。
- ・ 男女ともに年齢が高くなるにつれて「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

外出回数の増減については、「とても減っている」は3.5%、「減っている」は21.5%となっています。

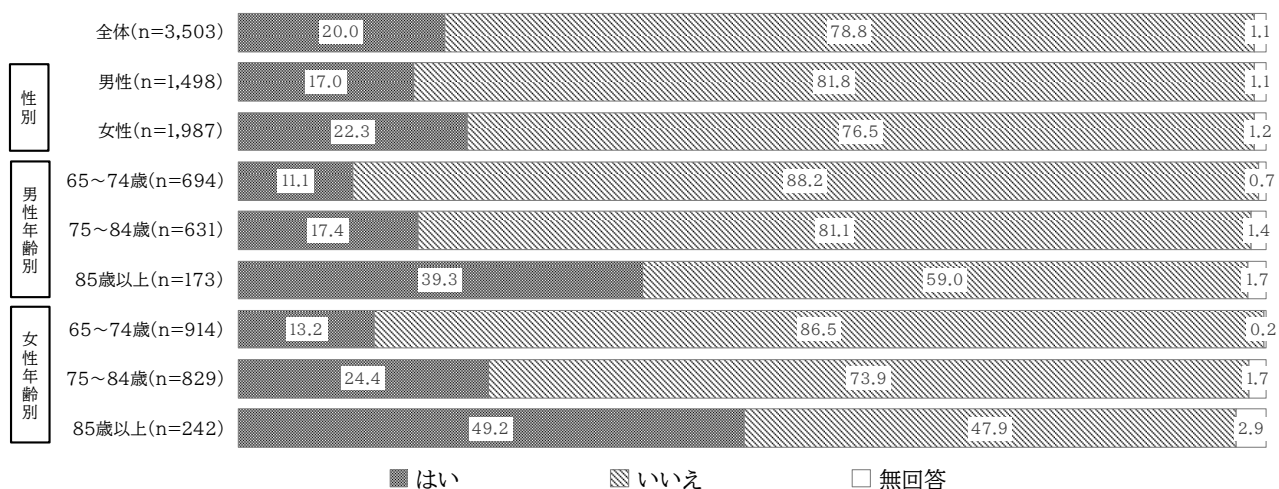
- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「とても減っている」「減っている」が高くなっており、「とても減っている」は85歳以上の男性で8.1%、85歳以上の女性で9.5%となっています。



(8) 外出を控えていますか

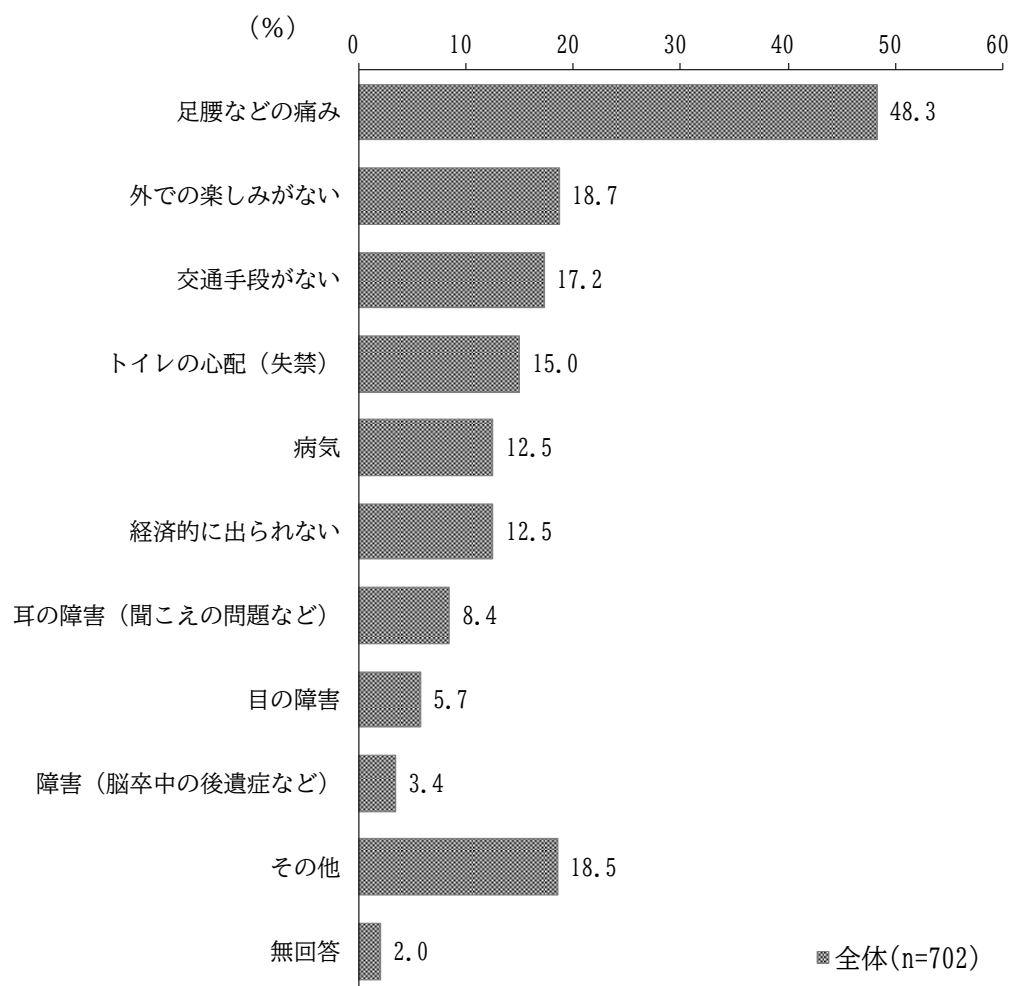
外出を控えているかについては、「はい」が20.0%、「いいえ」が78.8%となっています。

- 男女ともに年齢が高くなるにつれて外出を控えている傾向にあり、特に85歳以上の女性では半数近くが「はい」と回答しています。



(8) ① 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が 48.3%と突出して高くなっています。次いで「外での楽しみがない」の 18.7%、「交通手段がない」の 17.2%の順となっています。



※「全体」降順ソート

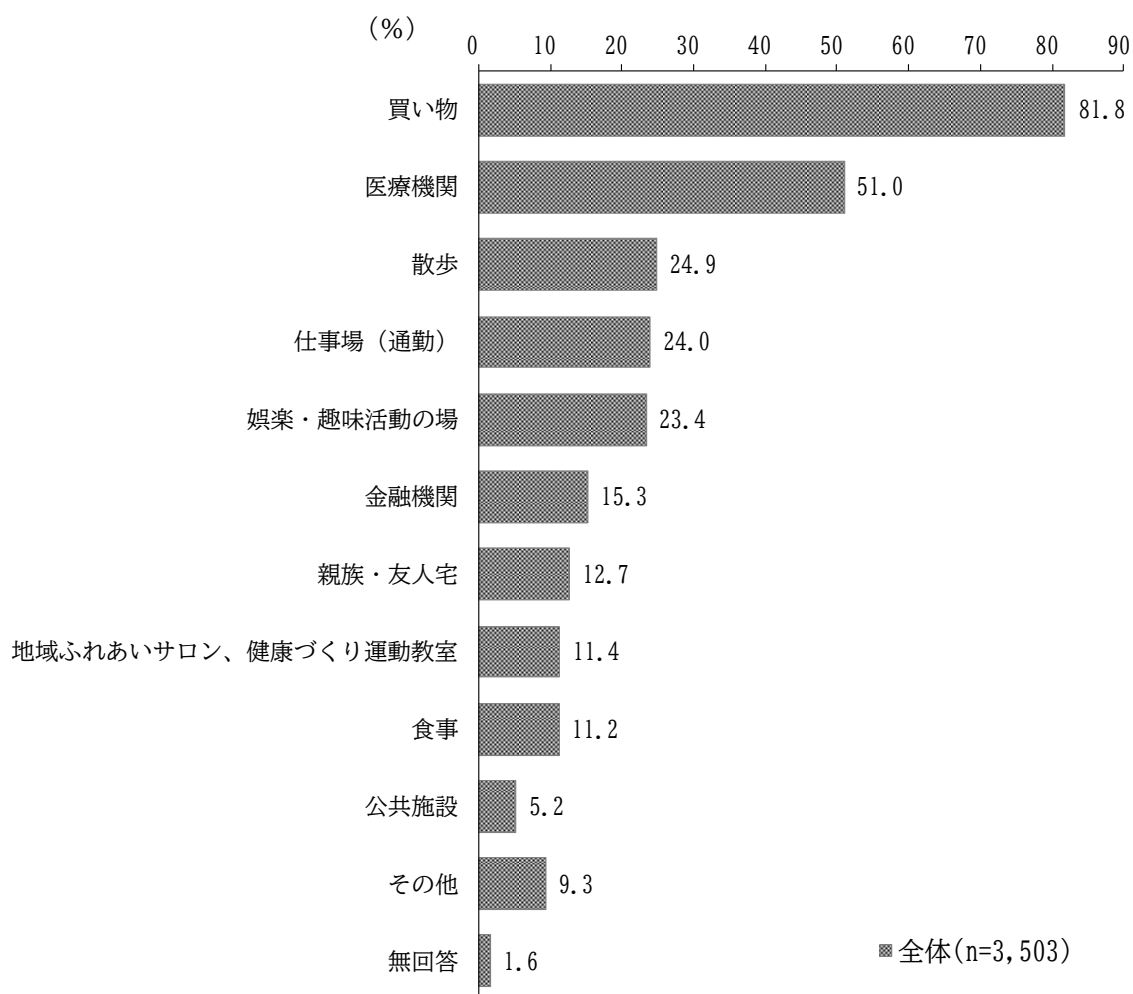
- ・ 性別にみると、女性は「足腰などの痛み」の割合が男性よりも 12.9 ポイント、男性は「トイレの心配（失禁）」の割合が女性よりも 9.1 ポイント、それぞれ高くなっています。
- ・ 年齢別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて、「足腰などの痛み」「交通手段がない」が高くなっています。また、男性 65～74 歳は「外での楽しみがない」が 31.2% とほかの年代よりも高くなっています。

[上段:人 下段:%]	足腰などの痛み	外での楽しみがない	交通手段がない	トイレの心配（失禁）	病気	経済的に出られない	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	障害（脳卒中の後遺症など）	その他	無回答
	全体 (n=702)	339 48.3	131 18.7	121 17.2	105 15.0	88 12.5	88 12.5	59 8.4	40 5.7	24 3.4	130 18.5
男性 (n=255)	103 40.4	57 22.4	39 15.3	53 20.8	38 14.9	31 12.2	30 11.8	18 7.1	13 5.1	37 14.5	6 2.4
男性 65～74歳 (n=77)	24 31.2	24 31.2	7 9.1	14 18.2	12 15.6	15 19.5	8 10.4	8 10.4	3 3.9	12 15.6	1 1.3
男性 75～84歳 (n=110)	45 40.9	21 19.1	12 10.9	22 20.0	20 18.2	12 10.9	8 7.3	7 6.4	7 6.4	13 11.8	4 3.6
男性 85歳以上 (n=68)	34 50.0	12 17.6	20 29.4	17 25.0	6 8.8	4 5.9	14 20.6	3 4.4	3 4.4	12 17.6	1 1.5
女性 (n=443)	236 53.3	74 16.7	82 18.5	52 11.7	49 11.1	55 12.4	29 6.5	22 5.0	9 2.0	93 21.0	8 1.8
女性 65～74歳 (n=121)	46 38.0	23 19.0	18 14.9	13 10.7	13 10.7	22 18.2	4 3.3	6 5.0	0 0.0	38 31.4	4 3.3
女性 75～84歳 (n=202)	110 54.5	38 18.8	32 15.8	17 8.4	27 13.4	24 11.9	8 4.0	9 4.5	8 4.0	36 17.8	3 1.5
女性 85歳以上 (n=119)	79 66.4	13 10.9	31 26.1	21 17.6	9 7.6	9 7.6	17 14.3	7 5.9	1 0.8	19 16.0	1 0.8

※「全体」降順ソート

(9) ① 外出する主な行先（目的）（3つまで）

外出する主な行先（目的）としては、「買い物」が81.8%と突出して高く、次いで「医療機関」の51.0%、「散歩」の24.9%の順となっています。



※「全体」降順ソート

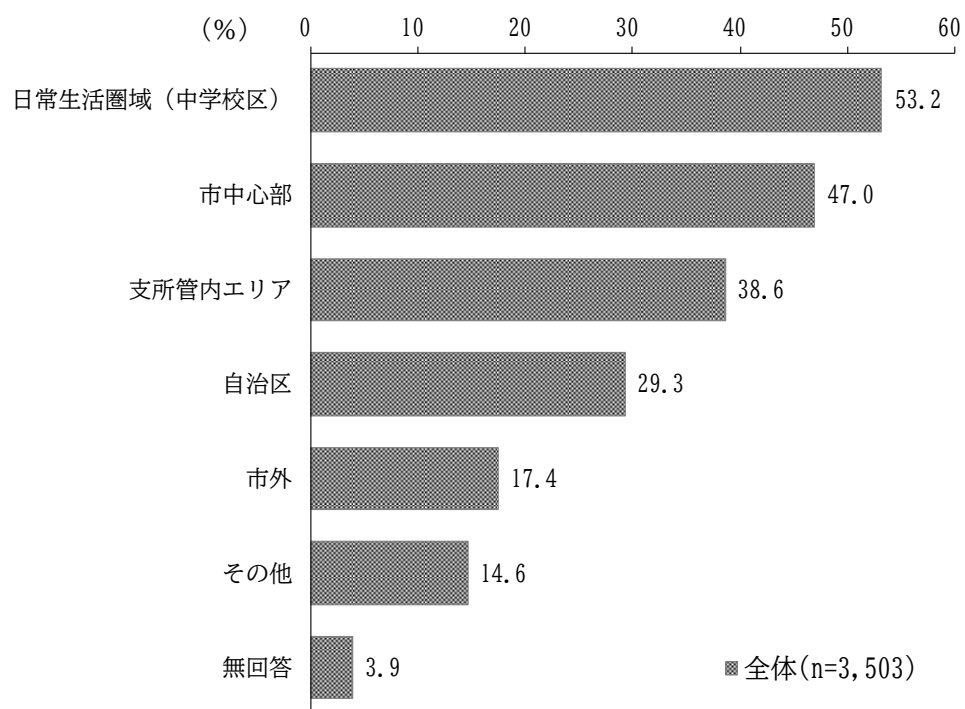
- ・ 性別にみると、女性は「買い物」の割合が男性よりも 11.6 ポイント高くなっています。一方、男性は「散歩」「仕事場（通勤）」、「娯楽・趣味活動の場」の割合が女性よりも 10 ポイント程度高くなっています。
- ・ 年齢別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて、「医療機関」「金融機関」が高くなっています。また、男性 85 歳以上では「買い物」とともに「医療機関」の割合が最も高くなっています。

[上段:人 下段:%]	買い物	医療機関	散歩	仕事場 (通勤)	娯楽・趣味活動の場	金融機関	親族・友人宅	地域ふれあいサロン、健康	食事	公共施設	その他	無回答
	全体 (n=3,503)	2,867 81.8	1,785 51.0	872 24.9	842 24.0	820 23.4	536 15.3	446 12.7	399 11.4	394 11.2	183 5.2	326 9.3
男性 (n=1,498)	1,128 75.3	713 47.6	462 30.8	450 30.0	436 29.1	207 13.8	133 8.9	88 5.9	167 11.1	77 5.1	166 11.1	28 1.9
男性 65~74歳 (n=694)	534 76.9	258 37.2	198 28.5	346 49.9	205 29.5	71 10.2	70 10.1	24 3.5	97 14.0	37 5.3	72 10.4	5 0.7
男性 75~84歳 (n=631)	479 75.9	340 53.9	214 33.9	100 15.8	186 29.5	93 14.7	56 8.9	45 7.1	60 9.5	29 4.6	79 12.5	17 2.7
男性 85歳以上 (n=173)	115 66.5	115 66.5	50 28.9	4 2.3	45 26.0	43 24.9	7 4.0	19 11.0	10 5.8	11 6.4	15 8.7	6 3.5
女性 (n=1,987)	1,726 86.9	1,065 53.6	407 20.5	388 19.5	382 19.2	323 16.3	310 15.6	309 15.6	224 11.3	106 5.3	159 8.0	28 1.4
女性 65~74歳 (n=914)	847 92.7	402 44.0	178 19.5	299 32.7	210 23.0	124 13.6	186 20.4	90 9.8	131 14.3	47 5.1	81 8.9	2 0.2
女性 75~84歳 (n=829)	706 85.2	496 59.8	190 22.9	88 10.6	149 18.0	151 18.2	103 12.4	166 20.0	71 8.6	48 5.8	57 6.9	16 1.9
女性 85歳以上 (n=242)	171 70.7	167 69.0	39 16.1	1 0.4	23 9.5	48 19.8	21 8.7	53 21.9	22 9.1	11 4.5	21 8.7	10 4.1

※「全体」降順ソート

(9) ② 外出する主な場所（範囲）（3つまで）

外出する主な場所（範囲）としては、「日常生活圏域（中学校区）」が53.2%と最も高く、次いで「市中心部」の47.0%、「支所管内エリア」の38.6%の順となっています。



※「全体」降順ソート

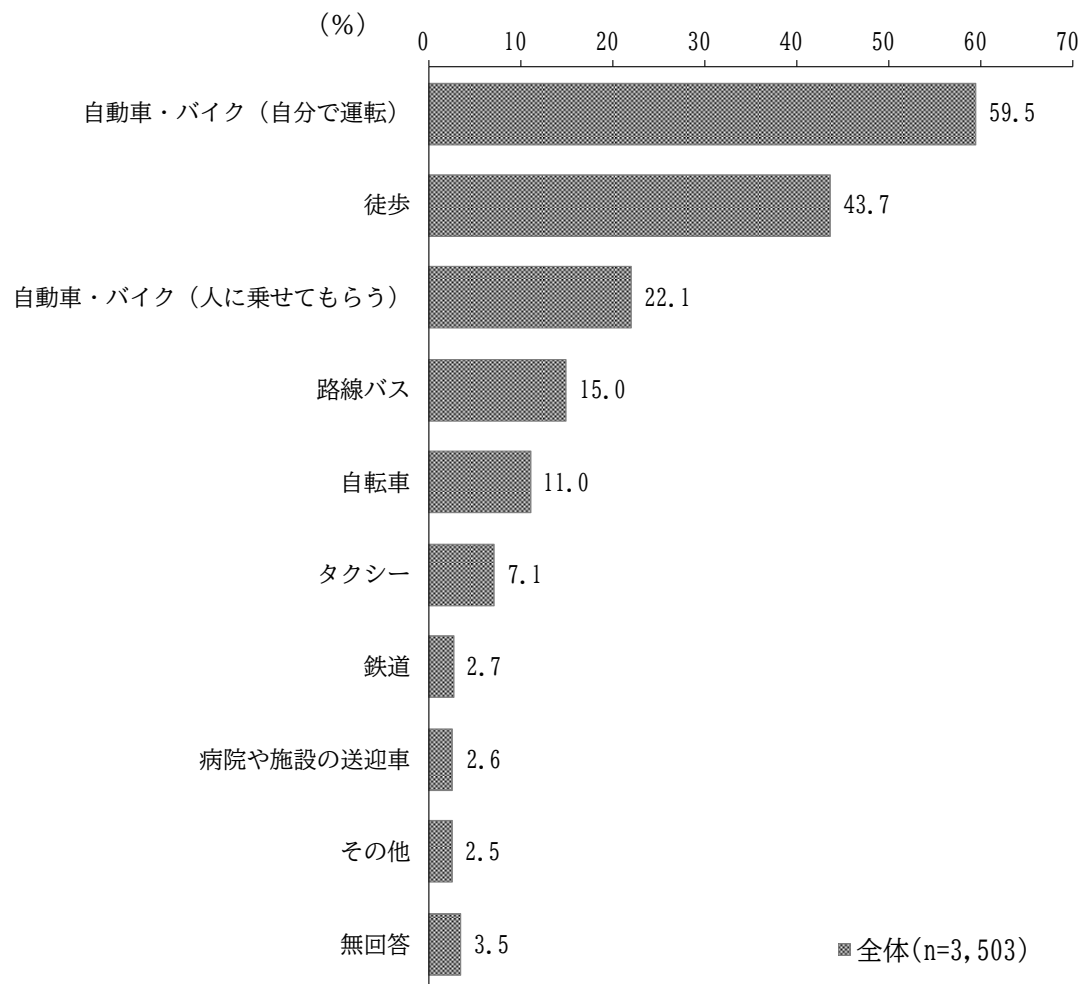
- ・ 性別にみると、男女ともに同じ傾向にあり、特に大きな違いはみられません。
- ・ 年齢別にみると、男性の 65～74 歳で「市中心部」が 54.9%と 5 割を超えて最も高くなっています。また、女性は年齢が高くなるにつれて「自治区」を除く場所で割合が低くなっています。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 上段:人 下段:% </div>	日常生活圏域 (中学校区)	市中心部	支所管内エリア	自治区	市外	その他	無回答
	全体 (n=3,503)	1,865 53.2	1,645 47.0	1,352 38.6	1,025 29.3	611 17.4	511 14.6
男性 (n=1,498)	777 51.9	703 46.9	591 39.5	432 28.8	324 21.6	262 17.5	48 3.2
男性 65～74歳 (n=694)	339 48.8	381 54.9	277 39.9	161 23.2	181 26.1	128 18.4	9 1.3
男性 75～84歳 (n=631)	340 53.9	263 41.7	250 39.6	202 32.0	119 18.9	107 17.0	27 4.3
男性 85歳以上 (n=173)	98 56.6	59 34.1	64 37.0	69 39.9	24 13.9	27 15.6	12 6.9
女性 (n=1,987)	1,081 54.4	934 47.0	755 38.0	590 29.7	283 14.2	247 12.4	85 4.3
女性 65～74歳 (n=914)	521 57.0	483 52.8	384 42.0	231 25.3	173 18.9	125 13.7	12 1.3
女性 75～84歳 (n=829)	441 53.2	362 43.7	296 35.7	288 34.7	87 10.5	101 12.2	48 5.8
女性 85歳以上 (n=242)	118 48.8	89 36.8	75 31.0	71 29.3	23 9.5	20 8.3	25 10.3

※「全体」降順ソート

(9) ③ 外出する際の主な移動手段（3つまで）

外出する際の主な移動手段としては、「自動車・バイク（自分で運転）」が59.5%と最も高く、次いで「徒歩」の43.7%、「自動車・バイク（人に乗せてもらう）」の22.1%の順となっています。



※「全体」降順ソート

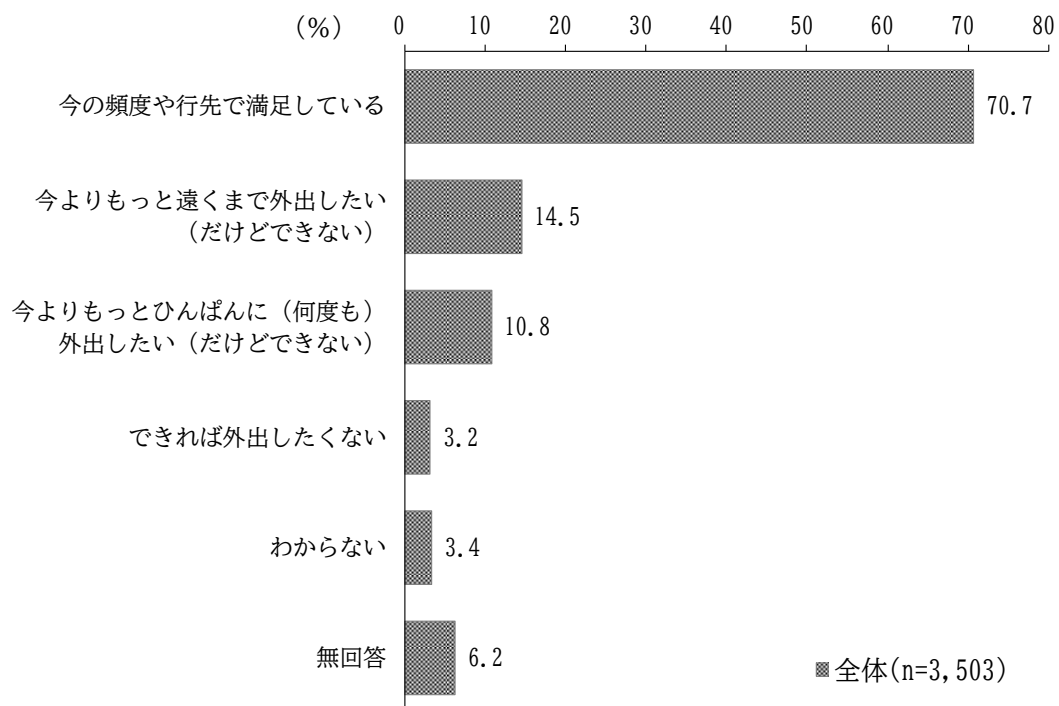
- ・ 性別にみると、男性は「自動車・バイク（自分で運転）」の割合が女性よりも 24.7 ポイント、女性は「自動車・バイク（人に乗せてもらう）」の割合が男性よりも 16.7 ポイント高くなっています。また、女性は「路線バス」の割合が男性よりも 7.0 ポイント高くなっています。
- ・ 年齢別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて「自動車・バイク（自分で運転）」の割合が低くなり、「自動車・バイク（人に乗せてもらう）」の割合が高くなっています。男性 85 歳以上と女性 75～84 歳で「徒歩」の割合が最も高くなっています。

[上段:人 下段:%]	転自動車・バイク (自分で運)	徒歩	て自動車・バイク (人に乗せ)	路線バス	自転車	タクシー	鉄道	病院や施設の送迎車	その他	無回答
	全体 (n=3,503)	2,084 59.5	1,531 43.7	773 22.1	525 15.0	386 11.0	250 7.1	93 2.7	92 2.6	88 2.5
男性 (n=1,498)	1,103 73.6	644 43.0	188 12.6	164 10.9	179 11.9	73 4.9	38 2.5	29 1.9	45 3.0	54 3.6
男性 65～74歳 (n=694)	569 82.0	285 41.1	65 9.4	67 9.7	70 10.1	16 2.3	19 2.7	3 0.4	12 1.7	12 1.7
男性 75～84歳 (n=631)	468 74.2	277 43.9	82 13.0	63 10.0	80 12.7	27 4.3	14 2.2	17 2.7	26 4.1	23 3.6
男性 85歳以上 (n=173)	66 38.2	82 47.4	41 23.7	34 19.7	29 16.8	30 17.3	5 2.9	9 5.2	7 4.0	19 11.0
女性 (n=1,987)	971 48.9	878 44.2	583 29.3	356 17.9	203 10.2	176 8.9	54 2.7	62 3.1	43 2.2	67 3.4
女性 65～74歳 (n=914)	613 67.1	376 41.1	214 23.4	105 11.5	110 12.0	29 3.2	27 3.0	7 0.8	9 1.0	14 1.5
女性 75～84歳 (n=829)	337 40.7	401 48.4	256 30.9	200 24.1	79 9.5	85 10.3	20 2.4	20 2.4	22 2.7	37 4.5
女性 85歳以上 (n=242)	21 8.7	101 41.7	112 46.3	51 21.1	14 5.8	62 25.6	7 2.9	35 14.5	12 5.0	15 6.2

※「全体」降順ソート

(10) 外出についての希望や困りごとはありますか (いくつでも)

外出についての希望や困りごとは、「今の頻度や行先で満足している」が70.7%と突出して高く、次いで「今よりもっと遠くまで外出したい (だけどできない)」の14.5%、「今よりもっとひんぱんに (何度も) 外出したい (だけどできない)」の10.8%の順となっています。



※「全体」降順ソート

- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「今の頻度や行先で満足している」の割合が低くなり、「今よりもっと遠くまで外出したい（だけどできない）」「今よりもっとひんぱんに（何度も）外出したい（だけどできない）」の割合が高くなっています。

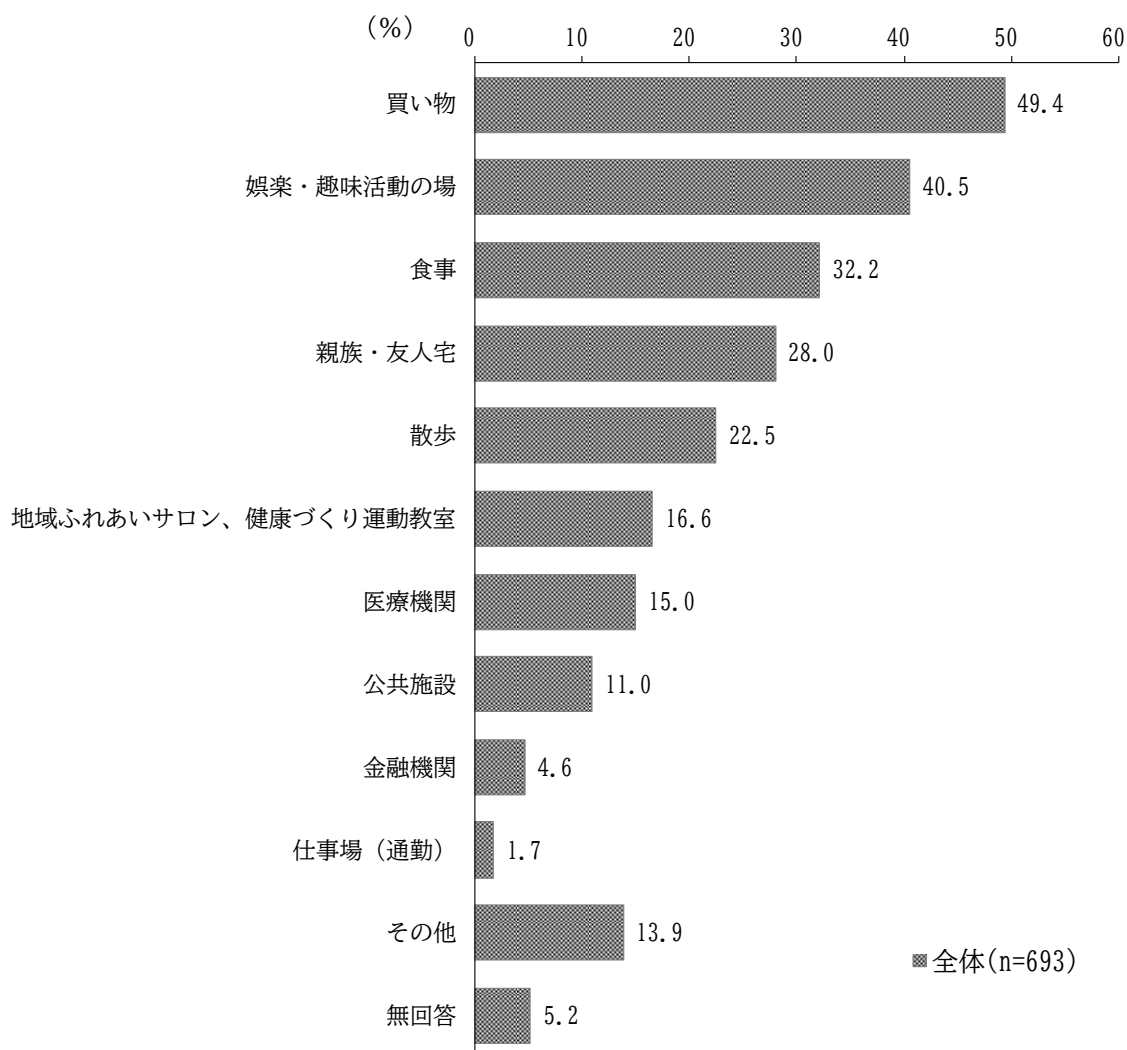
[上段:人 下段:%]	今の頻度や行先で満足して	今よりもっと遠くまで外出したい（だけどできない）	今よりもっとひんぱんに（何度も）外出したい（だけどできない）	できれば外出したくない	わからない	無回答
	全体 (n=3,503)	2,476 70.7	508 14.5	377 10.8	111 3.2	118 3.4
男性 (n=1,498)	1,086 72.5	205 13.7	148 9.9	37 2.5	58 3.9	84 5.6
男性 65~74歳 (n=694)	526 75.8	69 9.9	51 7.3	12 1.7	39 5.6	32 4.6
男性 75~84歳 (n=631)	467 74.0	93 14.7	62 9.8	15 2.4	16 2.5	41 6.5
男性 85歳以上 (n=173)	93 53.8	43 24.9	35 20.2	10 5.8	3 1.7	11 6.4
女性 (n=1,987)	1,379 69.4	299 15.0	227 11.4	73 3.7	59 3.0	133 6.7
女性 65~74歳 (n=914)	692 75.7	108 11.8	70 7.7	22 2.4	34 3.7	46 5.0
女性 75~84歳 (n=829)	551 66.5	141 17.0	109 13.1	38 4.6	15 1.8	63 7.6
女性 85歳以上 (n=242)	135 55.8	50 20.7	48 19.8	13 5.4	10 4.1	23 9.5

※「全体」降順ソート

(11) ① 外出したい主な行先（目的）（3つまで）

(10)で「1. 今よりもっとひんぱんに(何度も)外出したい」、「2. 今よりもっと遠くまで外出したい」と答えた方

(10)で「1. 今よりもっとひんぱんに(何度も)外出したい」、「2. 今よりもっと遠くまで外出したい」と答えた方に、外出したい主な行先（目的）をたずねたところ、「買い物」が49.4%と最も高く、次いで「娯楽・趣味活動の場」の40.5%、「食事」の32.2%の順となっています。



※「全体」降順ソート

- ・ 男性は 65～74 歳、75～84 歳で「娯楽・趣味活動の場」が、85 歳以上で「買い物」が、女性はいずれの年齢でも「買い物」が最も高くなっています。

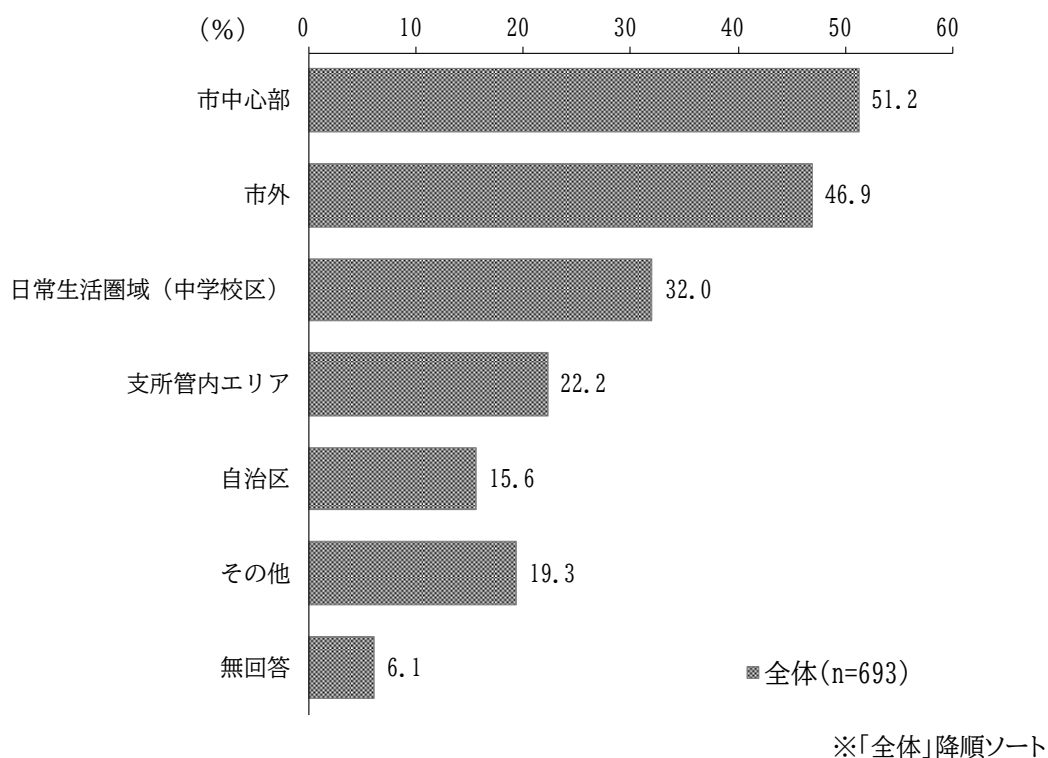
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 上段:人 下段:% </div>	買い物	娯楽・趣味活動の場	食事	親族・友人宅	散歩	地域ふれあいサロン、健康	医療機関	公共施設	金融機関	仕事場（通勤）	その他	無回答
	全体 (n=693)	342 49.4	281 40.5	223 32.2	194 28.0	156 22.5	115 16.6	104 15.0	76 11.0	32 4.6	12 1.7	96 13.9
男性 (n=280)	123 43.9	135 48.2	81 28.9	65 23.2	67 23.9	38 13.6	43 15.4	32 11.4	13 4.6	7 2.5	50 17.9	11 3.9
男性 65～74歳 (n=98)	39 39.8	49 50.0	35 35.7	22 22.4	17 17.3	10 10.2	7 7.1	16 16.3	2 2.0	4 4.1	22 22.4	5 5.1
男性 75～84歳 (n=116)	51 44.0	64 55.2	30 25.9	25 21.6	32 27.6	17 14.7	16 13.8	9 7.8	5 4.3	3 2.6	23 19.8	4 3.4
男性 85歳以上 (n=66)	33 50.0	22 33.3	16 24.2	18 27.3	18 27.3	11 16.7	20 30.3	7 10.6	6 9.1	0 0.0	5 7.6	2 3.0
女性 (n=409)	217 53.1	145 35.5	141 34.5	127 31.1	88 21.5	76 18.6	60 14.7	43 10.5	19 4.6	5 1.2	46 11.2	25 6.1
女性 65～74歳 (n=142)	73 51.4	59 41.5	58 40.8	42 29.6	36 25.4	21 14.8	11 7.7	16 11.3	4 2.8	2 1.4	26 18.3	4 2.8
女性 75～84歳 (n=191)	102 53.4	70 36.6	59 30.9	63 33.0	38 19.9	44 23.0	32 16.8	20 10.5	5 2.6	3 1.6	12 6.3	14 7.3
女性 85歳以上 (n=76)	42 55.3	16 21.1	24 31.6	22 28.9	14 18.4	11 14.5	17 22.4	7 9.2	10 13.2	0 0.0	8 10.5	7 9.2

※「全体」降順ソート

(11) ② 外出したい主な場所（範囲）（3つまで）

(10)で「1. 今よりもっとひんぱんに(何度も)外出したい」、「2. 今よりもっと遠くまで外出したい」と答えた方

(10)で「1. 今よりもっとひんぱんに(何度も)外出したい」、「2. 今よりもっと遠くまで外出したい」と答えた方に、外出したい主な場所（範囲）をたずねたところ、「市中心部」が51.2%と最も高く、次いで「市外」の46.9%、「日常生活圏域（中学校区）」の32.0%の順となっています。



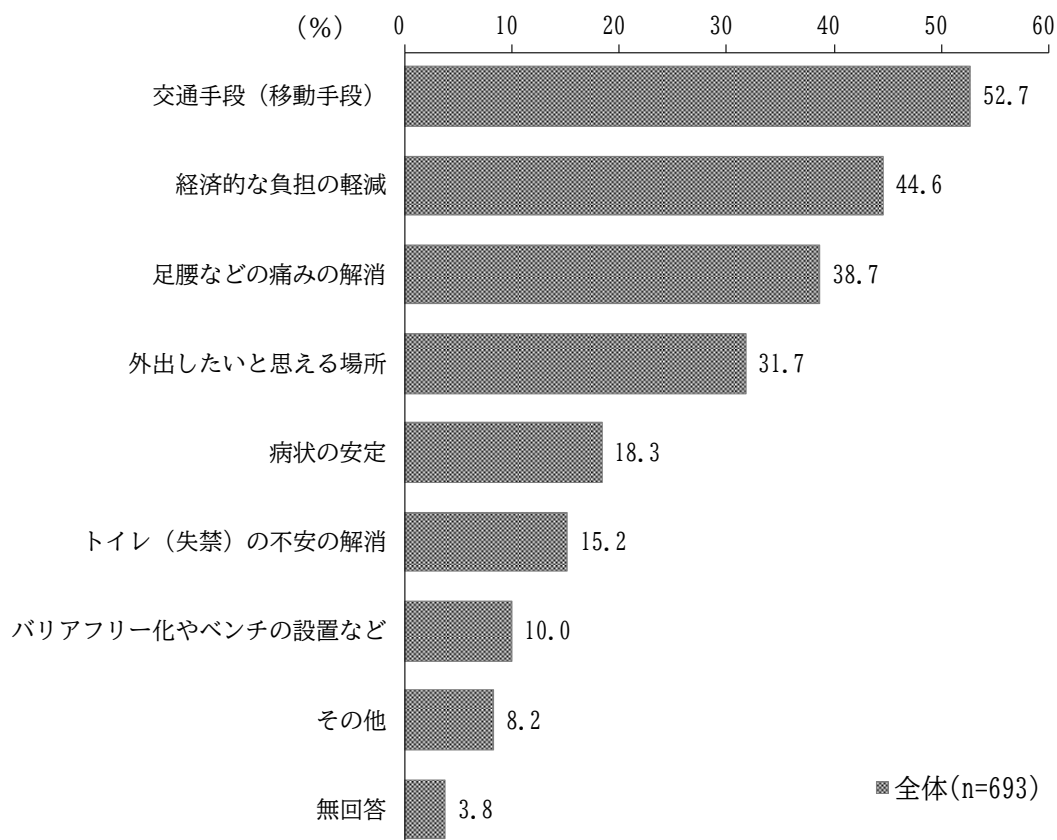
- 男女ともに65～74歳では「市外」が最も高く、年齢が高くなるにつれて「市外」は低くなっています。年齢が高くなるにつれ、市外など遠方への外出を希望する割合は低下し、自治区や日常生活圏域など、近場への外出の希望が高くなっています。

[上段:人 下段:%]	市中心部	市外	日常生活圏域 (中学校区)	支所管内エリア	自治区	その他	無回答
	全体 (n=693)	355 51.2	325 46.9	222 32.0	154 22.2	108 15.6	134 19.3
男性 (n=280)	122 43.6	140 50.0	85 30.4	71 25.4	37 13.2	64 22.9	15 5.4
男性 65～74歳 (n=98)	43 43.9	60 61.2	16 16.3	11 11.2	6 6.1	27 27.6	4 4.1
男性 75～84歳 (n=116)	46 39.7	60 51.7	41 35.3	36 31.0	18 15.5	28 24.1	7 6.0
男性 85歳以上 (n=66)	33 50.0	20 30.3	28 42.4	24 36.4	13 19.7	9 13.6	4 6.1
女性 (n=409)	231 56.5	184 45.0	135 33.0	81 19.8	69 16.9	69 16.9	27 6.6
女性 65～74歳 (n=142)	75 52.8	85 59.9	41 28.9	30 21.1	17 12.0	31 21.8	3 2.1
女性 75～84歳 (n=191)	114 59.7	71 37.2	69 36.1	36 18.8	37 19.4	29 15.2	16 8.4
女性 85歳以上 (n=76)	42 55.3	28 36.8	25 32.9	15 19.7	15 19.7	9 11.8	8 10.5

※「全体」降順ソート

(12) 何があれば今よりもっと外出ができる（可能となる）と思いますか（いくつでも）

(10)で「1. 今よりもっとひんぱんに(何度も)外出したい」、「2. 今よりもっと遠くまで外出したい」と答えた方があれば今よりもっと外出ができる（可能となる）と思うかとしては、「交通手段（移動手段）」が 52.7%と最も高く、次いで「経済的な負担の軽減」の 44.6%、「足腰などの痛みの解消」の 38.7%の順となっています。



※「全体」降順ソート

- 男性は、65～74歳、75～84歳で「経済的な負担の軽減」が、85歳以上で「交通手段（移動手段）」が、女性はいずれの年齢層でも「交通手段（移動手段）」が最も高くなっています。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 上段：人 下段：％ </div>	交通手段（移動手段）	経済的な負担の軽減	足腰などの痛みの解消	外出したいと思える場所	病状の安定	トイレ（失禁）の不安の解消	設置など	その他	無回答
	全体 (n=693)	365 52.7	309 44.6	268 38.7	220 31.7	127 18.3	105 15.2	69 10.0	57 8.2
男性 (n=280)	116 41.4	134 47.9	97 34.6	87 31.1	60 21.4	50 17.9	24 8.6	23 8.2	9 3.2
男性 65～74歳 (n=98)	28 28.6	60 61.2	28 28.6	36 36.7	23 23.5	13 13.3	4 4.1	8 8.2	4 4.1
男性 75～84歳 (n=116)	46 39.7	50 43.1	46 39.7	36 31.0	29 25.0	24 20.7	12 10.3	12 10.3	4 3.4
男性 85歳以上 (n=66)	42 63.6	24 36.4	23 34.8	15 22.7	8 12.1	13 19.7	8 12.1	3 4.5	1 1.5
女性 (n=409)	245 59.9	173 42.3	170 41.6	131 32.0	66 16.1	53 13.0	43 10.5	34 8.3	17 4.2
女性 65～74歳 (n=142)	72 50.7	64 45.1	45 31.7	53 37.3	21 14.8	15 10.6	3 2.1	15 10.6	9 6.3
女性 75～84歳 (n=191)	122 63.9	82 42.9	78 40.8	60 31.4	27 14.1	22 11.5	27 14.1	15 7.9	5 2.6
女性 85歳以上 (n=76)	51 67.1	27 35.5	47 61.8	18 23.7	18 23.7	16 21.1	13 17.1	4 5.3	3 3.9

※「全体」降順ソート

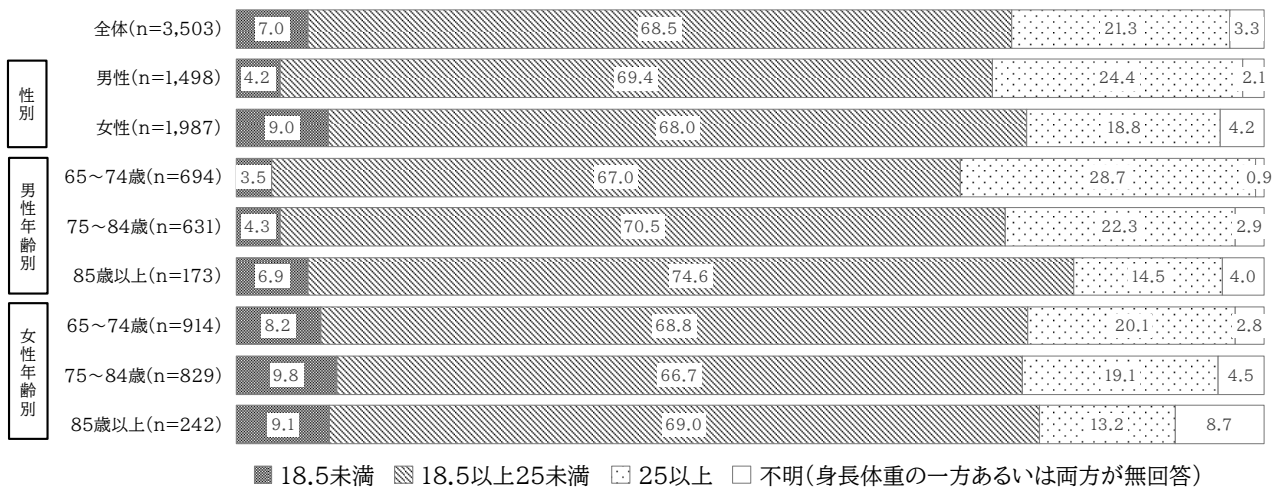
問3 食べることについて

問3(1)(身長・体重)は低栄養の傾向を問う設問です。身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷身長(m)÷身長(m))が18.5以下の場合、低栄養が疑われる高齢者となります。低栄養状態を確認する場合は、(2)で「はい」(6ヶ月間で2~3kgの体重減少あり)にも該当した場合、低栄養状態にある高齢者と判定されます。

(1) 身長・体重(回答結果からBMIを算出)

BMI「18.5未満」(低体重(やせ))が7.0%、「18.5以上25未満」が68.5%、「25以上」(肥満)が21.3%となっています。

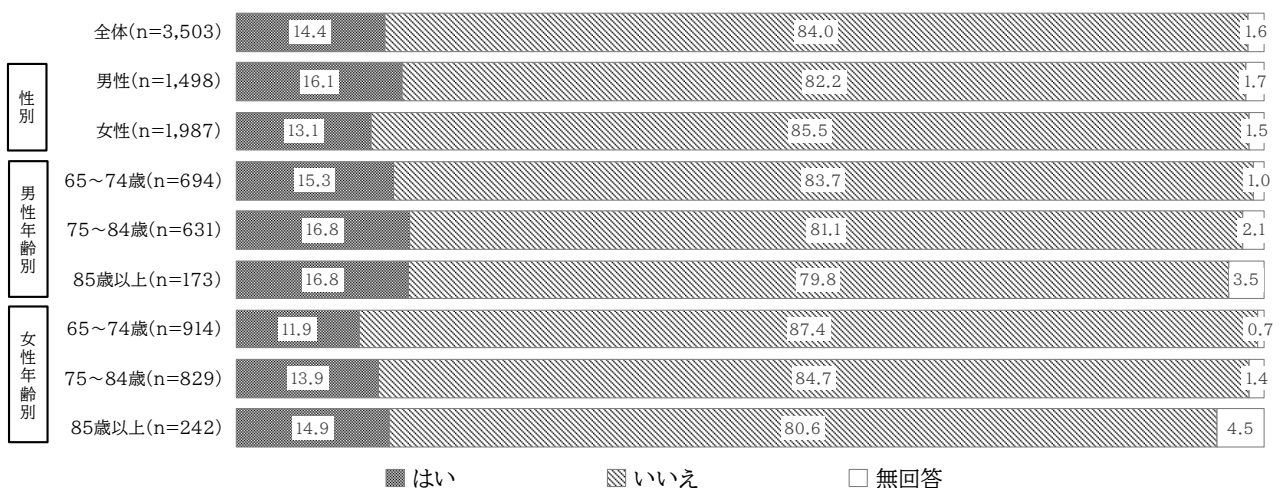
- 「18.5未満」(低体重(やせ))はいずれの年齢層でも男性よりも女性の方が多く、女性で最も多い75~84歳では9.8%となっています。



(2) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか

6か月間で2~3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が14.4%、「いいえ」が84.0%となっています。

- 性別にみると、男性の方が「はい」の割合が高くなっています。
- 年齢別にみると、女性は年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。

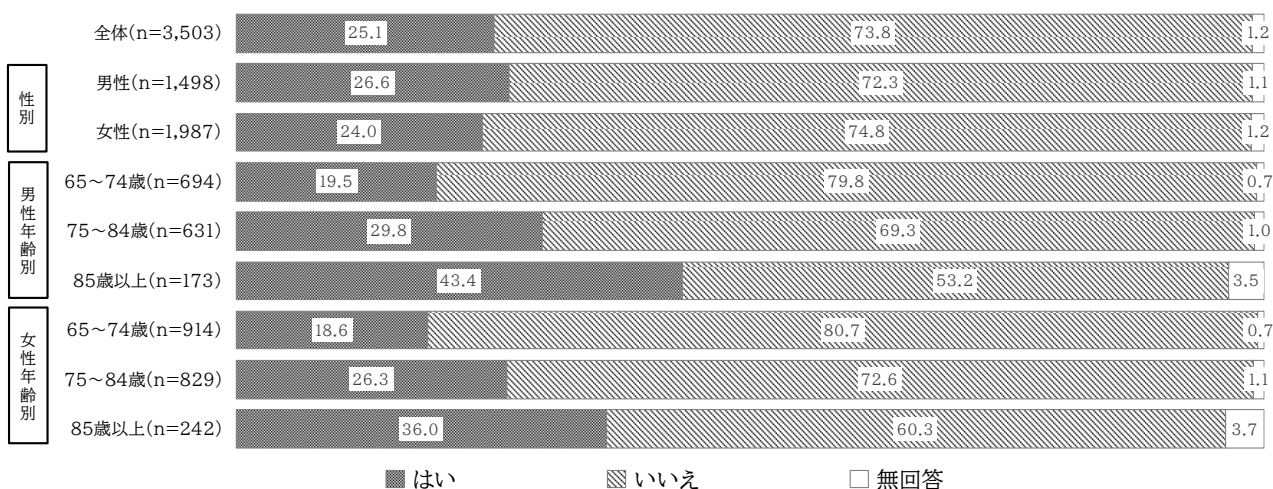


問3(3)は口腔機能の低下のうち咀嚼機能の低下を問う設問です。「はい」が回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者と判定されます。また、問3(4)のうち「お茶や汁物等でむせることがある」は嚥下機能の低下、「口の渇きが気になる」は肺炎発症リスクを把握する項目です。問3(3)(4)のうち、該当する項目2項目以上で口腔機能の低下している高齢者と判定されます。

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

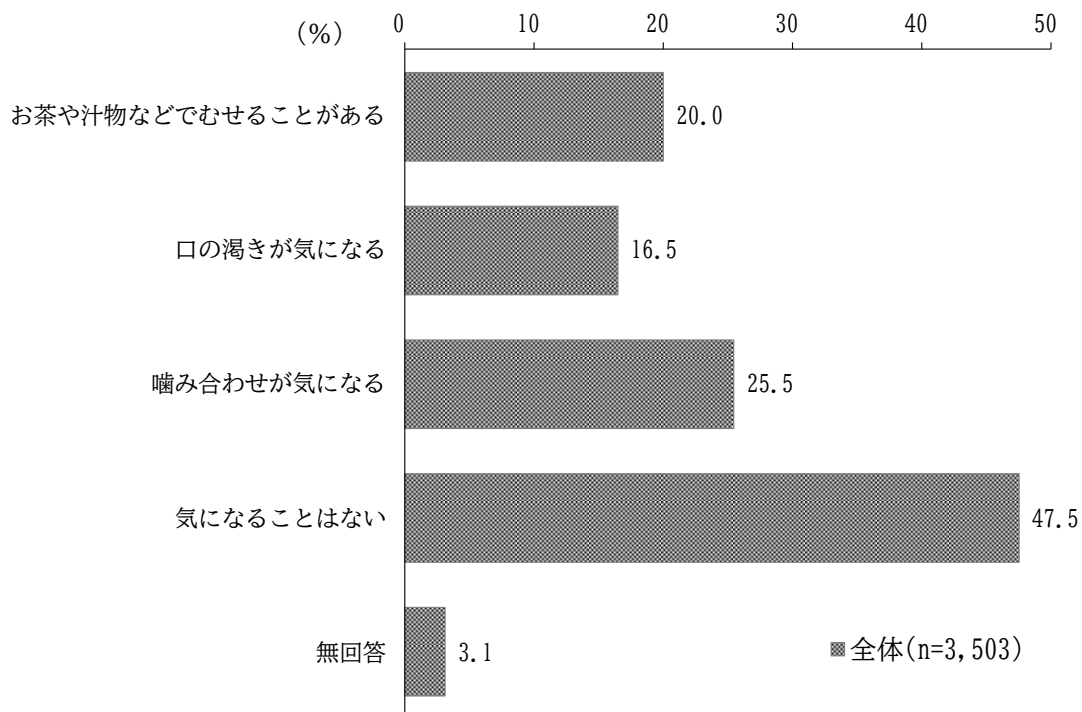
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が25.1%、「いいえ」が73.8%となっています。

- 男女ともに年齢が上がるにつれて、「はい」の割合が高くなっています。



(4) 食べることや口の中で気になることはありますか (いくつでも)

食べることや口の中で気になることについては、「気になることはない」が 47.5%で最も高くなっています。気になることとしては、「噛み合わせが気になる」の 25.5%、「お茶や汁物などでむせることがある」の 20.0%、「口の渇きが気になる」の 16.5%の順となっています。



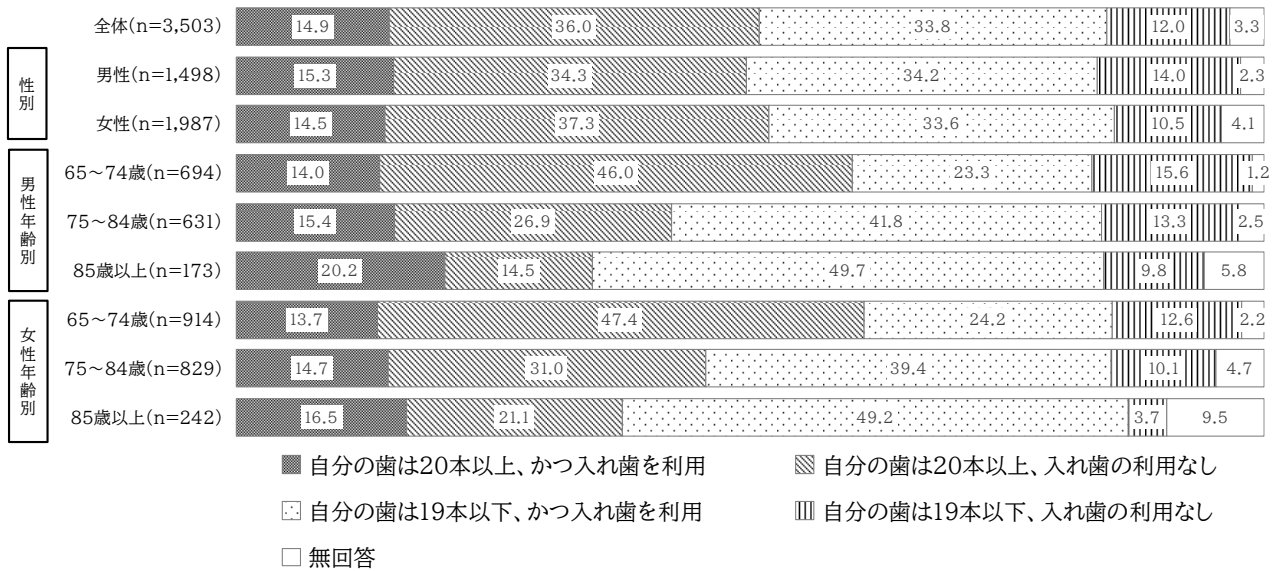
- 「お茶や汁物などでむせることがある」や「口の渇きが気になる」は、男女ともに年齢が上がるにつれて、気になる割合が高くなる傾向がみられます。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 上段:人 下段:% </div>	とお茶や汁物などでむせるこ	口の渇きが気になる	嘔み合わせが気になる	気になることはない	無回答
全体 (n=3,503)	702 20.0	578 16.5	893 25.5	1,665 47.5	109 3.1
男性 (n=1,498)	287 19.2	215 14.4	400 26.7	726 48.5	49 3.3
男性 65~74歳 (n=694)	114 16.4	80 11.5	155 22.3	388 55.9	14 2.0
男性 75~84歳 (n=631)	126 20.0	103 16.3	189 30.0	277 43.9	27 4.3
男性 85歳以上 (n=173)	47 27.2	32 18.5	56 32.4	61 35.3	8 4.6
女性 (n=1,987)	411 20.7	362 18.2	487 24.5	932 46.9	60 3.0
女性 65~74歳 (n=914)	154 16.8	129 14.1	218 23.9	489 53.5	20 2.2
女性 75~84歳 (n=829)	193 23.3	185 22.3	195 23.5	353 42.6	30 3.6
女性 85歳以上 (n=242)	64 26.4	47 19.4	74 30.6	89 36.8	10 4.1

(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.0%で最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.9%の順となっています。

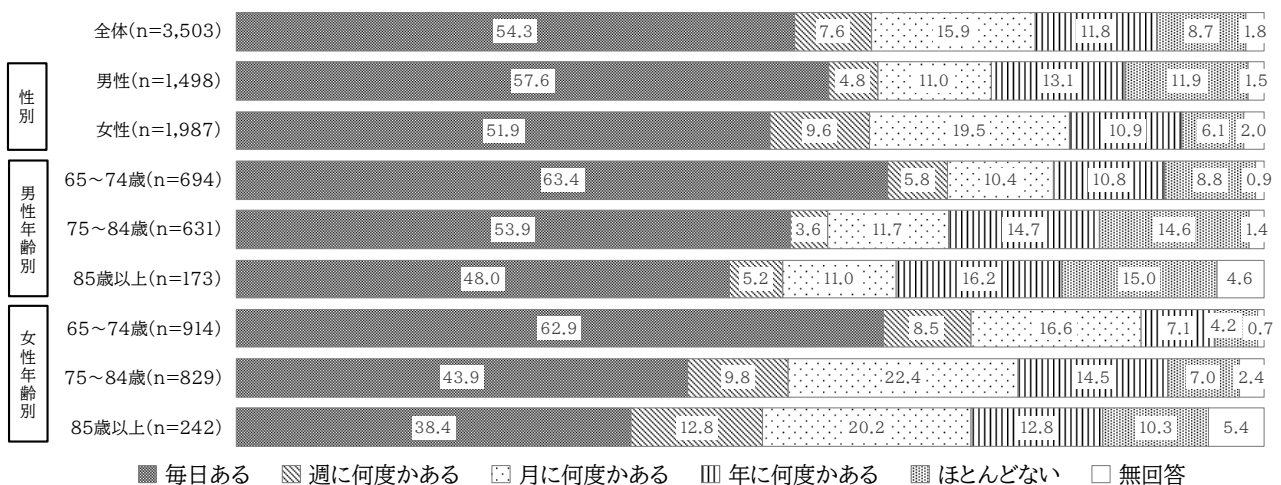
- 「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合は男女ともに年齢が高くなるにつれて低くなり、85歳以上の男性は14.5%、85歳以上の女性は21.1%となっています。



(6) どなたかと食事をとる機会がありますか

誰かと食事をとる機会については、「毎日ある」が54.3%で最も高く、次いで「月に何度かある」が15.9%、「年に何度かある」が11.8%で、「ほとんどない」も8.7%あります。

- 「ほとんどない」と「年に何度かある」をあわせた孤食傾向の割合は男女ともに年齢が高くなるにつれて高くなり、85歳以上の男性で3割強、85歳以上の女性で2割強となっています。



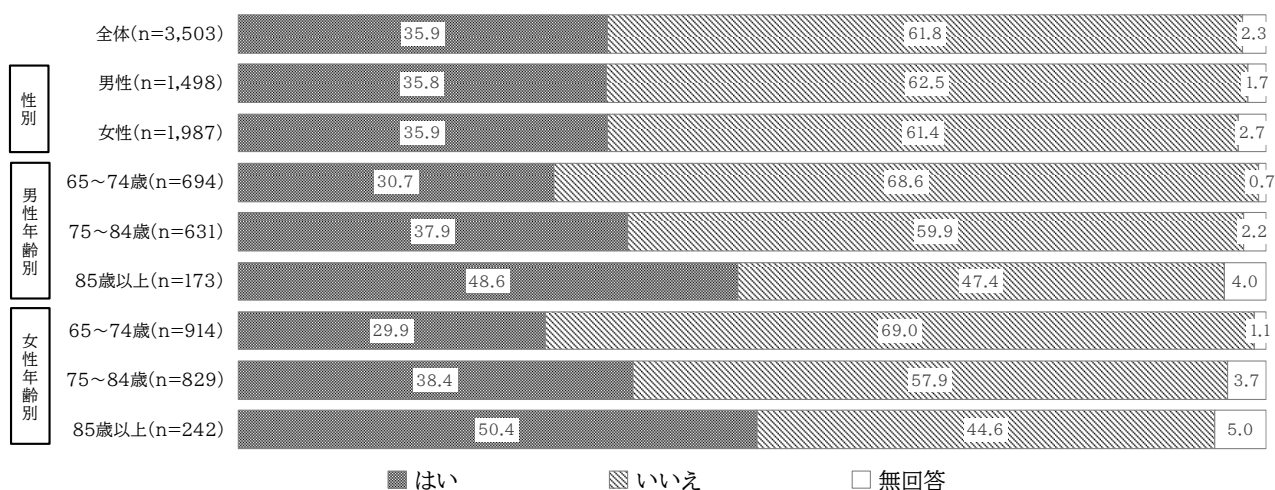
問4 毎日の生活について

問4(1)は認知機能の低下を問う設問です。「はい」が回答された場合は、認知機能の低下している高齢者と判定されます。

(1) 物忘れが多いと感じますか

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が35.9%、「いいえ」が61.8%となっています。

- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなっています。明確な男女差はありません。



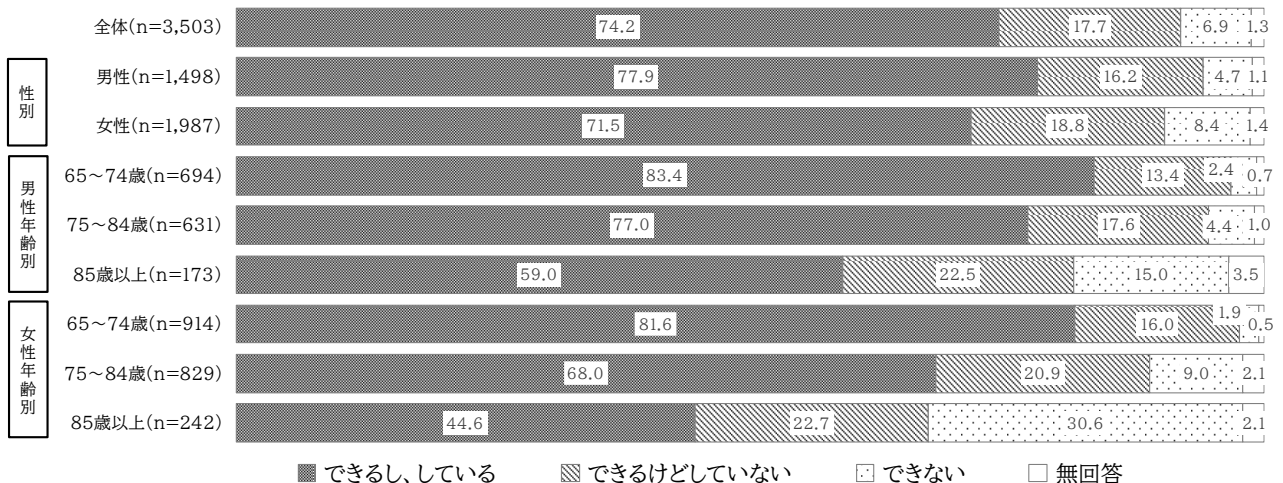
問4(2)～(6) IADL(手段的日常生活動作)の低下を問う設問です。(2)～(6)までの5問の回答のうち「できない」が3問以上ある場合は、IADLの低い高齢者と判定されます。

※IADL…掃除や料理、洗濯、買い物や金銭管理など、日常生活を送る上で欠かせない複雑な動作

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が74.2%、「できるけどしていない」が17.7%、「できない」が6.9%となっています。

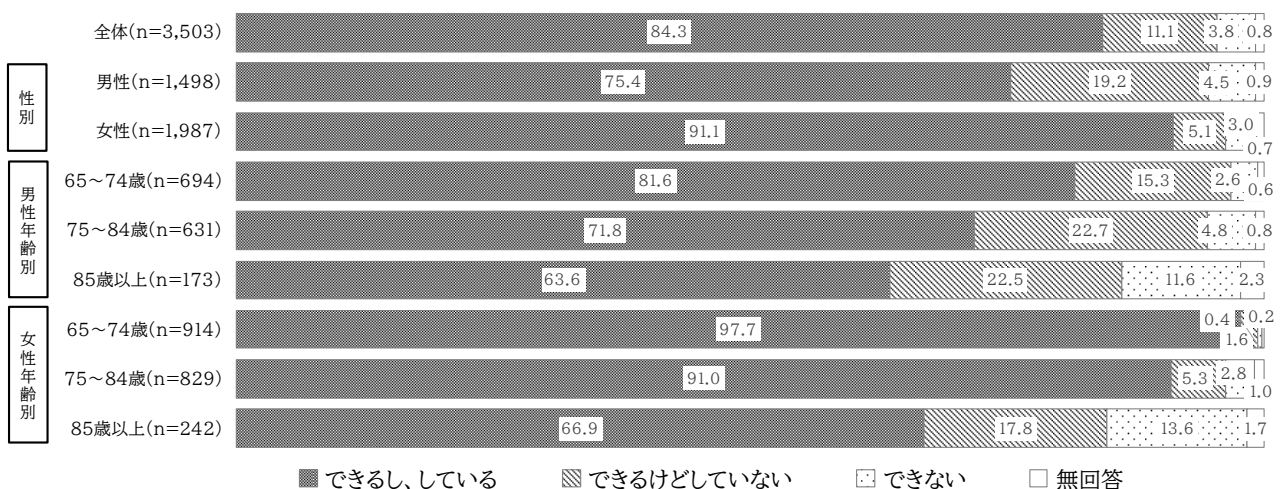
- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなっています。



(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が84.3%、「できるけどしていない」が11.1%、「できない」が3.8%となっています。

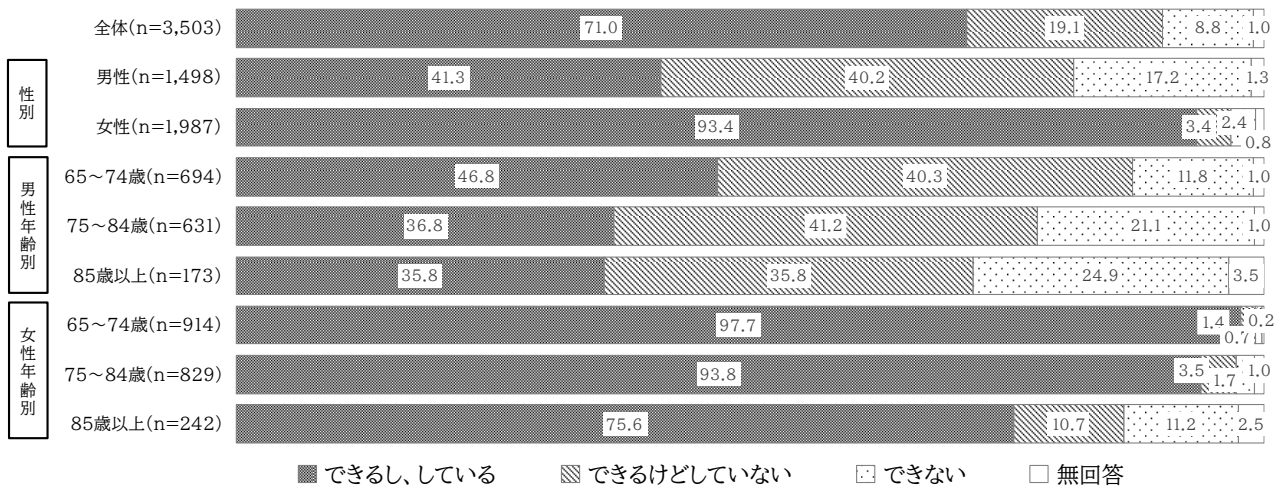
- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなっています。



(4) 自分で食事の用意をしていますか

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が71.0%、「できるけどしていない」が19.1%、「できない」が8.8%となっています。

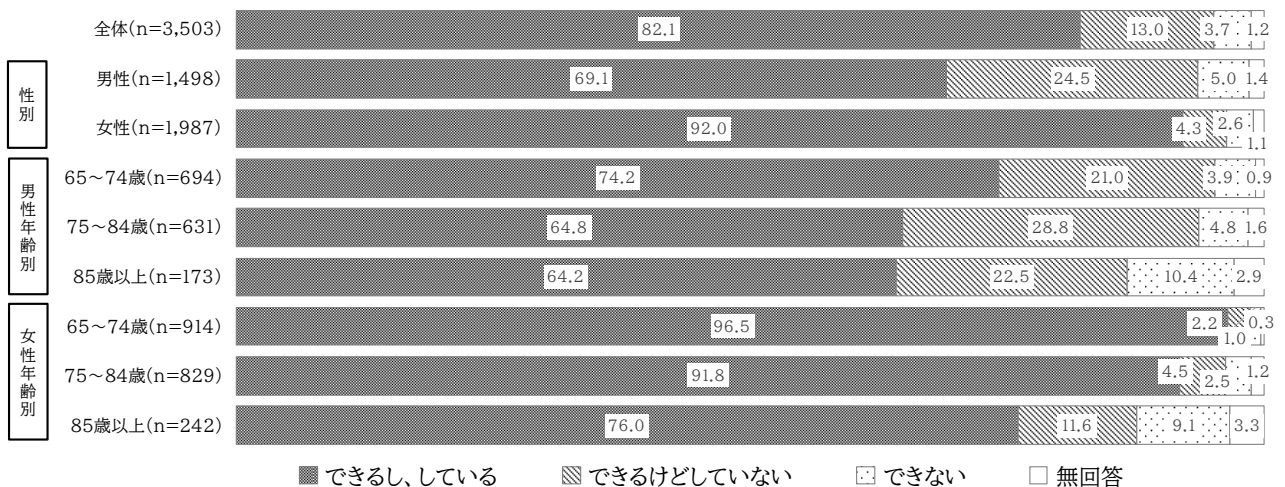
- ・ 女性では「できるし、している」の割合が9割を超えて高くなっているのに対し、男性では4割になっています。
- ・ 男女ともに年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなっています。女性は85歳以上でも7割以上が「できるし、している」と回答しています。



(5) 自分で請求書の支払いをしていますか

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が82.1%、「できるけどしていない」が13.0%、「できない」が3.7%となっています。

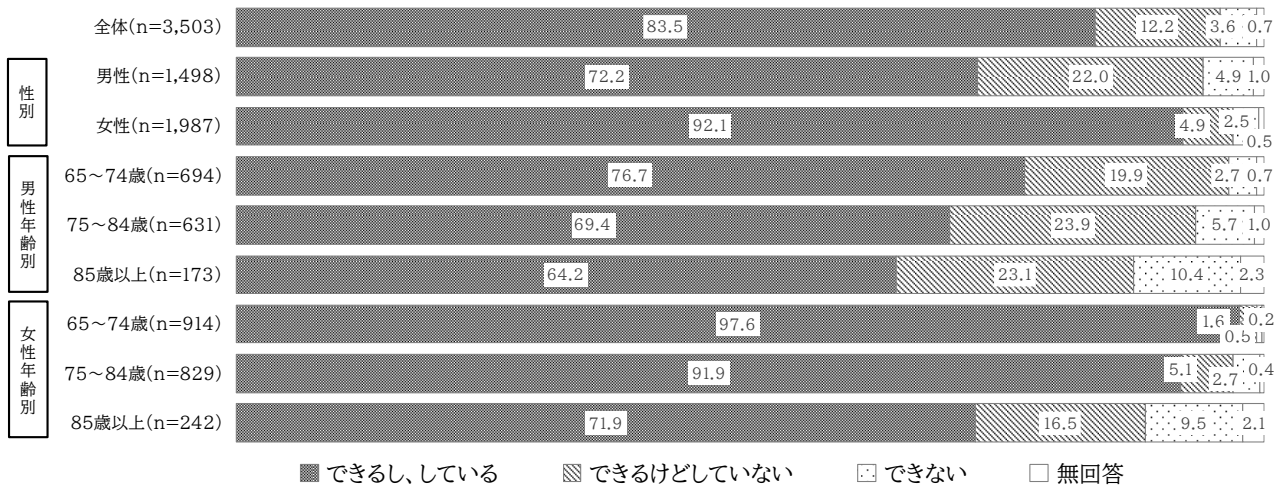
- ・ 女性では「できるし、している」の割合が9割を超えているのに対し、男性では7割程度です。
- ・ 男女ともに年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなっています。女性は85歳以上でも7割以上が「できるし、している」と回答しています。



(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が83.5%、「できるけどしていない」が12.2%、「できない」が3.6%となっています。

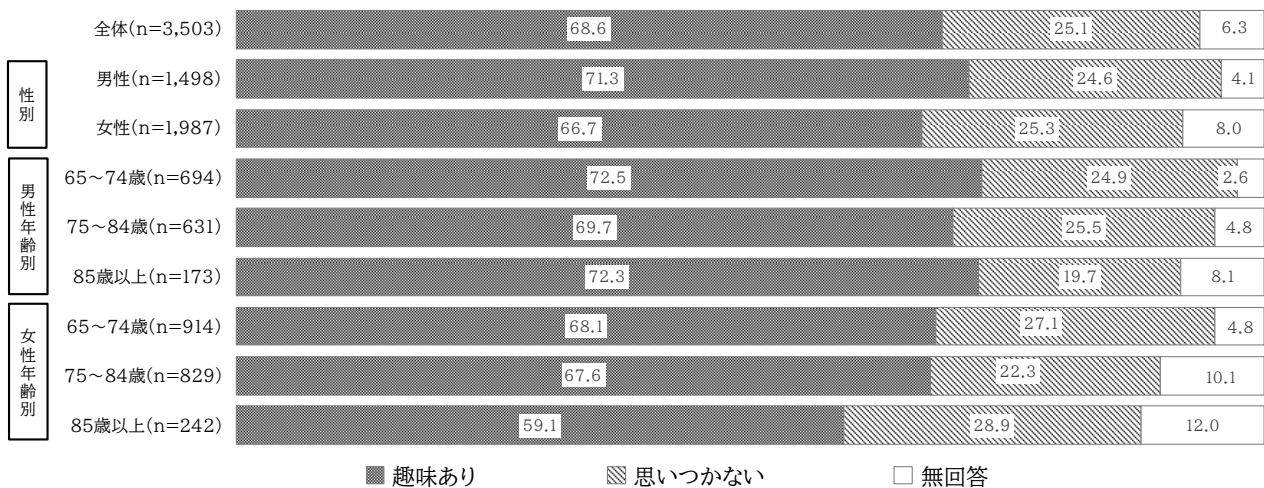
- ・ 女性では「できるし、している」の割合が9割を超えているのに対し、男性では7割程度です。
- ・ 男女ともに年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなっています。女性は85歳以上でも7割以上が「できるし、している」と回答しています。



(7) 趣味はありますか

趣味があるかについては、「趣味あり」が68.6%、「思いつかない」が25.1%となっています。

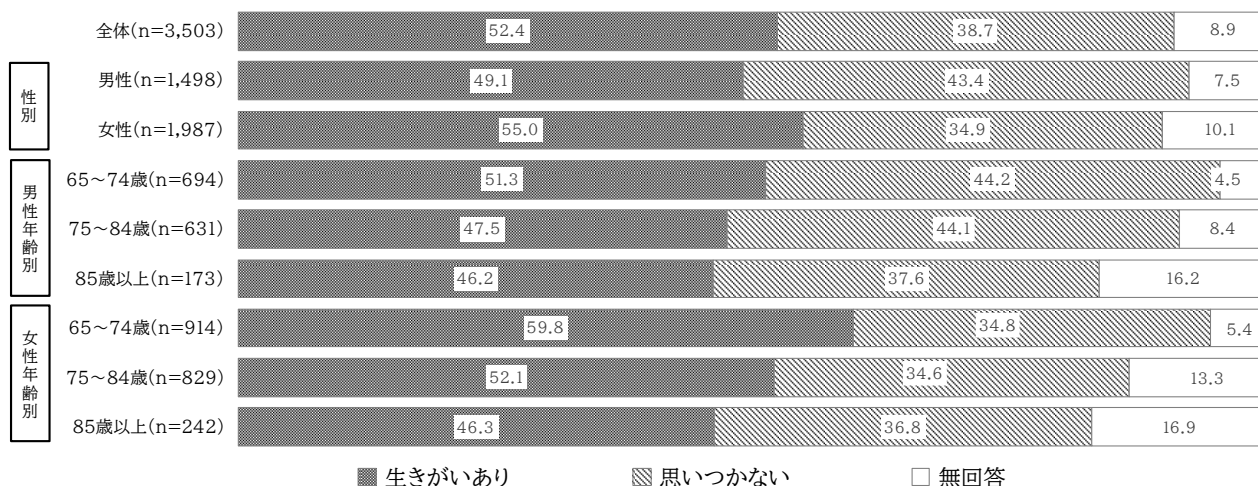
- ・ 年齢別にみると、女性の85歳以上で「趣味あり」の割合がやや低くなっています。



(8) 生きがいがありますか

生きがいがあるかについては、「生きがいあり」が52.4%、「思いつかない」が38.7%となっています。

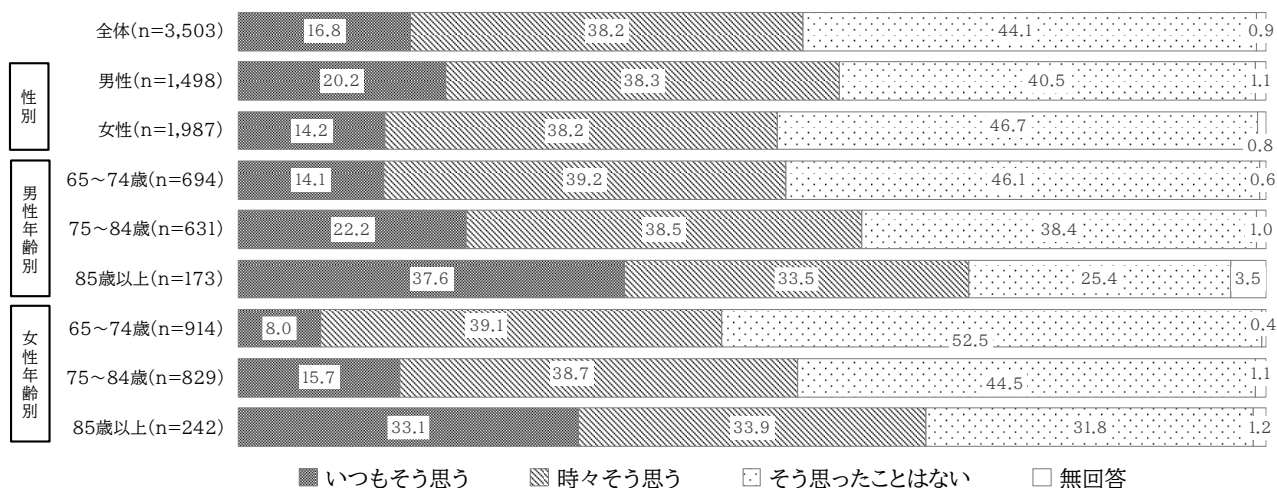
- ・ 「生きがいあり」は女性の方がやや割合が高く、男女ともに年齢が高くなるにつれて「生きがいあり」の割合は低くなっています。



(9) 耳の聞こえが悪くなったと感じることはありますか

耳の聞こえが悪くなったと感じることはあるかについては、「いつもそう思う」が16.8%、「時々そう思う」が38.2%、「そう思ったことはない」が44.1%となっています。

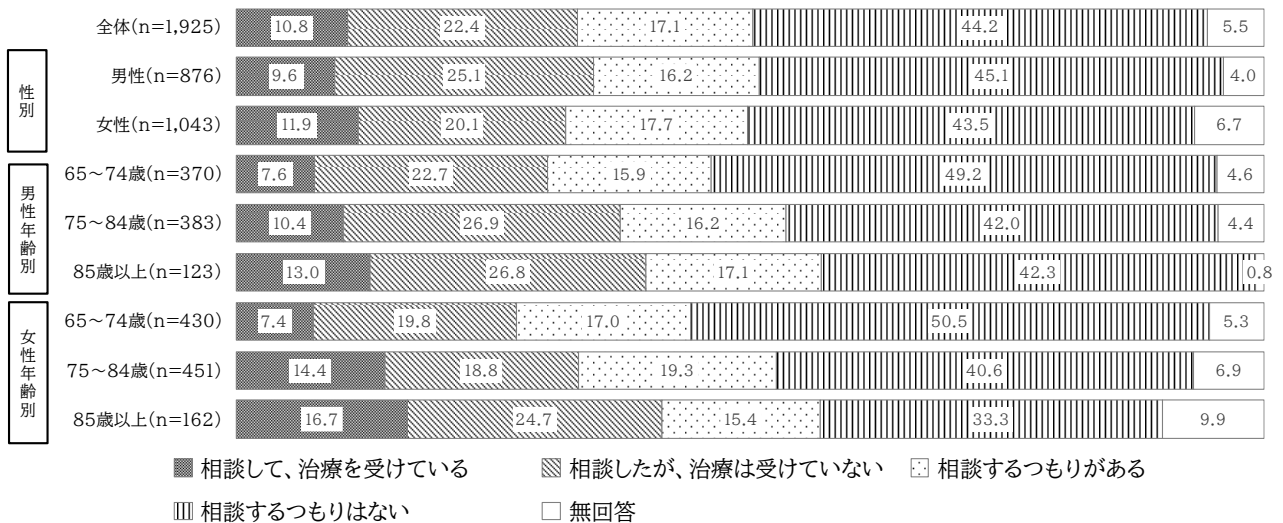
- ・ 男性は「いつもそう思う」の割合が女性よりも高くなっています。
- ・ 男女ともに年齢が高くなるにつれて「いつもそう思う」の割合が高くなっており、男女ともに85歳以上では3割以上にのぼります。



(9) ① 聞こえについて耳鼻科医に相談しましたか

聞こえについて耳鼻科医に相談したかについては、「相談して、治療を受けている」は10.8%、「相談したが、治療は受けていない」が22.4%、「相談するつもりがある」が17.1%、「相談するつもりはない」が44.2%となっています。

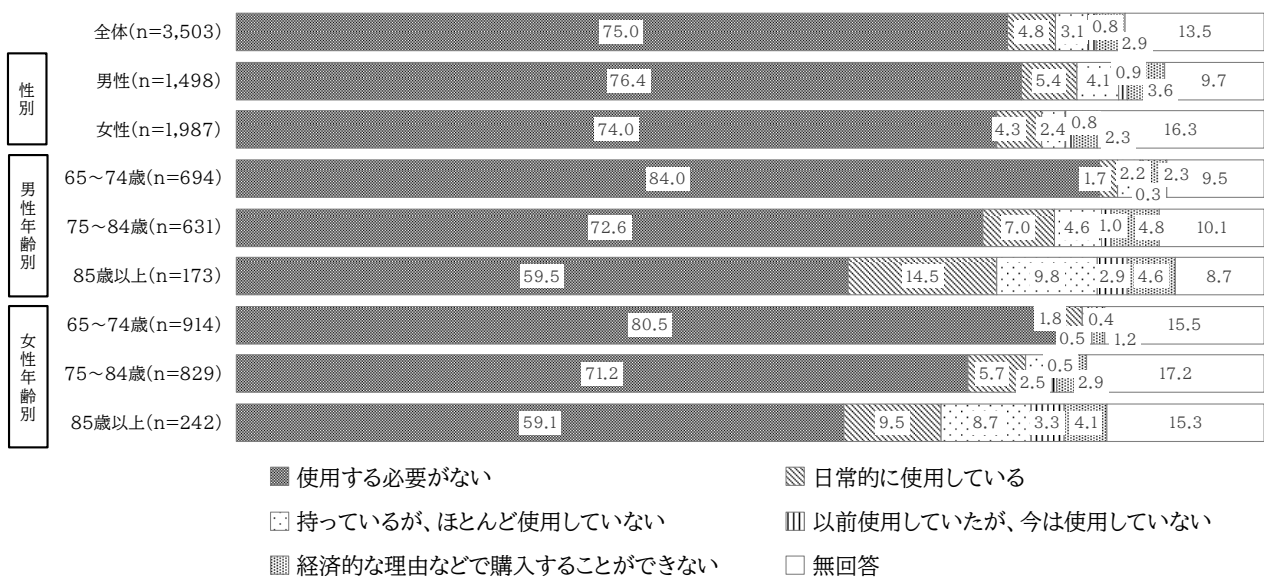
- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「相談して、治療を受けている」の割合が高くなっています。



(10) 補聴器を使用していますか

補聴器を使用しているかについては、「使用する必要がない」が75.0%、「日常的に使用している」が4.8%、「持っているが、ほとんど使用していない」が3.1%などとなっており、「経済的な理由などで購入することができない」は2.9%です。

- 「日常的に使用している」は85歳以上の男性で14.5%、85歳以上の女性で9.5%、「経済的な理由などで購入することができない」は85歳以上の男性で4.6%、85歳以上の女性で4.1%です。



問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| ①ボランティアのグループ | ②スポーツ関係のグループやクラブ |
| ③趣味関係のグループ | ④学習・教養サークル |
| ⑤地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室など介護予防のための通いの場 | |
| ⑥老人クラブ | ⑦町内会・自治会 |
| ⑧収入のある仕事 | |

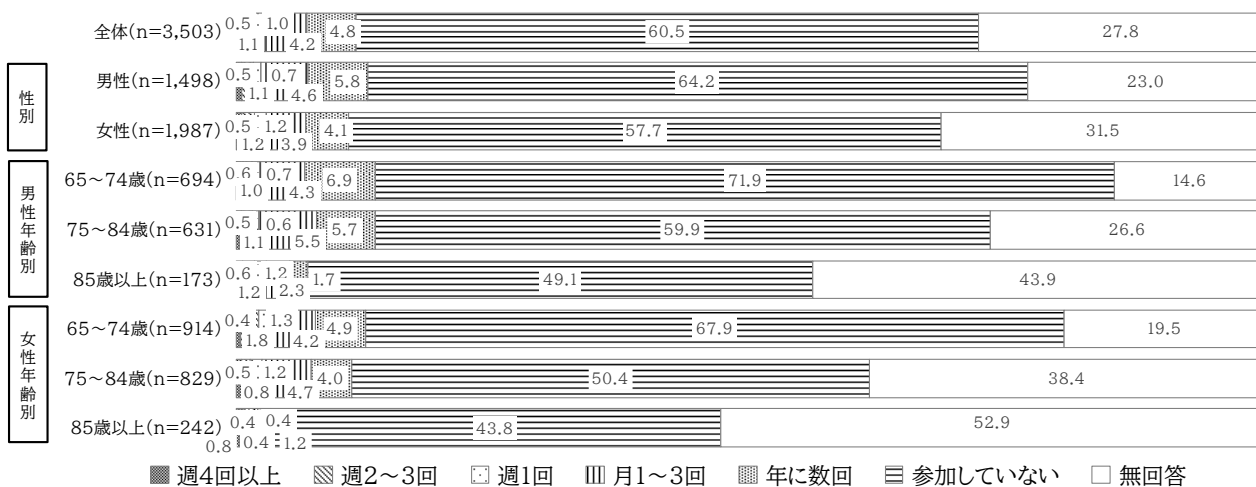
■①～⑥のいずれかの会・グループ等に週1回以上参加している人の割合

いずれかの会・グループ等に週1回以上参加している人の割合は、全体では27.6%となっています。

上段: サンプル数 下段: %	サンプル数	週一回以上参加 している
全体	3,503 100.0%	966 27.6%

(1) ① ボランティアのグループ

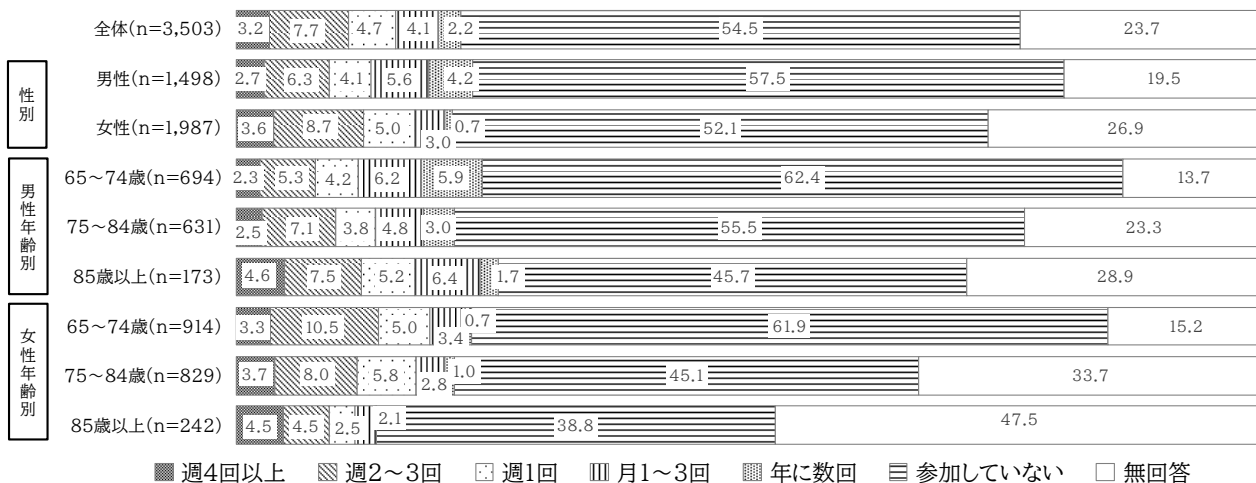
ボランティアのグループへの参加頻度は、「参加していない」が60.5%、「年に数回」が4.8%、「月1～3回」が4.2%などとなっています。



(1) ② スポーツ関係のグループやクラブ

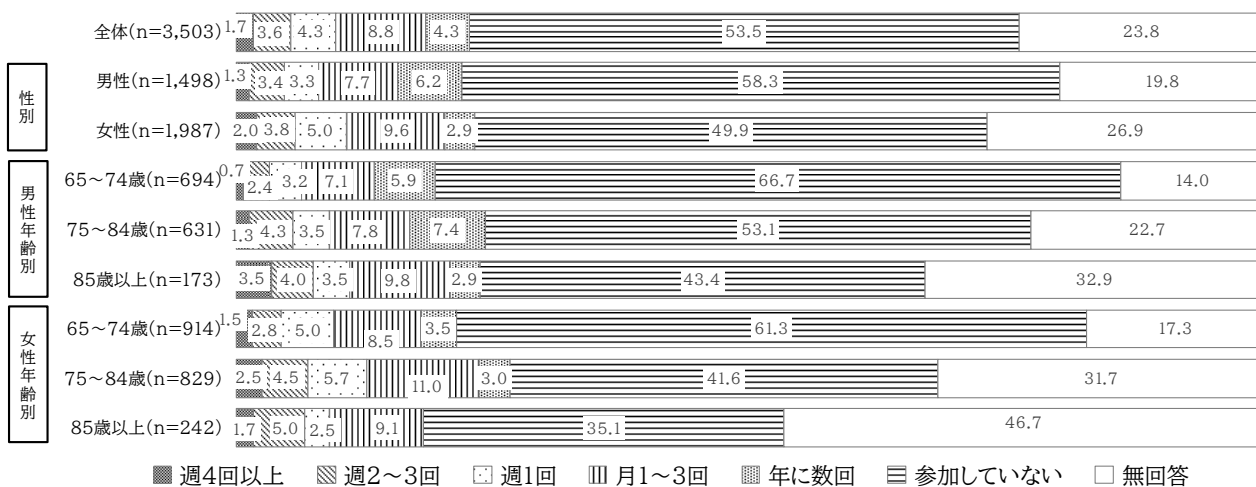
スポーツ関連のグループやクラブへの参加頻度は、「参加していない」が54.5%、「週2～3回」が7.7%、「週1回」が4.7%などとなっており、週1回以上の参加率は15%強となっています。

- 週1回以上の参加率は、女性では65～74歳が最も高く年齢が高くなるにつれて低くなるのに対し、男性は85歳以上が最も高くなっています。



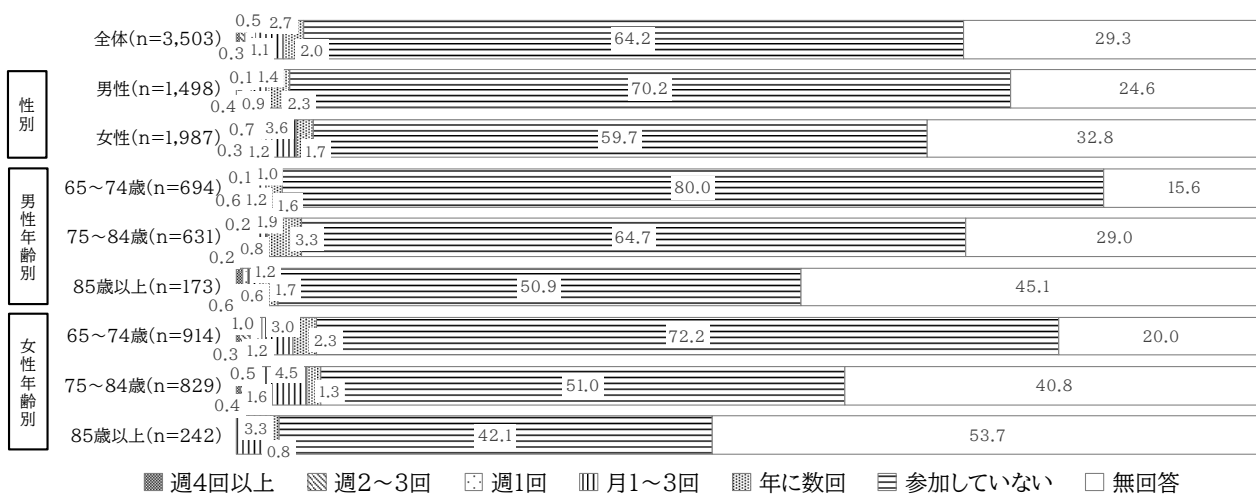
(1) ③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加頻度は、「参加していない」が53.5%、「月1～3回」が8.8%、「週1回」と「年に数回」が4.3%などとなっています。



(1) ④ 学習・教養サークル

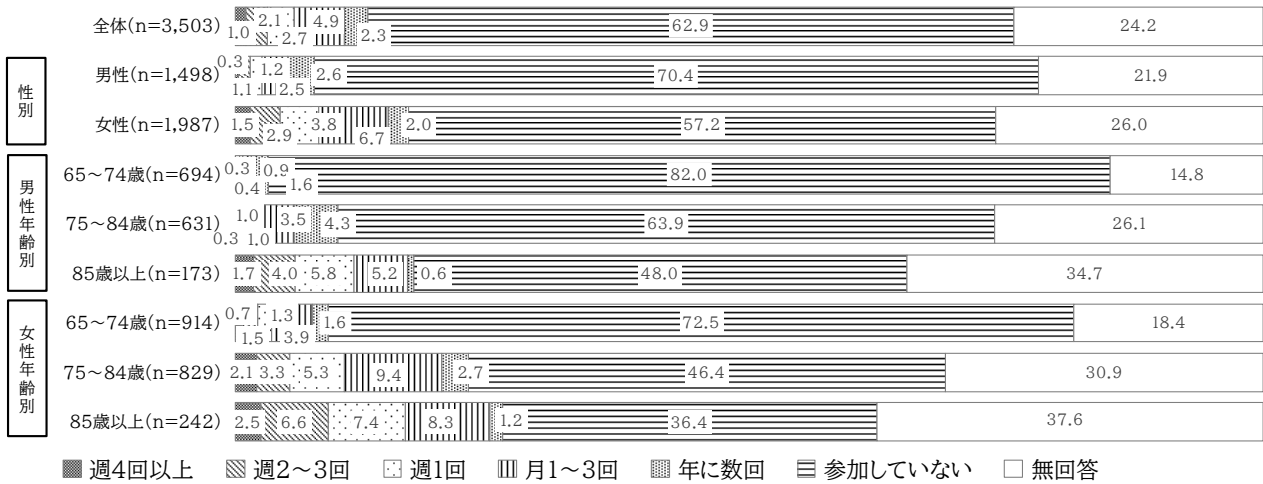
学習・教養サークルへの参加頻度は、「参加していない」が64.2%、「月1～3回」が2.7%、「年に数回」が2.0%などとなっています。



(1) ⑤ 地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室など介護予防のための通いの場

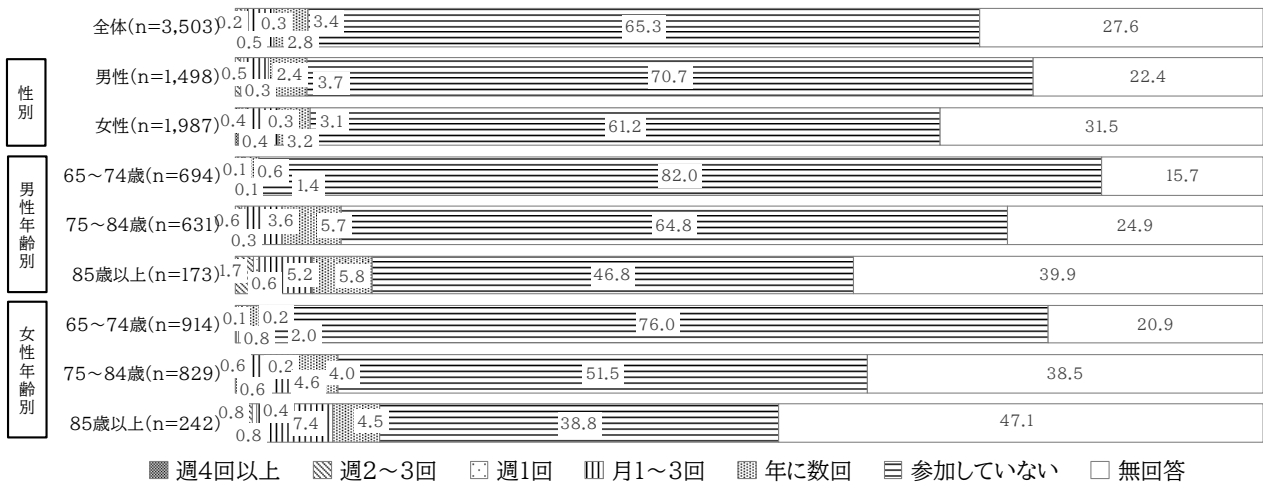
地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室など介護予防のための通いの場への参加頻度は、「参加していない」が62.9%、「月1～3回」が4.9%、「週に1回」が2.7%などとなっています。

- 参加率は女性の方が高く、また、男女ともに年齢が上がるにつれて参加率は上昇しています。



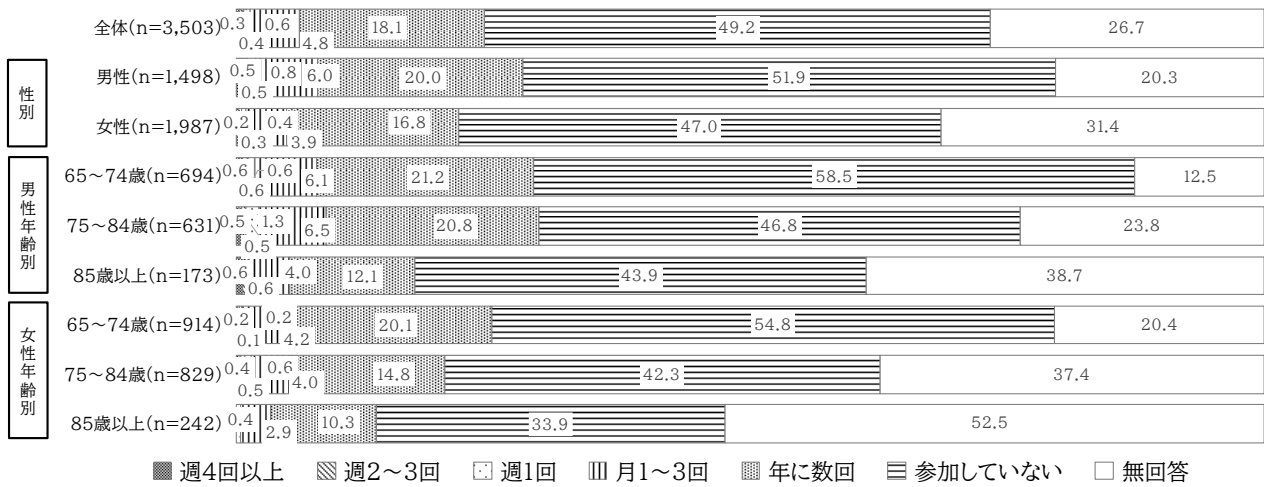
(1) ⑥ 老人クラブ

老人クラブへの参加頻度は、「参加していない」が65.3%、「年に数回」が3.4%、「月1～3回」が2.8%などとなっています。



(1) ⑦ 町内会・自治会

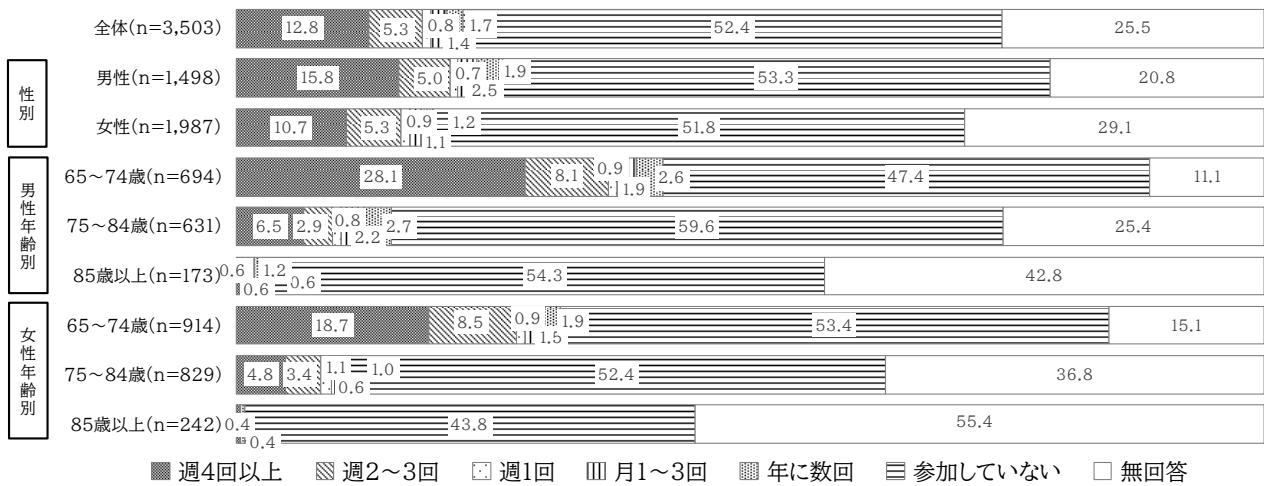
町内会・自治会への参加頻度は、「参加していない」が49.2%、「年に数回」が18.1%、「月1～3回」が4.8%などとなっています。



(1) ⑧ 収入のある仕事

収入のある仕事への参加頻度は、「参加していない」が52.4%、「週4回以上」が12.8%、「週2～3回」が5.3%などとなっています。

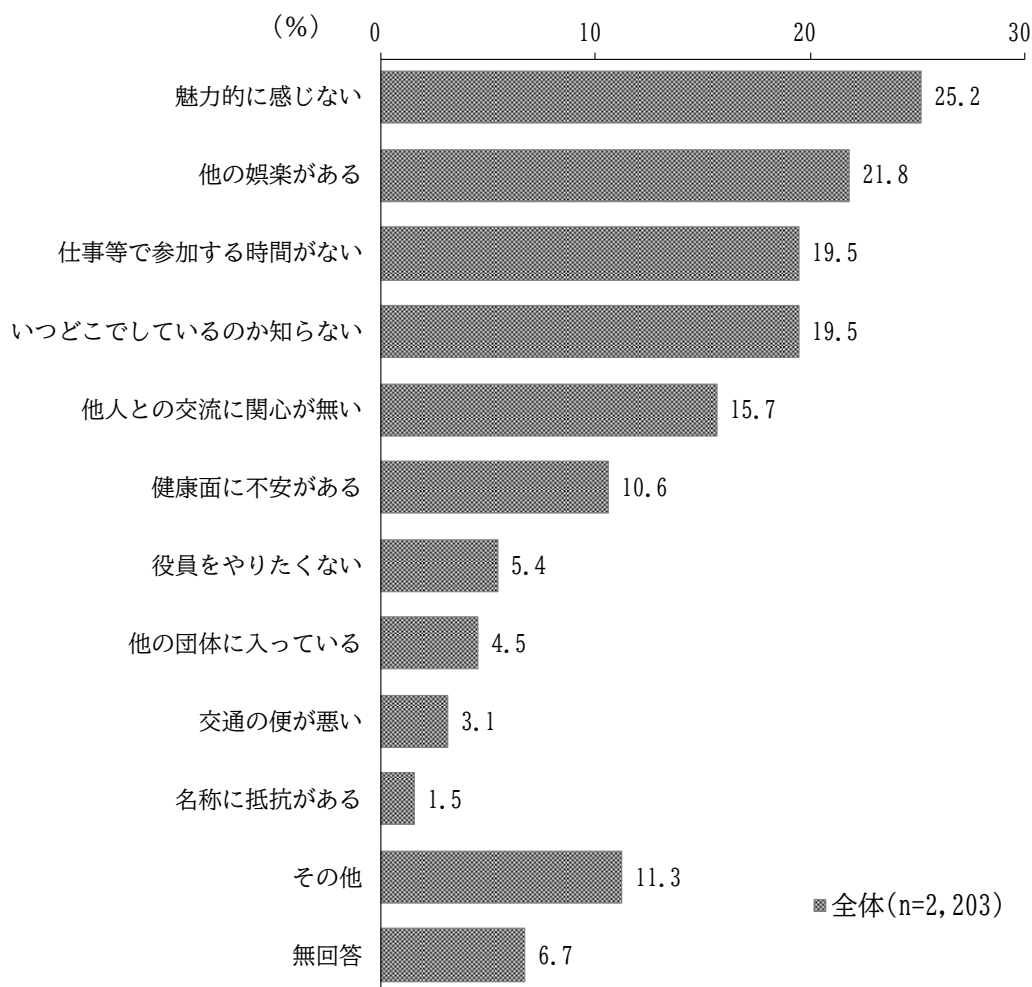
- ・ 就業率は男性の方が高くなっています。
- ・ 65～74歳の就業率は、男性で4割程度、女性で3割程度あります。



(1) -1 参加していない理由を教えてください (いくつでも)

⑤地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室など介護予防のための通いの場に「参加していない」と回答した方

地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室など介護予防のための通いの場に参加していない理由は、「魅力的に感じない」が25.2%と最も高く、次いで「他の娯楽がある」の21.8%、「仕事等で参加する時間がない」「いつどこでしているのか知らない」の19.5%の順となっています。



※「全体」降順ソート

- 男女ともに65～74歳では「仕事等で参加する時間がない」が、85歳以上では「健康面に不安がある」が高い傾向がみられます。また、「他の娯楽がある」はいずれの年代でも男性で高くなっています。

[上段:人 下段:%]	魅力的に感じない	他の娯楽がある	仕事等で参加する時間がない	いつでもどこでしているのか知らない	他人との交流に関心が無い	健康面に不安がある	役員をやりたいくない	他の団体に入っている	交通の便が悪い	名称に抵抗がある	その他	無回答
	全体 (n=2,203)	555 25.2	481 21.8	429 19.5	429 19.5	345 15.7	234 10.6	120 5.4	100 4.5	69 3.1	34 1.5	248 11.3
男性 (n=1,055)	293 27.8	277 26.3	230 21.8	205 19.4	196 18.6	102 9.7	62 5.9	34 3.2	20 1.9	16 1.5	90 8.5	70 6.6
男性 65～74歳 (n=569)	156 27.4	154 27.1	178 31.3	112 19.7	93 16.3	30 5.3	33 5.8	14 2.5	6 1.1	10 1.8	38 6.7	34 6.0
男性 75～84歳 (n=403)	117 29.0	103 25.6	48 11.9	79 19.6	87 21.6	54 13.4	26 6.5	15 3.7	7 1.7	6 1.5	39 9.7	29 7.2
男性 85歳以上 (n=83)	20 24.1	20 24.1	4 4.8	14 16.9	16 19.3	18 21.7	3 3.6	5 6.0	7 8.4	0 0.0	13 15.7	7 8.4
女性 (n=1,136)	259 22.8	202 17.8	197 17.3	223 19.6	147 12.9	130 11.4	58 5.1	66 5.8	49 4.3	18 1.6	156 13.7	77 6.8
女性 65～74歳 (n=663)	146 22.0	136 20.5	168 25.3	137 20.7	66 10.0	42 6.3	30 4.5	45 6.8	26 3.9	12 1.8	82 12.4	37 5.6
女性 75～84歳 (n=385)	99 25.7	58 15.1	27 7.0	71 18.4	67 17.4	64 16.6	25 6.5	18 4.7	18 4.7	4 1.0	58 15.1	34 8.8
女性 85歳以上 (n=88)	14 15.9	8 9.1	2 2.3	15 17.0	14 15.9	24 27.3	3 3.4	3 3.4	5 5.7	2 2.3	16 18.2	6 6.8

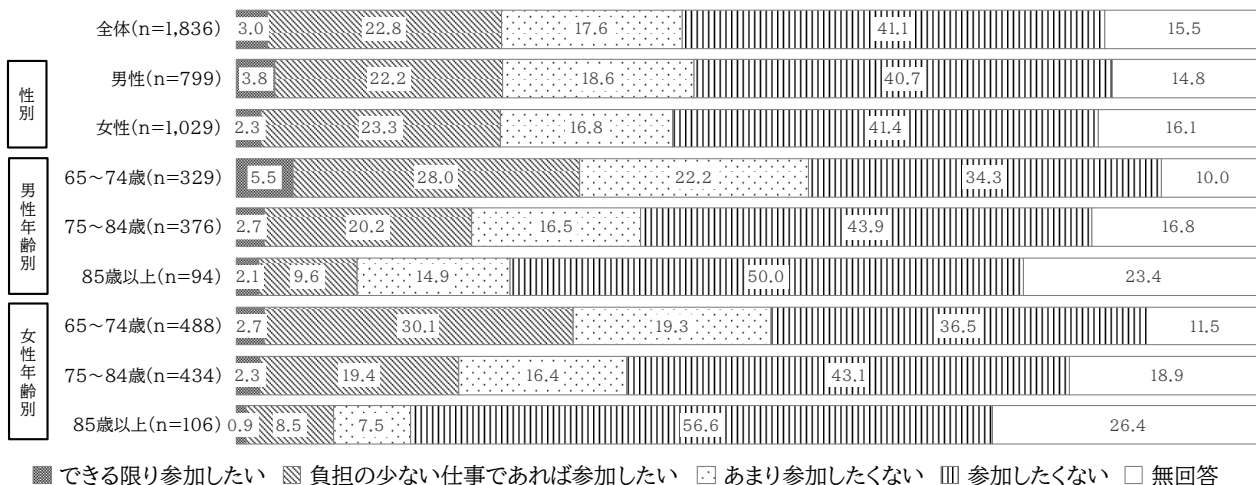
※「全体」降順ソート

(1) -2 収入のある仕事に参加したいと思いますか

⑧収入のある仕事に「参加していない」と回答した方

収入のある仕事に参加したいと思うかについては、「できる限り参加したい」は3.0%で、「負担の少ない仕事であれば参加したい」が22.8%、「あまり参加したくない」が17.6%、「参加したくない」が41.1%となっています。

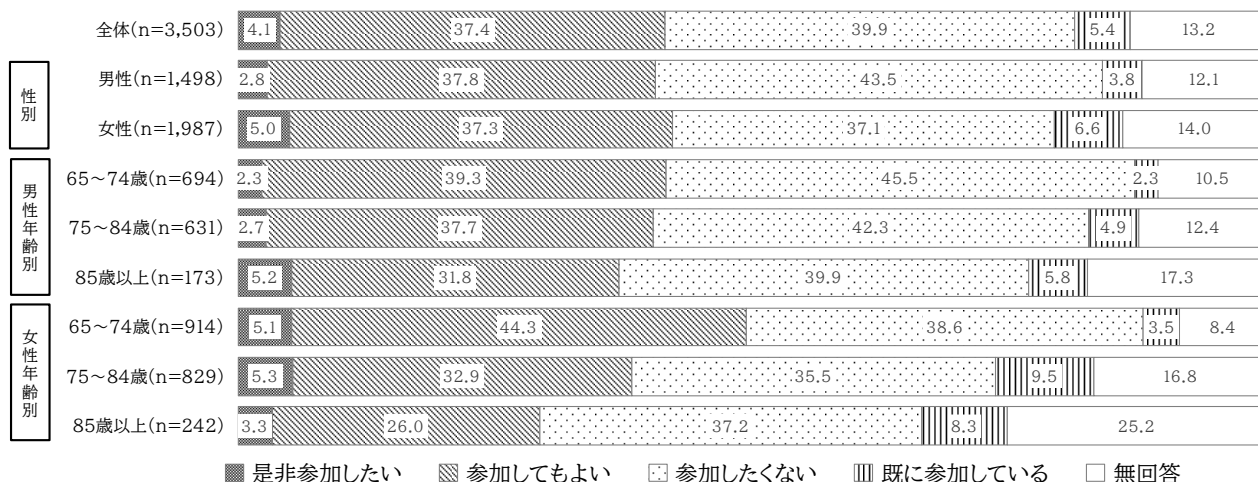
- ・ 「できる限り参加したい」と「負担の少ない仕事であれば参加したい」をあわせた参加希望率は、65～74歳では男女ともに3割以上となっています。条件があえば就業したいという意向を持つ高齢者が少なくないことが分かります。



■ できる限り参加したい ■ 負担の少ない仕事であれば参加したい □ あまり参加したくない ▨ 参加したくない □ 無回答

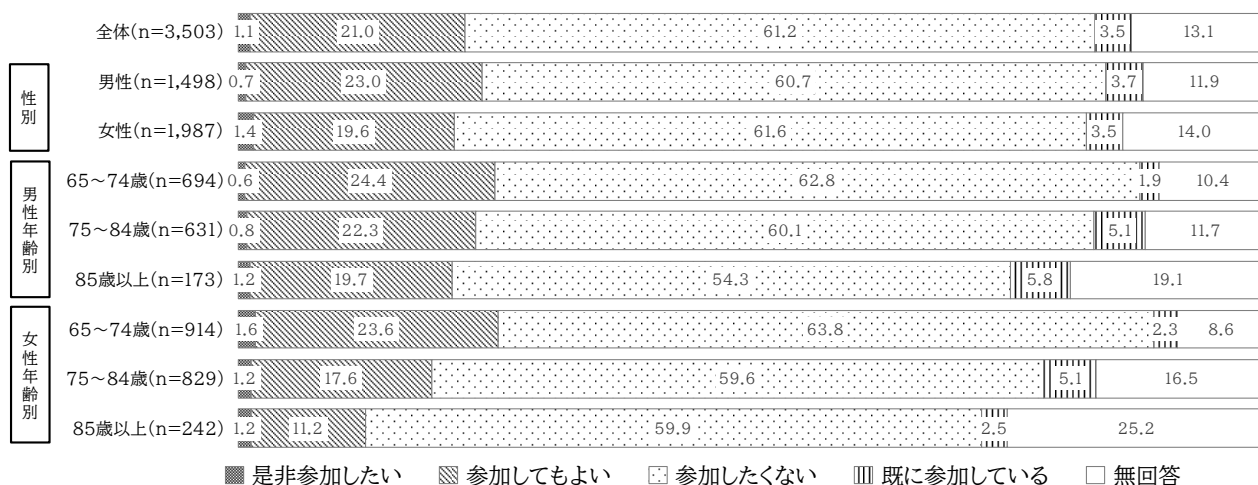
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加をしたいかについては、「既に参加している」は5.4%、「是非参加したい」は4.1%、「参加してもよい」は37.4%となっています。



(3) その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

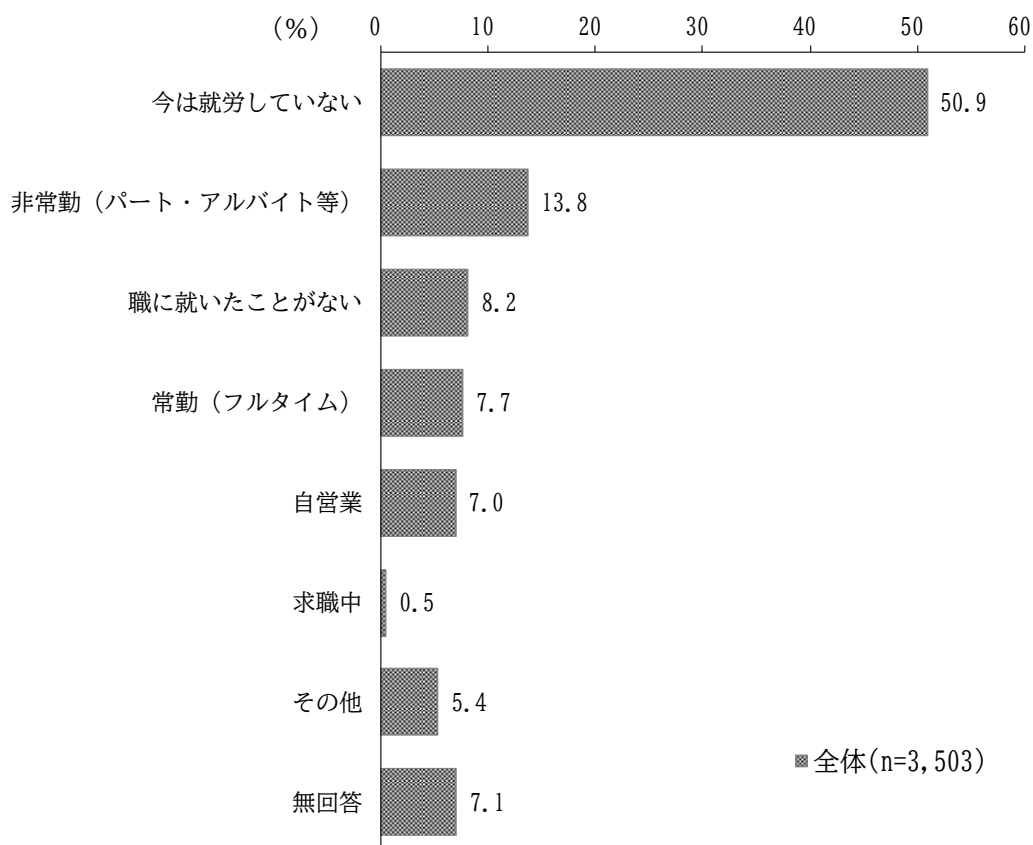
地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加をしたいかについては、「既に参加している」は3.5%、「是非参加したい」は1.1%、「参加してもよい」は21.0%となっています。



問6 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (いくつでも)

現在の就労状態については、「今は就労していない」が50.9%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が13.8%、「職に就いたことがない」が8.2%、「常勤（フルタイム）」が7.7%の順となっています。



※「全体」降順ソート

- 「常勤（フルタイム）」という回答が、65～74歳の男性では22.6%あります。

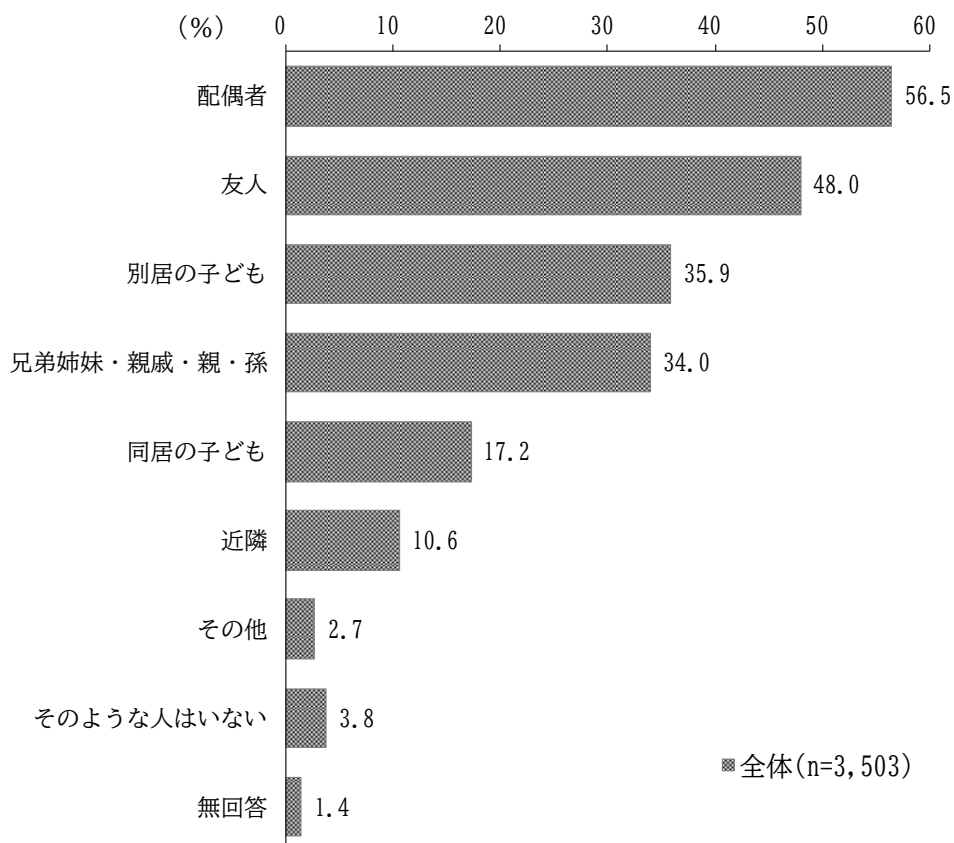
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 上段:人 下段:% </div>	今は就労していない	非常勤（パート・アルバイト）	職に就いたことがない	常勤（フルタイム）	自営業	求職中	その他	無回答
	全体 (n=3,503)	1,784 50.9	483 13.8	286 8.2	268 7.7	244 7.0	18 0.5	188 5.4
男性 (n=1,498)	722 48.2	196 13.1	107 7.1	192 12.8	139 9.3	11 0.7	71 4.7	70 4.7
男性 65～74歳 (n=694)	269 38.8	147 21.2	19 2.7	157 22.6	74 10.7	7 1.0	19 2.7	10 1.4
男性 75～84歳 (n=631)	367 58.2	47 7.4	63 10.0	34 5.4	52 8.2	4 0.6	33 5.2	33 5.2
男性 85歳以上 (n=173)	86 49.7	2 1.2	25 14.5	1 0.6	13 7.5	0 0.0	19 11.0	27 15.6
女性 (n=1,987)	1,052 52.9	283 14.2	178 9.0	75 3.8	105 5.3	7 0.4	115 5.8	178 9.0
女性 65～74歳 (n=914)	484 53.0	214 23.4	42 4.6	68 7.4	57 6.2	2 0.2	33 3.6	19 2.1
女性 75～84歳 (n=829)	451 54.4	67 8.1	104 12.5	6 0.7	44 5.3	5 0.6	60 7.2	93 11.2
女性 85歳以上 (n=242)	115 47.5	2 0.8	32 13.2	1 0.4	4 1.7	0 0.0	22 9.1	66 27.3

※「全体」降順ソート

問7 人とのつながりについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「配偶者」が56.5%と最も高く、次いで「友人」の48.0%、「別居の子ども」の35.9%の順となっています。



※「全体」降順ソート

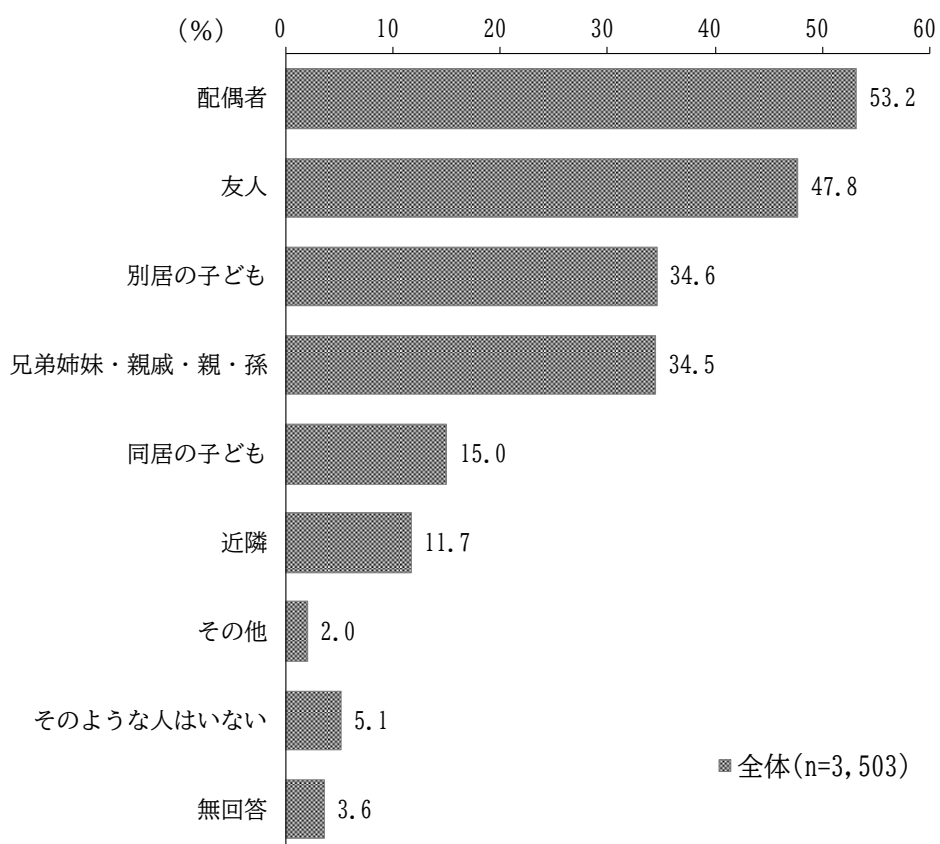
- ・ 性別にみると、男性は「配偶者」、女性は「友人」の割合が最も高くなっています。
- ・ 年齢別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて、「配偶者」「友人」の割合が低くなり、男女ともに「同居の子ども」「別居の子ども」といった“子ども”の割合が高くなる傾向にあります。特に女性 85 歳以上では「別居の子ども」の割合が 47.1% と最も高くなっています。

[上段:人 下段:%]	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
	全体 (n=3,503)	1,979 56.5	1,680 48.0	1,258 35.9	1,191 34.0	604 17.2	371 10.6	95 2.7	132 3.8
男性 (n=1,498)	1,112 74.2	502 33.5	400 26.7	329 22.0	181 12.1	71 4.7	35 2.3	89 5.9	24 1.6
男性 65~74歳 (n=694)	525 75.6	260 37.5	154 22.2	147 21.2	80 11.5	27 3.9	19 2.7	42 6.1	5 0.7
男性 75~84歳 (n=631)	480 76.1	203 32.2	177 28.1	142 22.5	73 11.6	33 5.2	12 1.9	33 5.2	12 1.9
男性 85歳以上 (n=173)	107 61.8	39 22.5	69 39.9	40 23.1	28 16.2	11 6.4	4 2.3	14 8.1	7 4.0
女性 (n=1,987)	860 43.3	1,168 58.8	850 42.8	851 42.8	422 21.2	297 14.9	60 3.0	43 2.2	26 1.3
女性 65~74歳 (n=914)	489 53.5	617 67.5	395 43.2	418 45.7	174 19.0	117 12.8	33 3.6	15 1.6	2 0.2
女性 75~84歳 (n=829)	329 39.7	465 56.1	340 41.0	355 42.8	174 21.0	141 17.0	19 2.3	20 2.4	14 1.7
女性 85歳以上 (n=242)	42 17.4	86 35.5	114 47.1	77 31.8	74 30.6	39 16.1	8 3.3	8 3.3	10 4.1

※「全体」降順ソート

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「配偶者」が53.2%と最も高く、次いで「友人」の47.8%、「別居の子ども」の34.6%の順となっています。



※「全体」降順ソート

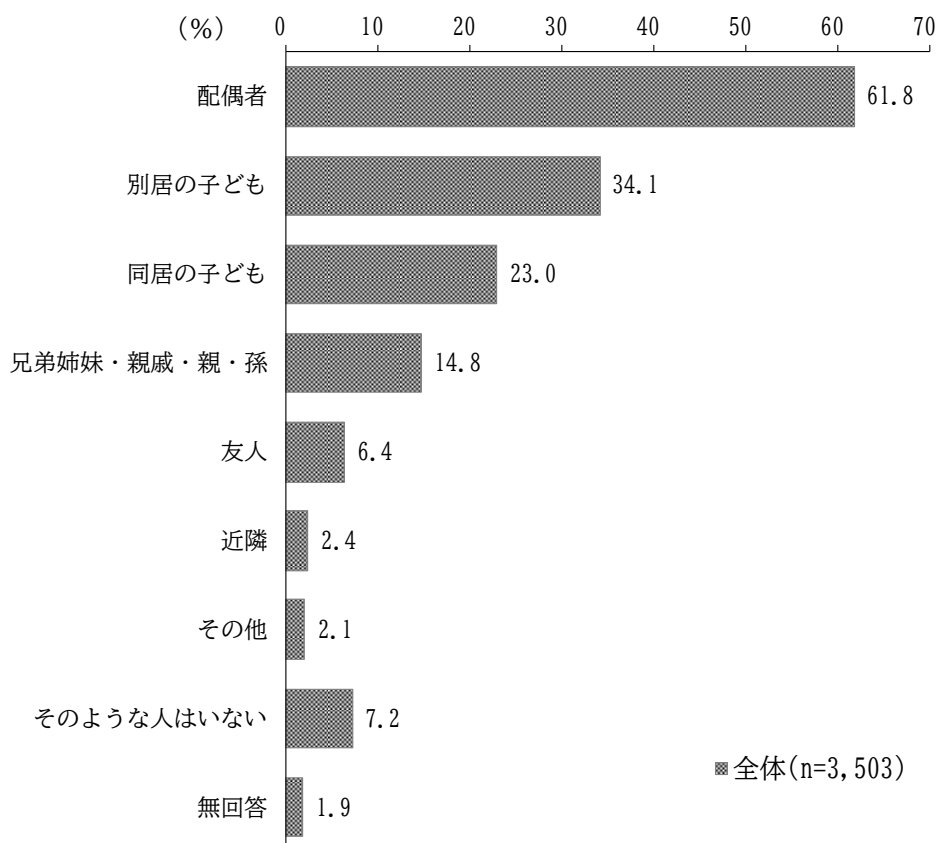
- ・ 性別にみると、(1)の心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人と同様に、男性は「配偶者」、女性は「友人」が最も高くなっています。「配偶者」を除いて女性の割合が男性よりも高くなっています。
- ・ 年齢別にみると、全ての年齢層で男性は「配偶者」、女性は「友人」が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれて割合は低くなる傾向にあります。

[上段:人 下段:%]	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
	全体 (n=3,503)	1,863 53.2	1,673 47.8	1,211 34.6	1,208 34.5	527 15.0	410 11.7	70 2.0	179 5.1
男性 (n=1,498)	1,085 72.4	497 33.2	433 28.9	375 25.0	172 11.5	81 5.4	26 1.7	100 6.7	50 3.3
男性 65~74歳 (n=694)	512 73.8	263 37.9	194 28.0	179 25.8	81 11.7	31 4.5	12 1.7	44 6.3	12 1.7
男性 75~84歳 (n=631)	467 74.0	198 31.4	183 29.0	156 24.7	70 11.1	44 7.0	13 2.1	33 5.2	25 4.0
男性 85歳以上 (n=173)	106 61.3	36 20.8	56 32.4	40 23.1	21 12.1	6 3.5	1 0.6	23 13.3	13 7.5
女性 (n=1,987)	771 38.8	1,168 58.8	771 38.8	824 41.5	355 17.9	327 16.5	44 2.2	77 3.9	74 3.7
女性 65~74歳 (n=914)	449 49.1	612 67.0	407 44.5	416 45.5	170 18.6	125 13.7	29 3.2	22 2.4	7 0.8
女性 75~84歳 (n=829)	289 34.9	472 56.9	283 34.1	334 40.3	137 16.5	165 19.9	9 1.1	33 4.0	48 5.8
女性 85歳以上 (n=242)	33 13.6	83 34.3	81 33.5	73 30.2	48 19.8	37 15.3	6 2.5	22 9.1	19 7.9

※「全体」降順ソート

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

病気で数日間寝込んだとき、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が61.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」の34.1%、「同居の子ども」の23.0%の順となっています。



※「全体」降順ソート

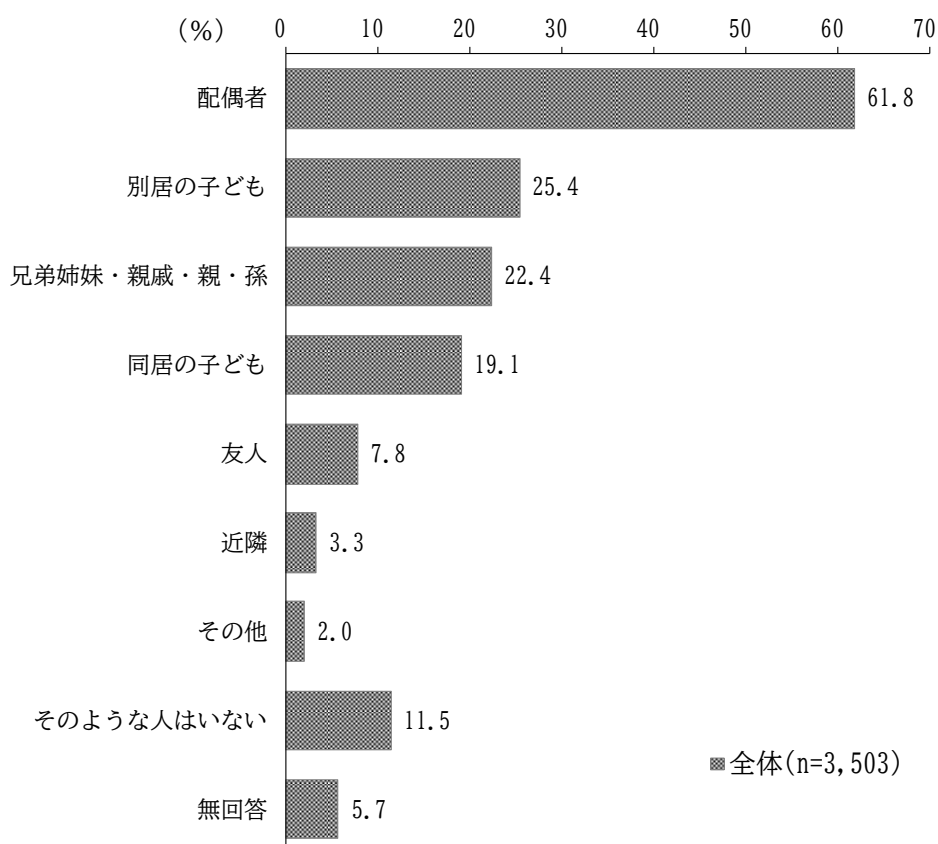
- ・ 性別にみると、男女ともに「配偶者」が最も高くなっていますが、男性の割合が女性よりも高くなっています。女性は「配偶者」以外の項目で男性の割合よりも高くなっています。
- ・ 年齢別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高くなっています。特に女性の85歳以上のおよそ5割近くが「別居の子ども」と回答しています。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 上段:人 下段:% </div>	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
	全体 (n=3,503)	2,165 61.8	1,195 34.1	806 23.0	518 14.8	223 6.4	84 2.4	72 2.1	252 7.2
男性 (n=1,498)	1,186 79.2	396 26.4	263 17.6	126 8.4	42 2.8	12 0.8	18 1.2	110 7.3	28 1.9
男性 65~74歳 (n=694)	562 81.0	152 21.9	117 16.9	53 7.6	17 2.4	2 0.3	3 0.4	63 9.1	4 0.6
男性 75~84歳 (n=631)	511 81.0	175 27.7	111 17.6	54 8.6	23 3.6	7 1.1	10 1.6	36 5.7	14 2.2
男性 85歳以上 (n=173)	113 65.3	69 39.9	35 20.2	19 11.0	2 1.2	3 1.7	5 2.9	11 6.4	10 5.8
女性 (n=1,987)	970 48.8	794 40.0	542 27.3	386 19.4	178 9.0	71 3.6	54 2.7	140 7.0	37 1.9
女性 65~74歳 (n=914)	557 60.9	342 37.4	224 24.5	191 20.9	77 8.4	27 3.0	15 1.6	61 6.7	6 0.7
女性 75~84歳 (n=829)	376 45.4	339 40.9	225 27.1	161 19.4	75 9.0	28 3.4	24 2.9	64 7.7	24 2.9
女性 85歳以上 (n=242)	37 15.3	112 46.3	93 38.4	34 14.0	26 10.7	16 6.6	14 5.8	15 6.2	7 2.9

※「全体」降順ソート

(4) 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

看病や世話をしあける人は、「配偶者」が61.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」の25.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の22.4%の順となっています。



■ 全体(n=3,503)

※「全体」降順ソート

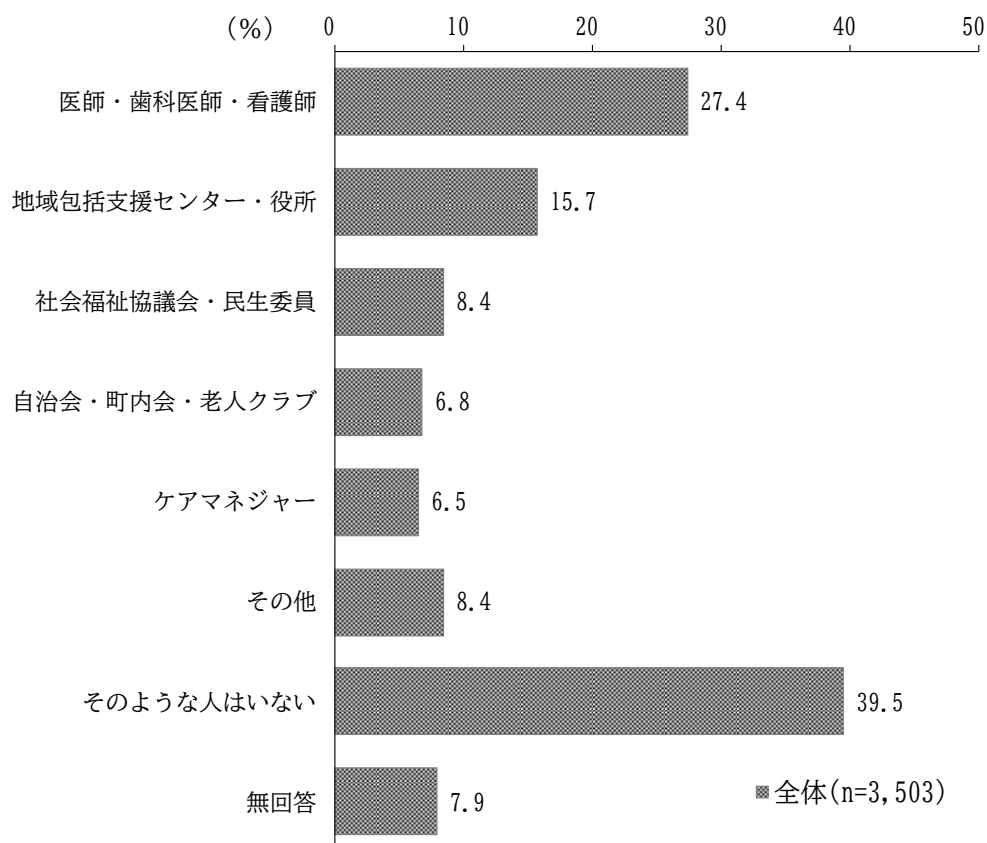
- ・ 性別にみると、男女ともに「配偶者」が最も高くなっており、男性の割合が女性よりも高くなっています。逆に女性は「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が男性よりも10ポイント以上高くなっています。
- ・ 年齢別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて「配偶者」の割合が低くなる傾向にあります。また女性では年齢が高くなるにつれて「別居の子ども」の割合も低くなっています。女性85歳以上は「同居の子ども」の割合が最も高くなっています。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 上段：人 下段：％ </div>	配偶者	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
	全体 (n=3,503)	2,166 61.8	891 25.4	784 22.4	669 19.1	273 7.8	116 3.3	70 2.0	402 11.5
男性 (n=1,498)	1,123 75.0	269 18.0	215 14.4	204 13.6	54 3.6	22 1.5	22 1.5	176 11.7	64 4.3
男性 65～74歳 (n=694)	534 76.9	128 18.4	111 16.0	107 15.4	22 3.2	8 1.2	9 1.3	82 11.8	13 1.9
男性 75～84歳 (n=631)	478 75.8	104 16.5	85 13.5	76 12.0	30 4.8	11 1.7	9 1.4	69 10.9	36 5.7
男性 85歳以上 (n=173)	111 64.2	37 21.4	19 11.0	21 12.1	2 1.2	3 1.7	4 2.3	25 14.5	15 8.7
女性 (n=1,987)	1,034 52.0	617 31.1	564 28.4	465 23.4	214 10.8	91 4.6	48 2.4	223 11.2	136 6.8
女性 65～74歳 (n=914)	594 65.0	343 37.5	338 37.0	218 23.9	101 11.1	31 3.4	19 2.1	68 7.4	22 2.4
女性 75～84歳 (n=829)	396 47.8	238 28.7	199 24.0	187 22.6	95 11.5	47 5.7	16 1.9	100 12.1	70 8.4
女性 85歳以上 (n=242)	44 18.2	36 14.9	27 11.2	60 24.8	18 7.4	13 5.4	13 5.4	54 22.3	43 17.8

※「全体」降順ソート

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「そのような人はいない」が39.5%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の27.4%、「地域包括支援センター・役所」の15.7%の順となっています。



※「全体」降順ソート

- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「そのような人はいない」の割合が低くなり、いずれかの相談相手が高くなる傾向にあります。特に85歳以上の男性では「医師・歯科医師・看護師」、85歳以上の女性では「地域包括支援センター・役所」が3割を超えています。

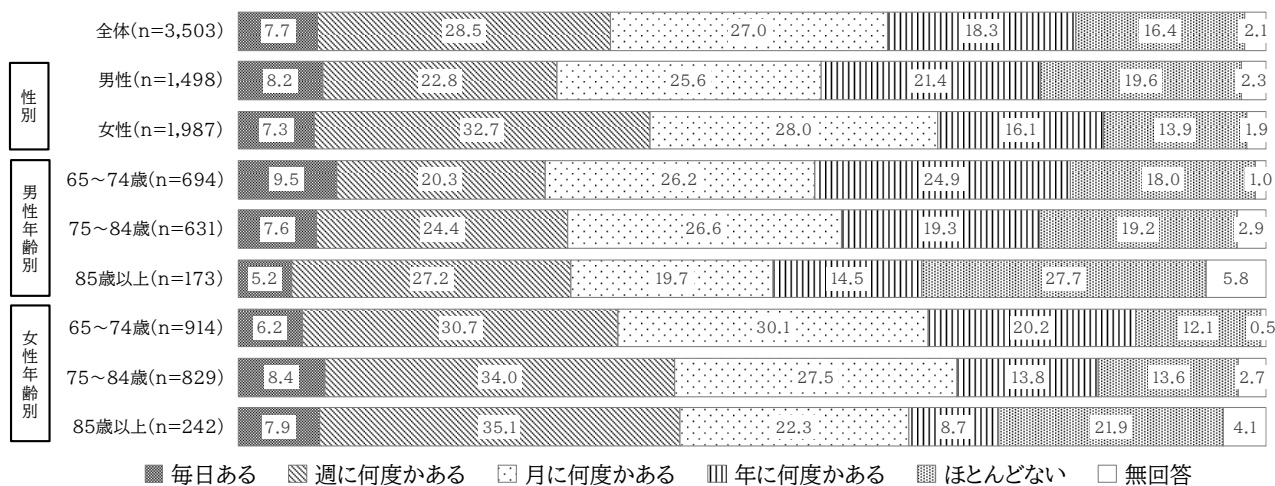
[上段:人 下段:%]	医師・ 歯科医師・ 看護師	所 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー ・ 役	社 会 福 祉 協 議 会 ・ 民 生 委 員	プ 自 治 会 ・ 町 内 会 ・ 老 人 ク ラ	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
	全体 (n=3,503)	960 27.4	551 15.7	294 8.4	237 6.8	227 6.5	294 8.4	1,385 39.5
男性 (n=1,498)	435 29.0	188 12.6	114 7.6	119 7.9	67 4.5	155 10.3	627 41.9	90 6.0
男性 65~74歳 (n=694)	196 28.2	35 5.0	29 4.2	41 5.9	24 3.5	88 12.7	350 50.4	26 3.7
男性 75~84歳 (n=631)	179 28.4	107 17.0	58 9.2	59 9.4	26 4.1	57 9.0	234 37.1	47 7.4
男性 85歳以上 (n=173)	60 34.7	46 26.6	27 15.6	19 11.0	17 9.8	10 5.8	43 24.9	17 9.8
女性 (n=1,987)	523 26.3	360 18.1	175 8.8	117 5.9	160 8.1	138 6.9	749 37.7	186 9.4
女性 65~74歳 (n=914)	260 28.4	111 12.1	35 3.8	43 4.7	43 4.7	78 8.5	436 47.7	55 6.0
女性 75~84歳 (n=829)	202 24.4	168 20.3	102 12.3	56 6.8	63 7.6	50 6.0	265 32.0	104 12.5
女性 85歳以上 (n=242)	61 25.2	80 33.1	38 15.7	18 7.4	54 22.3	10 4.1	47 19.4	27 11.2

※「全体」降順ソート

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

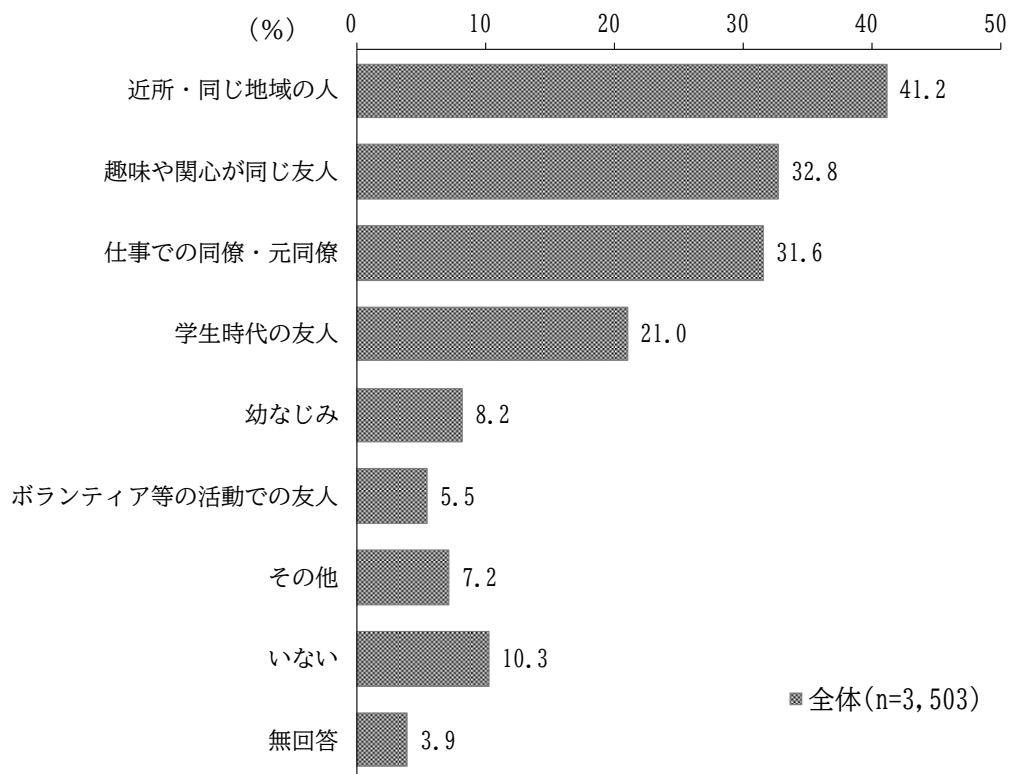
友人・知人と会う頻度は、「毎日ある」が7.7%、「週に何度かある」が28.5%、「月に何度かある」が27.0%、「年に何度かある」が18.3%、「ほとんどない」が16.4%となっています。

- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「ほとんどない」の割合が高くなり、特に85代以上の男性では3割近くにのぼります。



(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

よく会う友人・知人については、「近所・同じ地域の人」が41.2%と最も高く、次いで「趣味や関心と同じ友人」の32.8%、「仕事での同僚・元同僚」の31.6%の順となっています。



■ 全体 (n=3,503)

※「全体」降順ソート

- ・ 性別にみると、男性は「仕事での同僚・元同僚」、女性は「近所・同じ地域の人」の割合が最も高くなっています。
- ・ 年齢別にみると、男性 65～74 歳は「仕事での同僚・元同僚」の割合が最も高くなっていますが、男性 75 歳以上と女性の全ての年齢層は「近所・同じ地域の人」の割合が最も高くなっています。男女ともに年齢が高くなるにつれて「近所・同じ地域の人」の割合が高くなっています。

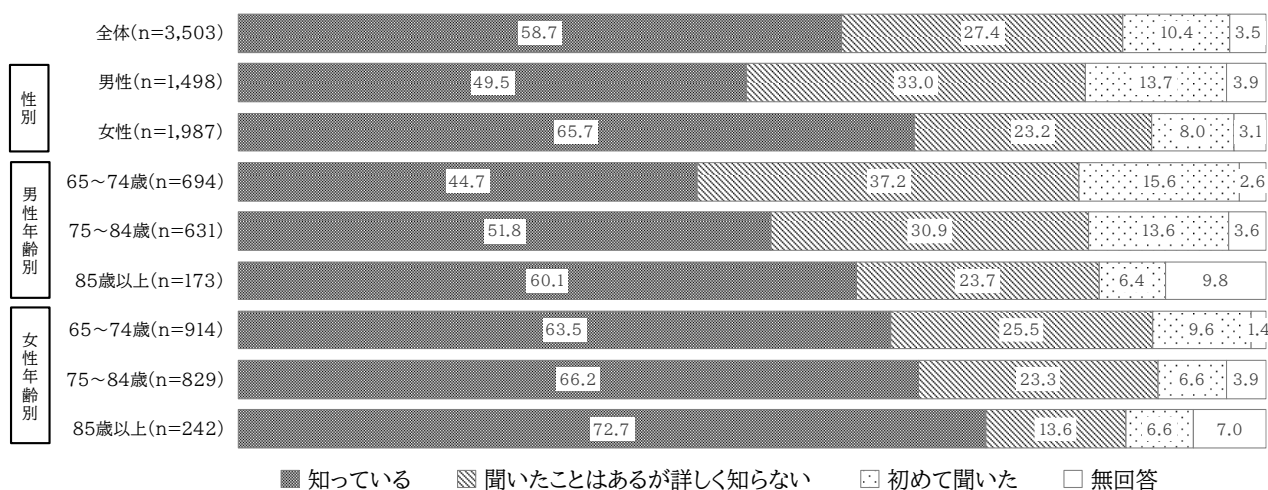
[上段:人 下段:%]	近所・同じ地域の人	趣味や関心が同じ友人	仕事での同僚・元同僚	学生時代の友人	幼なじみ	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
	全体 (n=3,503)	1,442 41.2	1,148 32.8	1,107 31.6	737 21.0	286 8.2	191 5.5	251 7.2	360 10.3
男性 (n=1,498)	469 31.3	477 31.8	538 35.9	301 20.1	110 7.3	64 4.3	92 6.1	184 12.3	69 4.6
男性 65～74歳 (n=694)	144 20.7	208 30.0	334 48.1	175 25.2	52 7.5	24 3.5	38 5.5	76 11.0	18 2.6
男性 75～84歳 (n=631)	247 39.1	212 33.6	185 29.3	111 17.6	51 8.1	35 5.5	47 7.4	75 11.9	33 5.2
男性 85歳以上 (n=173)	78 45.1	57 32.9	19 11.0	15 8.7	7 4.0	5 2.9	7 4.0	33 19.1	18 10.4
女性 (n=1,987)	966 48.6	663 33.4	562 28.3	434 21.8	175 8.8	126 6.3	159 8.0	171 8.6	69 3.5
女性 65～74歳 (n=914)	359 39.3	290 31.7	351 38.4	254 27.8	95 10.4	54 5.9	80 8.8	77 8.4	21 2.3
女性 75～84歳 (n=829)	466 56.2	308 37.2	185 22.3	160 19.3	70 8.4	63 7.6	63 7.6	59 7.1	36 4.3
女性 85歳以上 (n=242)	140 57.9	65 26.9	26 10.7	20 8.3	10 4.1	9 3.7	16 6.6	35 14.5	11 4.5

※「全体」降順ソート

(8) 高齢者の総合相談窓口として、地域包括支援センターが設置されていることを知っていますか

地域包括支援センターの認知度は、「知っている」が58.7%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が27.4%、「初めて聞いた」が10.4%となっています。

- ・ 女性の方が認知度は高く、また、男女ともに年齢が高い層ほど認知度は高くなっています。

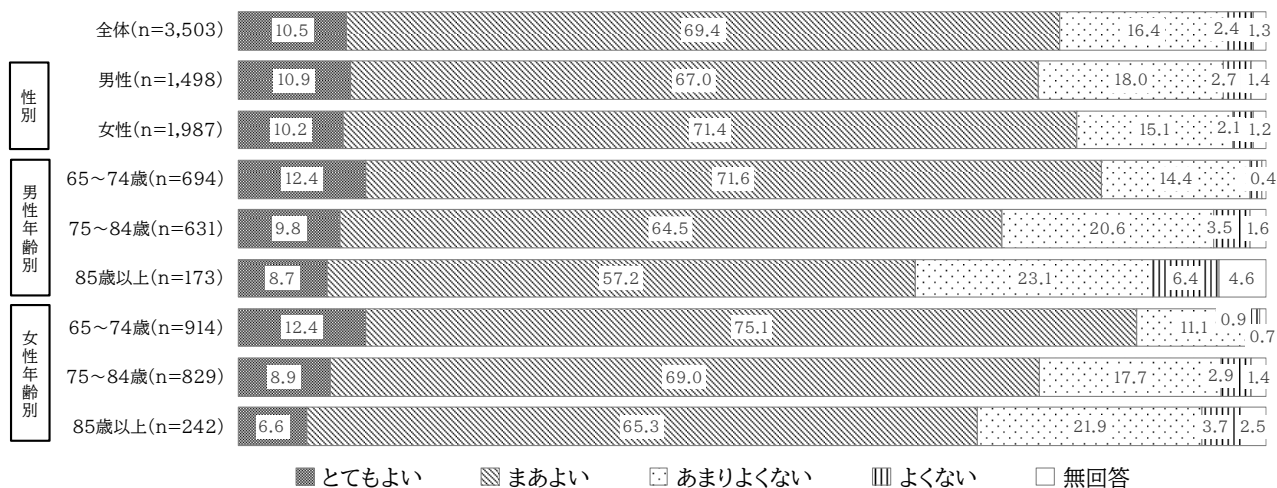


問8 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

現在の健康状態については、「まあよい」が69.4%と最も高く、次いで「あまりよくない」の16.4%、「とてもよい」の10.5%の順となっています。

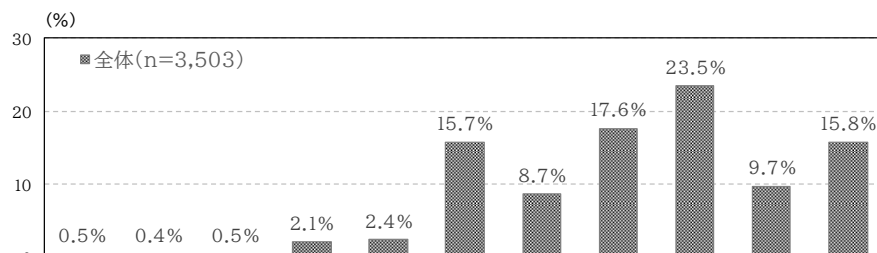
- 男女ともに年齢が高くなるにつれて「とてもよい」「まあよい」の割合が低くなっています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

現在の幸福度は、「8点」が23.5%と最も高く、次いで「7点」の17.6%、「10点」の15.8%の順となっています。全体の幸福度の平均点は7.0点となっています。

- 平均点を性別にみると、男性6.9点、女性7.2点と、性別による差はみられません。
- また、平均点を年齢別にみると、男性85歳以上では6.4点と、ほかの年代及び女性と比べて幸福度が低くなっています。



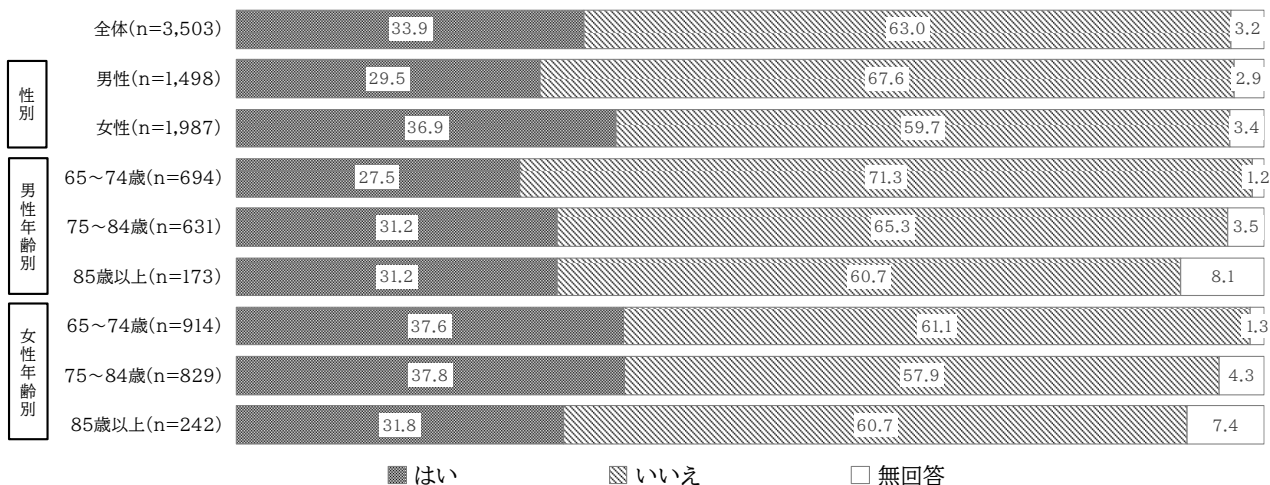
		(n=)	とても不幸 (0点)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	とても 幸せ (10点)	無回答	平均点
全体		3,503	16	15	16	75	85	550	304	617	822	341	552	110	7.0
			0.5%	0.4%	0.5%	2.1%	2.4%	15.7%	8.7%	17.6%	23.5%	9.7%	15.8%	3.1%	
性別	男性	1,498	9	9	5	35	40	276	150	254	340	115	221	44	6.9
			0.6%	0.6%	0.3%	2.3%	2.7%	18.4%	10.0%	17.0%	22.7%	7.7%	14.8%	2.9%	
女性	女性	1,987	5	6	10	40	44	270	154	362	478	224	328	66	7.2
			0.3%	0.3%	0.5%	2.0%	2.2%	13.6%	7.8%	18.2%	24.1%	11.3%	16.5%	3.3%	
男性 年齢別	65～74歳	694	3	4	3	20	19	121	77	118	158	56	107	8	7.0
			0.4%	0.6%	0.4%	2.9%	2.7%	17.4%	11.1%	17.0%	22.8%	8.1%	15.4%	1.2%	
	75～84歳	631	4	5	1	9	17	116	60	111	149	45	91	23	6.9
			0.6%	0.8%	0.2%	1.4%	2.7%	18.4%	9.5%	17.6%	23.6%	7.1%	14.4%	3.6%	
	85歳以上	173	2	0	1	6	4	39	13	25	33	14	23	13	6.4
			1.2%	0.0%	0.6%	3.5%	2.3%	22.5%	7.5%	14.5%	19.1%	8.1%	13.3%	7.5%	
女性 年齢別	65～74歳	914	2	2	6	22	23	109	59	181	240	115	141	14	7.3
			0.2%	0.2%	0.7%	2.4%	2.5%	11.9%	6.5%	19.8%	26.3%	12.6%	15.4%	1.5%	
	75～84歳	829	1	3	3	16	18	124	77	148	177	92	136	34	7.1
			0.1%	0.4%	0.4%	1.9%	2.2%	15.0%	9.3%	17.9%	21.4%	11.1%	16.4%	4.1%	
	85歳以上	242	2	1	1	2	3	36	18	33	61	17	50	18	7.0
			0.8%	0.4%	0.4%	0.8%	1.2%	14.9%	7.4%	13.6%	25.2%	7.0%	20.7%	7.4%	

問8(3)(4)はうつ傾向を問う設問です。いずれか1つでも「はい」が回答された場合は、うつ傾向の高齢者と判定されます。

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

こころの状態について、この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が33.9%、「いいえ」が63.0%となっています。

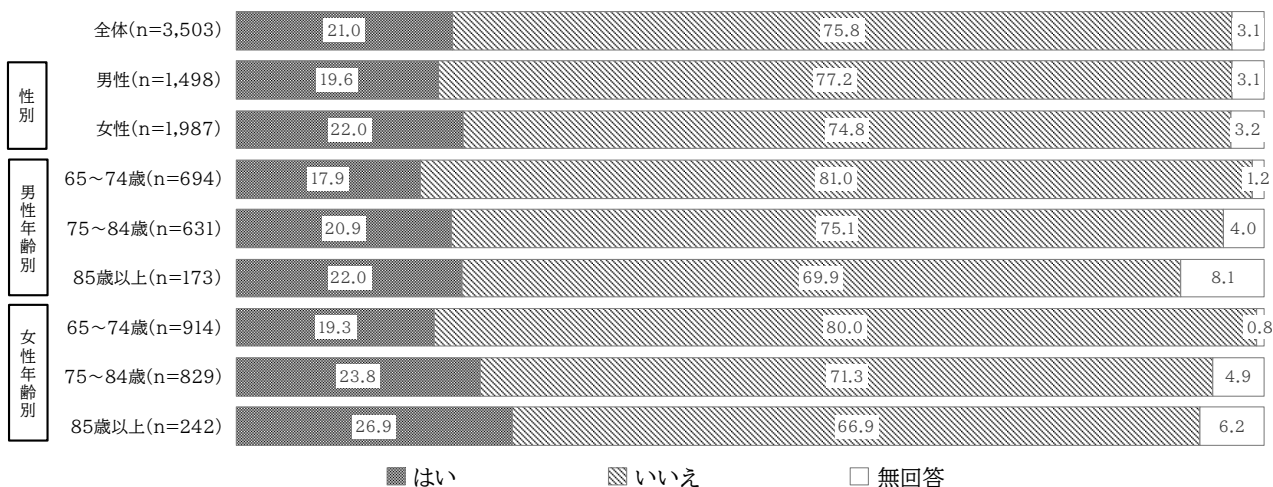
- ・ 女性の方が「はい」の割合が高くなっています。



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

こころの状態について、この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が21.0%、「いいえ」が75.8%となっています。

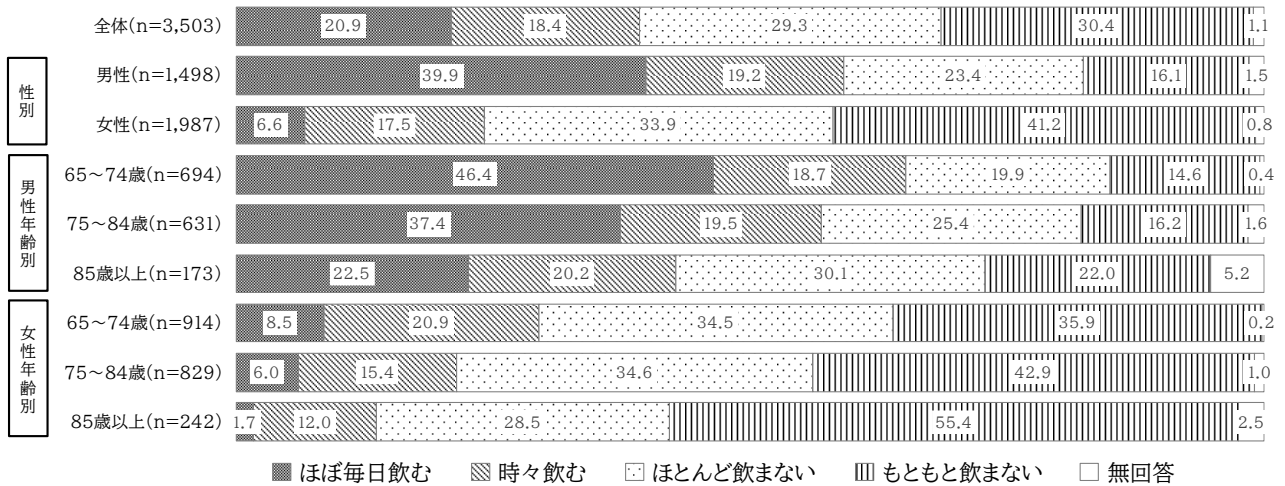
- ・ 男女ともに年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなっています。



(5) お酒は飲みますか

飲酒の有無については、「ほぼ毎日飲む」は 20.9%、「時々飲む」は 18.4%となっています。

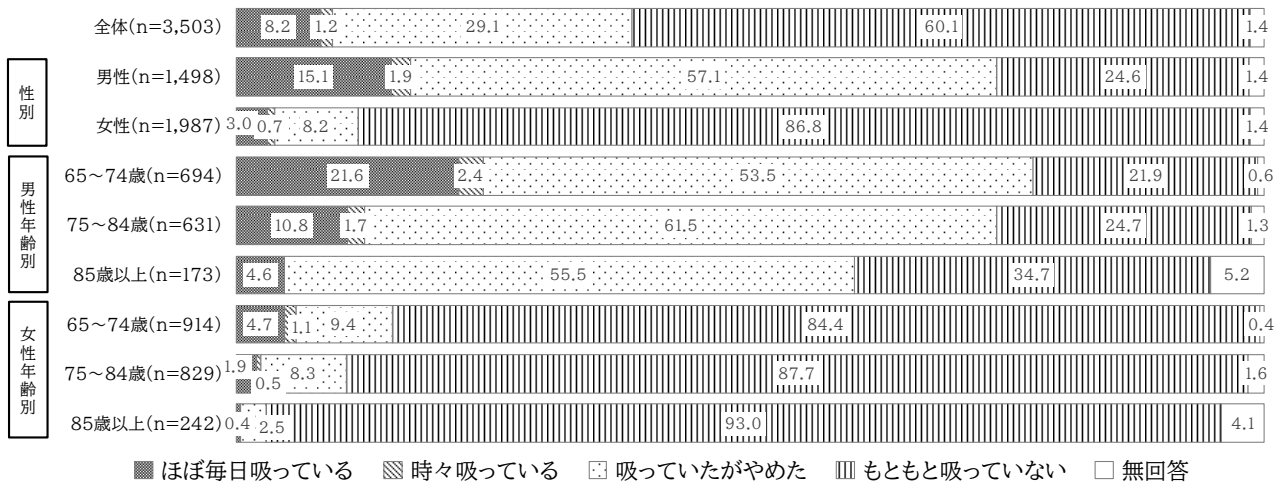
- ・ 飲酒率は男性の方が高く、「ほぼ毎日飲む」は 65～74 歳の男性で 46.4%、75～84 歳の男性で 37.4%となっています。



(6) タバコは吸っていますか

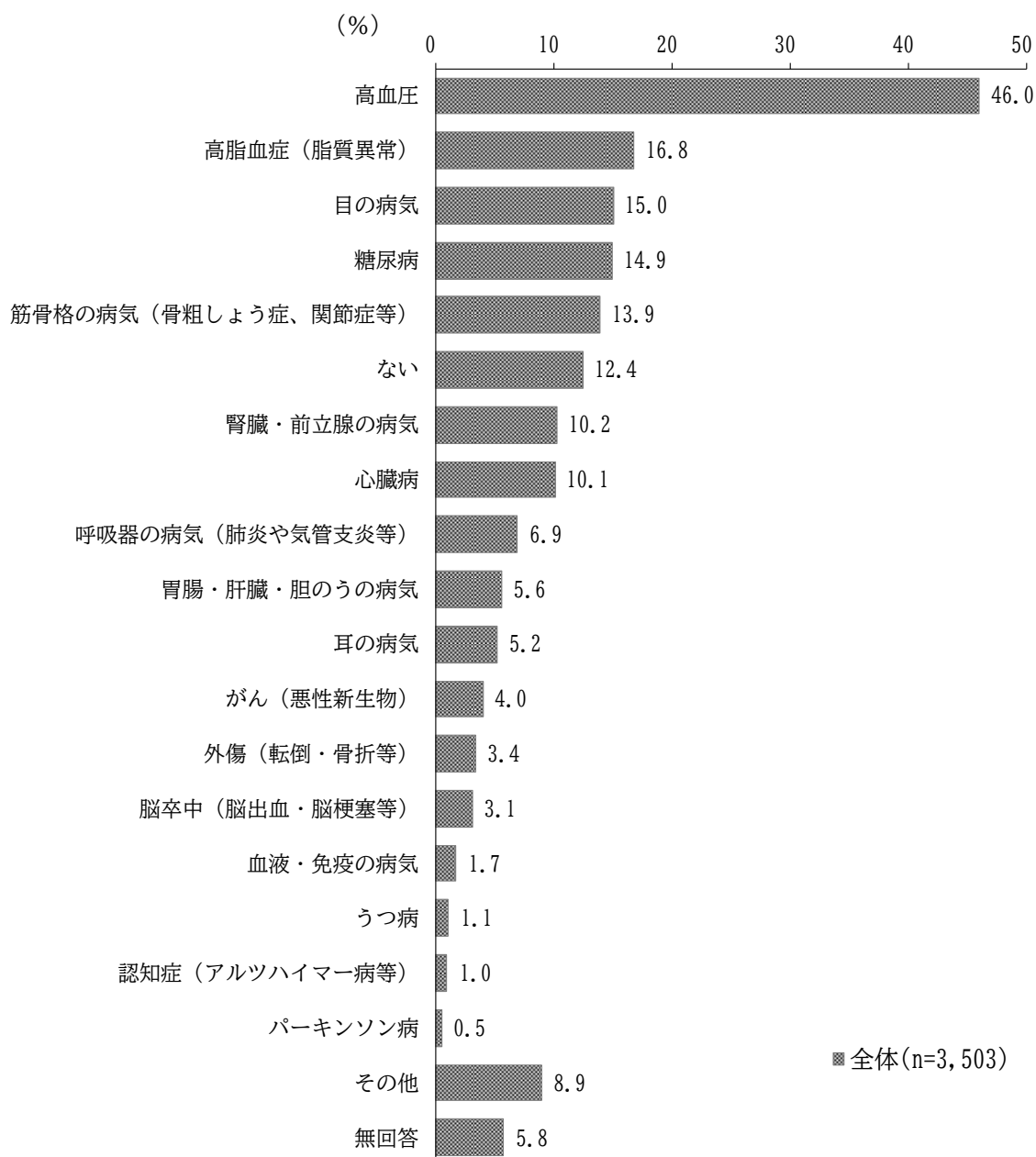
喫煙の有無については、「ほぼ毎日吸っている」は 8.2%、「時々吸っている」は 1.2%となっています。

- ・ 喫煙率は男性の方が高く、「ほぼ毎日吸っている」は 65～74 歳の男性で 21.6%、75～84 歳の男性で 10.8%となっています。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が46.0%と最も高く、次いで「高脂血症(脂質異常)」の16.8%、「目の病気」の15.0%、「糖尿病」の14.9%の順となっています。



※「全体」降順ソート

[上段:人 下段:%]	高血圧	高脂血症 (脂質異常)	目の病 気	糖尿 病	症、筋 骨格の病 気(骨粗し ょう	ない	腎臓・前 立腺の病 気	心臓 病	呼吸器の 病気(肺炎 や気管	胃腸・肝 臓・胆の うの病 気	耳の病 気	がん(悪 性新生物)	外傷(転 倒・骨折 等)	脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞	血液・免 疫の病 気	うつ 病	認知症 (アルツ ハイマー 病
	全体 (n=3,503)	1,612 46.0	588 16.8	526 15.0	523 14.9	488 13.9	436 12.4	359 10.2	353 10.1	243 6.9	195 5.6	182 5.2	139 4.0	118 3.4	108 3.1	61 1.7	38 1.1
男性 (n=1,498)	739 49.3	188 12.6	206 13.8	308 20.6	75 5.0	164 10.9	299 20.0	191 12.8	112 7.5	81 5.4	78 5.2	64 4.3	28 1.9	68 4.5	27 1.8	13 0.9	17 1.1
男性 65~74歳 (n=694)	332 47.8	110 15.9	84 12.1	149 21.5	31 4.5	99 14.3	94 13.5	72 10.4	38 5.5	29 4.2	24 3.5	19 2.7	5 0.7	25 3.6	9 1.3	8 1.2	5 0.7
男性 75~84歳 (n=631)	316 50.1	65 10.3	83 13.2	131 20.8	31 4.9	55 8.7	166 26.3	87 13.8	59 9.4	36 5.7	36 5.7	38 6.0	13 2.1	32 5.1	14 2.2	3 0.5	10 1.6
男性 85歳以上 (n=173)	91 52.6	13 7.5	39 22.5	28 16.2	13 7.5	10 5.8	39 22.5	32 18.5	15 8.7	16 9.2	18 10.4	7 4.0	10 5.8	11 6.4	4 2.3	2 1.2	2 1.2
女性 (n=1,987)	863 43.4	397 20.0	318 16.0	212 10.7	412 20.7	270 13.6	56 2.8	161 8.1	128 6.4	112 5.6	104 5.2	74 3.7	89 4.5	38 1.9	34 1.7	25 1.3	16 0.8
女性 65~74歳 (n=914)	321 35.1	196 21.4	133 14.6	84 9.2	164 17.9	173 18.9	26 2.8	46 5.0	48 5.3	49 5.4	34 3.7	35 3.8	21 2.3	10 1.1	16 1.8	11 1.2	0 0.0
女性 75~84歳 (n=829)	406 49.0	173 20.9	140 16.9	99 11.9	179 21.6	83 10.0	22 2.7	77 9.3	57 6.9	47 5.7	45 5.4	31 3.7	46 5.5	21 2.5	15 1.8	12 1.4	10 1.2
女性 85歳以上 (n=242)	136 56.2	27 11.2	44 18.2	28 11.6	69 28.5	14 5.8	8 3.3	38 15.7	22 9.1	16 6.6	25 10.3	8 3.3	22 9.1	7 2.9	3 1.2	2 0.8	6 2.5

[上段:人 下段:%]	パー キン ソン 病	そ の 他	無 回 答
	全体 (n=3,503)	17 0.5	313 8.9
男性 (n=1,498)	5 0.3	123 8.2	74 4.9
男性 65~74歳 (n=694)	2 0.3	59 8.5	27 3.9
男性 75~84歳 (n=631)	3 0.5	56 8.9	29 4.6
男性 85歳以上 (n=173)	0 0.0	8 4.6	18 10.4
女性 (n=1,987)	12 0.6	188 9.5	126 6.3
女性 65~74歳 (n=914)	5 0.5	96 10.5	61 6.7
女性 75~84歳 (n=829)	6 0.7	75 9.0	53 6.4
女性 85歳以上 (n=242)	1 0.4	17 7.0	12 5.0

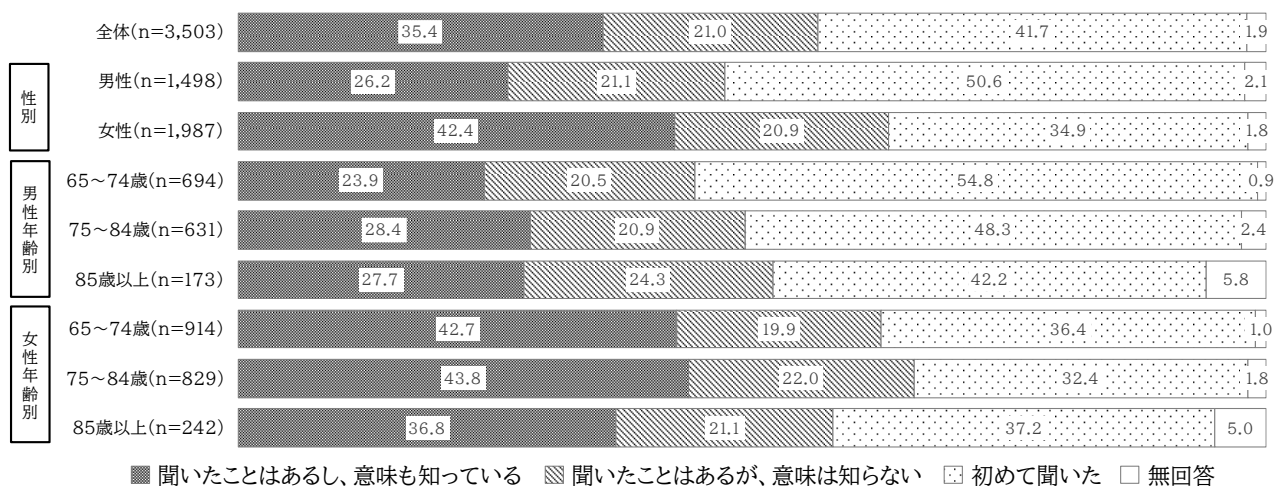
※「全体」降順ソート

- ・ 全体で上位の項目のうち、「高脂血症（脂質異常）」は女性の割合が男性よりも高く、「糖尿病」は男性の割合が女性よりも高い傾向がみられます。「目の病気」に男女の大きな差はみられません。
- ・ また、「高血圧」をはじめ、多くの病気で男女ともに年齢が高くなるにつれて割合が高くなっていますが、年齢による目立った差がみられない病気もあります。

(8) フレイルについて知っていますか

フレイルの認知の有無については、「聞いたことはあるし、意味も知っている」は35.4%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」は21.0%で「初めて聞いた」も41.7%あります。

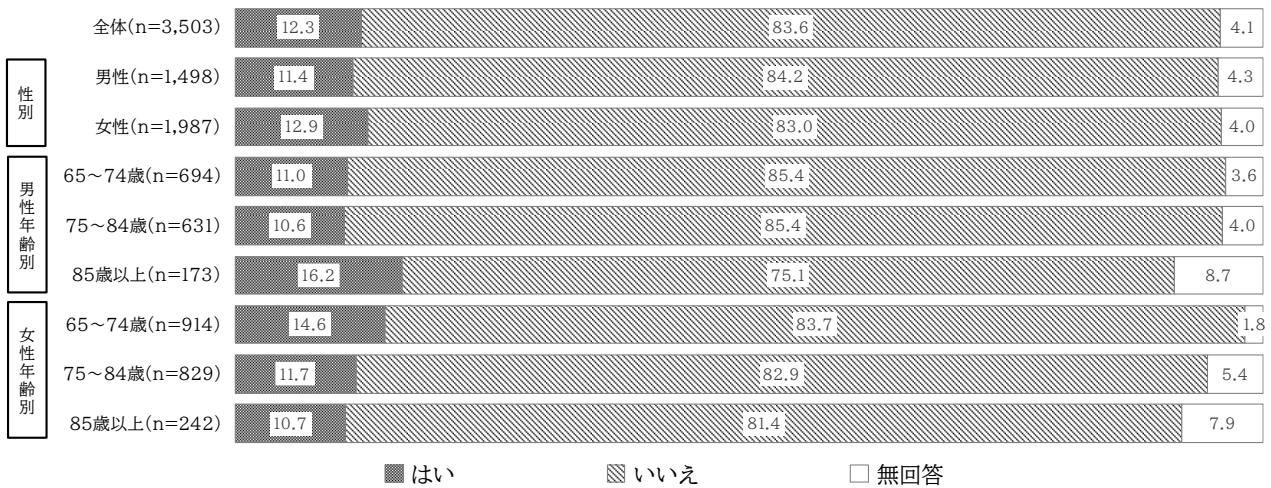
- ・ 女性の方が認知率は高くなっています。
- ・ 男性は年齢が高くなるにつれて認知率は高くなっていますが、女性では85歳以上の認知率が最も低くなっています。



問9 認知症について

(1) あなたに認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか

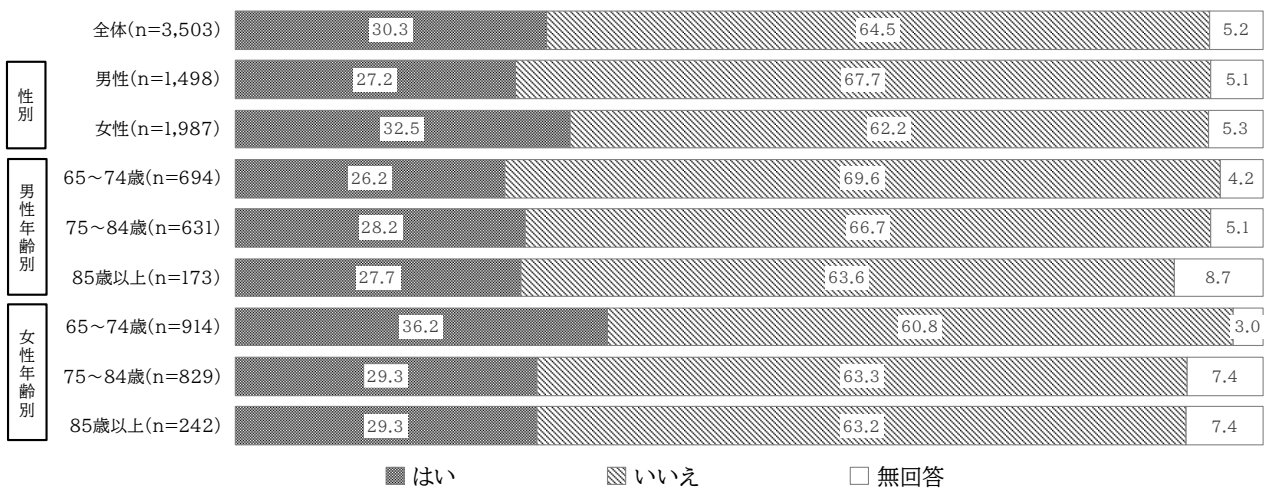
認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人の有無については、「はい」が12.3%、「いいえ」が83.6%となっています。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

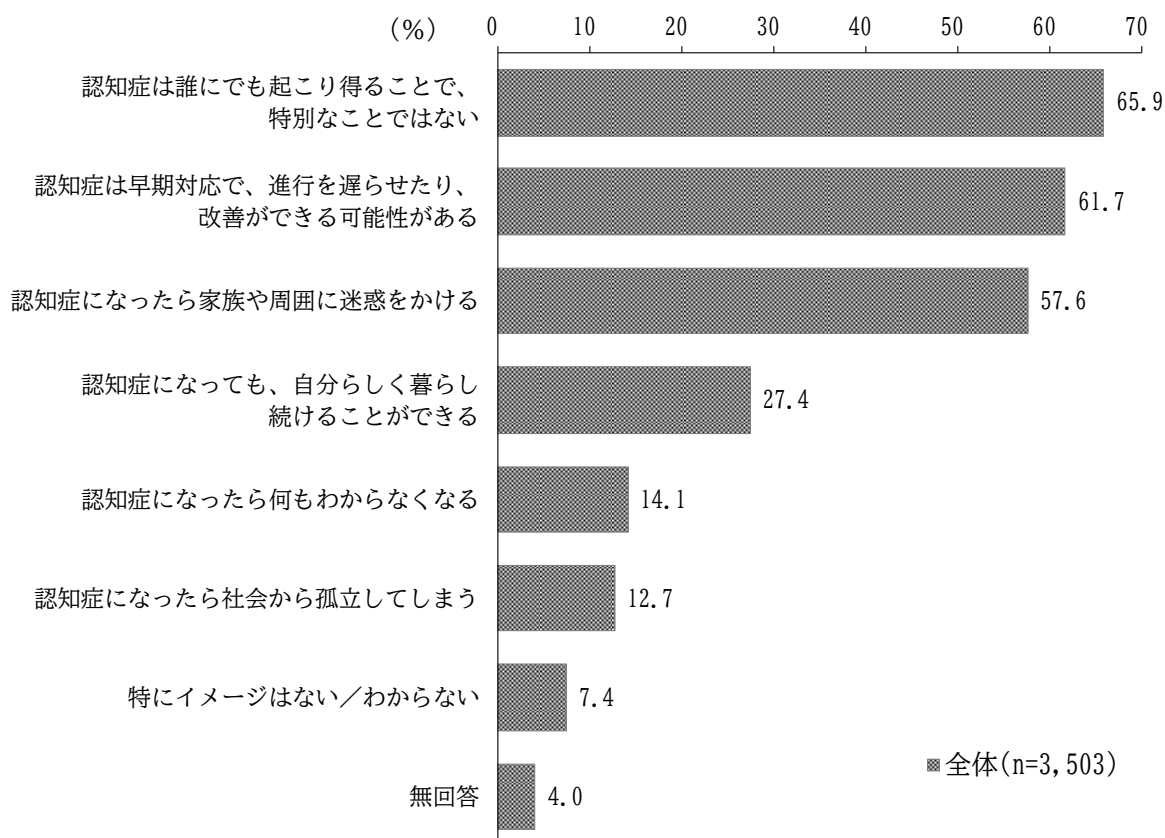
認知症の相談窓口の把握については、「はい」が30.3%、「いいえ」が64.5%となっています。

- 女性の65~74歳で「はい」の割合がほかの層よりも高くなっています。



(3) あなたは、認知症に対してどのようなイメージを持っていますか(いくつでも)

認知症に対してどのようなイメージを持っているかについては、「認知症は誰にでも起こり得ることで、特別なことではない」が65.9%と最も高く、次いで「認知症は早期対応で、進行を遅らせたり、改善ができる可能性がある」が61.7%、「認知症になったら家族や周囲に迷惑をかける」が57.6%の順となっています。

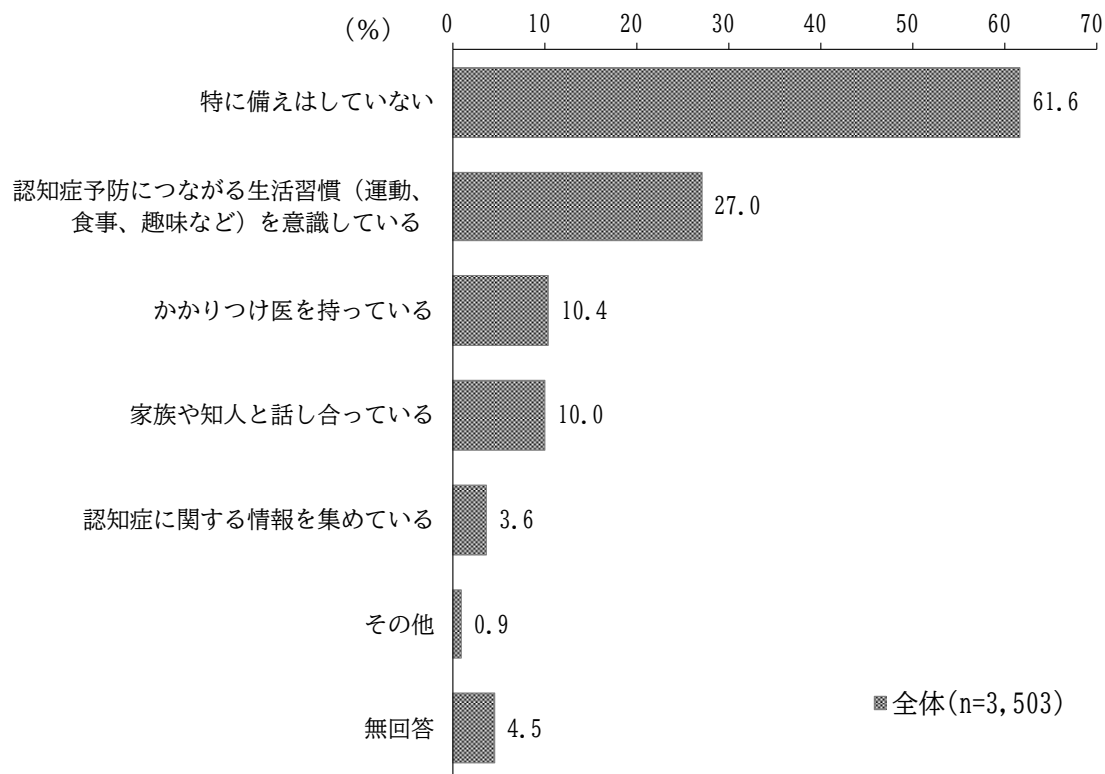


■全体(n=3,503)

※「全体」降順ソート

(4) 認知症になることを考えた備えをしていますか（いくつでも）

認知症になることを考えた備えをしているかについては、「特に備えはしていない」が61.6%と突出して高く、次いで「認知症予防につながる生活習慣（運動、食事、趣味など）を意識している」が27.0%、「かかりつけ医を持っている」が10.4%の順となっています。



※「全体」降順ソート

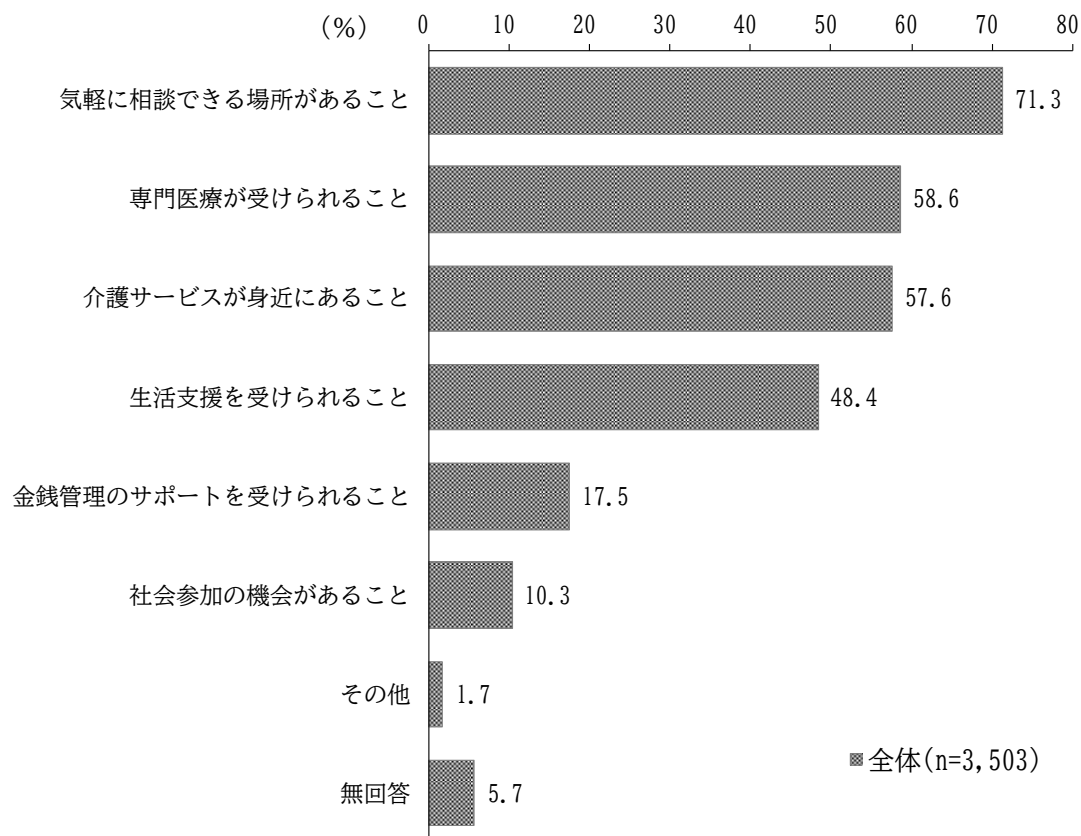
- 「認知症予防につながる生活習慣（運動、食事、趣味など）を意識している」や「かかりつけ医を持っている」、「家族や知人と話し合っている」の割合は、男性よりも女性の方が高くなっています。

[上段:人 下段:%]	特に備えはしていない	認知症予防につながる生活習慣（運動、食事、趣味など）を意識している	かかりつけ医を持っている	家族や知人と話し合っている	認知症に関する情報を集めている	その他	無回答
	全体 (n=3,503)	2,159 61.6	947 27.0	364 10.4	350 10.0	127 3.6	30 0.9
男性 (n=1,498)	1,012 67.6	332 22.2	115 7.7	106 7.1	51 3.4	12 0.8	68 4.5
男性 65~74歳 (n=694)	478 68.9	149 21.5	39 5.6	49 7.1	25 3.6	4 0.6	23 3.3
男性 75~84歳 (n=631)	424 67.2	145 23.0	59 9.4	46 7.3	18 2.9	7 1.1	31 4.9
男性 85歳以上 (n=173)	110 63.6	38 22.0	17 9.8	11 6.4	8 4.6	1 0.6	14 8.1
女性 (n=1,987)	1,135 57.1	612 30.8	246 12.4	241 12.1	75 3.8	18 0.9	89 4.5
女性 65~74歳 (n=914)	526 57.5	297 32.5	77 8.4	117 12.8	46 5.0	8 0.9	23 2.5
女性 75~84歳 (n=829)	468 56.5	254 30.6	128 15.4	106 12.8	21 2.5	8 1.0	46 5.5
女性 85歳以上 (n=242)	139 57.4	61 25.2	41 16.9	18 7.4	8 3.3	2 0.8	20 8.3

※「全体」降順ソート

(5) もし認知症になった場合、どのような支援があると安心ですか (いくつでも)

もし認知症になった場合、どのような支援があると安心かについては、「気軽に相談できる場所があること」が71.3%と最も高く、次いで「専門医療が受けられること」が58.6%、「介護サービスが身近にあること」が57.6%の順となっています。



※「全体」降順ソート

- ・ 「気軽に相談できる場所があること」をはじめ、「その他」「無回答」を除く全ての項目で、女性の方が男性よりも高くなっています。

[上段:人 下段:%]	気軽に相談できる場所があること	専門医療が受けられること	介護サービスが身近にあること	生活支援を受けられること	金銭管理のサポートを受けられること	社会参加の機会があること	その他	無回答
	全体 (n=3,503)	2,496 71.3	2,053 58.6	2,018 57.6	1,694 48.4	613 17.5	361 10.3	60 1.7
男性 (n=1,498)	996 66.5	821 54.8	781 52.1	677 45.2	253 16.9	105 7.0	34 2.3	89 5.9
男性 65~74歳 (n=694)	467 67.3	376 54.2	367 52.9	328 47.3	130 18.7	51 7.3	18 2.6	30 4.3
男性 75~84歳 (n=631)	413 65.5	346 54.8	326 51.7	284 45.0	101 16.0	44 7.0	13 2.1	44 7.0
男性 85歳以上 (n=173)	116 67.1	99 57.2	88 50.9	65 37.6	22 12.7	10 5.8	3 1.7	15 8.7
女性 (n=1,987)	1,489 74.9	1,217 61.2	1,228 61.8	1,009 50.8	356 17.9	255 12.8	26 1.3	111 5.6
女性 65~74歳 (n=914)	716 78.3	596 65.2	605 66.2	520 56.9	197 21.6	135 14.8	8 0.9	30 3.3
女性 75~84歳 (n=829)	603 72.7	487 58.7	494 59.6	395 47.6	130 15.7	94 11.3	11 1.3	61 7.4
女性 85歳以上 (n=242)	168 69.4	134 55.4	127 52.5	92 38.0	28 11.6	26 10.7	7 2.9	20 8.3

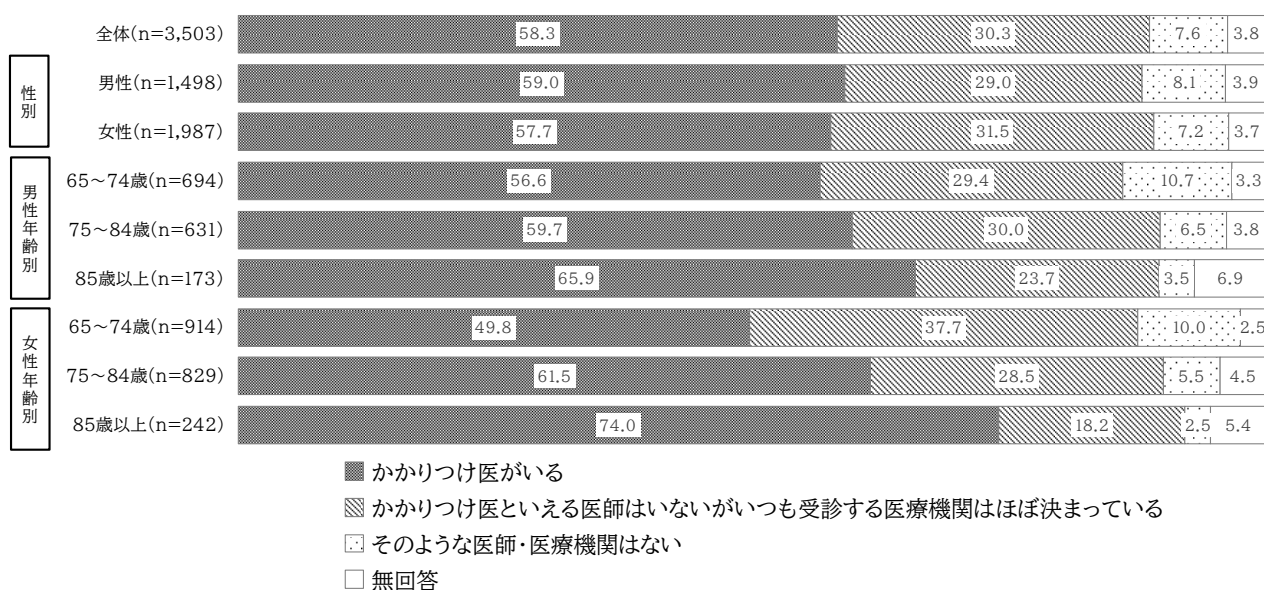
※「全体」降順ソート

問 10 医療や介護が必要になったときの過ごし方について

(1) あなたは、健康状態や病気のことで気軽に相談でき、決まった診療を受ける「かかりつけ医」がいますか

かかりつけ医の有無については、「かかりつけ医がいる」が 58.3%と最も高く、次いで「かかりつけ医といえる医師はいないがいつも受診する医療機関はほぼ決まっている」の 30.3%、「そのような医師・医療機関はない」の 7.6%の順となっています。

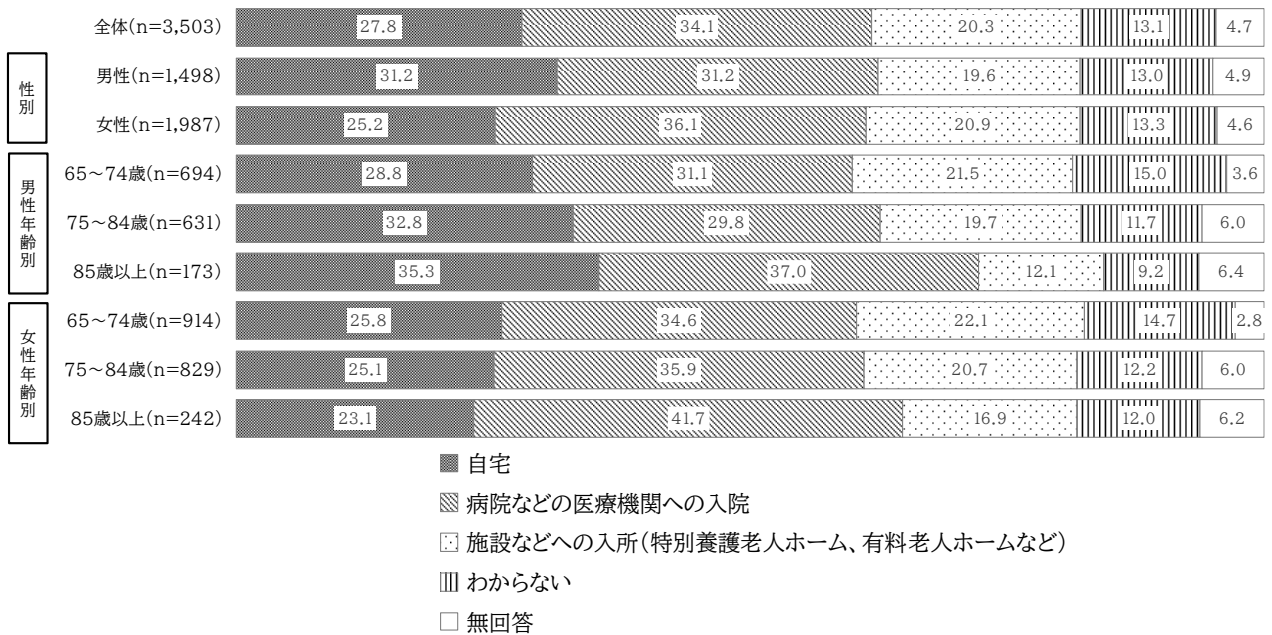
- ・ 性別にみると、男女ともに同じ傾向にあり、特に大きな違いはみられません。
- ・ 年齢別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて「かかりつけ医がいる」の割合が高くなる傾向にあります。特に女性でその傾向が男性よりも顕著にみられます。



(2) あなた自身の身体が虚弱になって、医療や介護が必要になったとき、主にどこで医療や介護を受けたいですか

医療や介護が必要になったとき、主にどこで医療や介護を受けたいかについては、「自宅」は27.8%、「病院等の医療機関への入院」は34.1%、「施設等への入所（特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等）」は20.3%となっています。

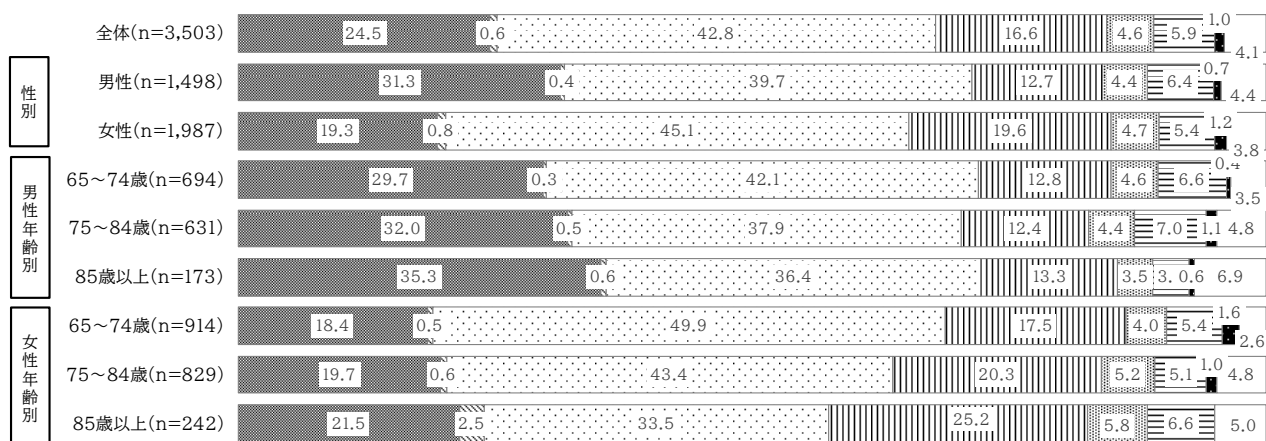
- ・ 「自宅」は男性の方が高く、男性は年齢が高くなるにつれて割合が高くなっていますが、女性は逆に低くなっています。



(3) あなたは、治る見込みがなく死期が迫っている（6か月あるいはそれより短い期間を想定）と告げられたとき、どこで過ごしたいと思いますか

終末期にどこで過ごしたいかについては、「自宅等で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が42.8%と最も高く、次いで「最期まで自宅で過ごしたい」の24.5%、「医療機関に入院したい」の16.6%の順となっています。

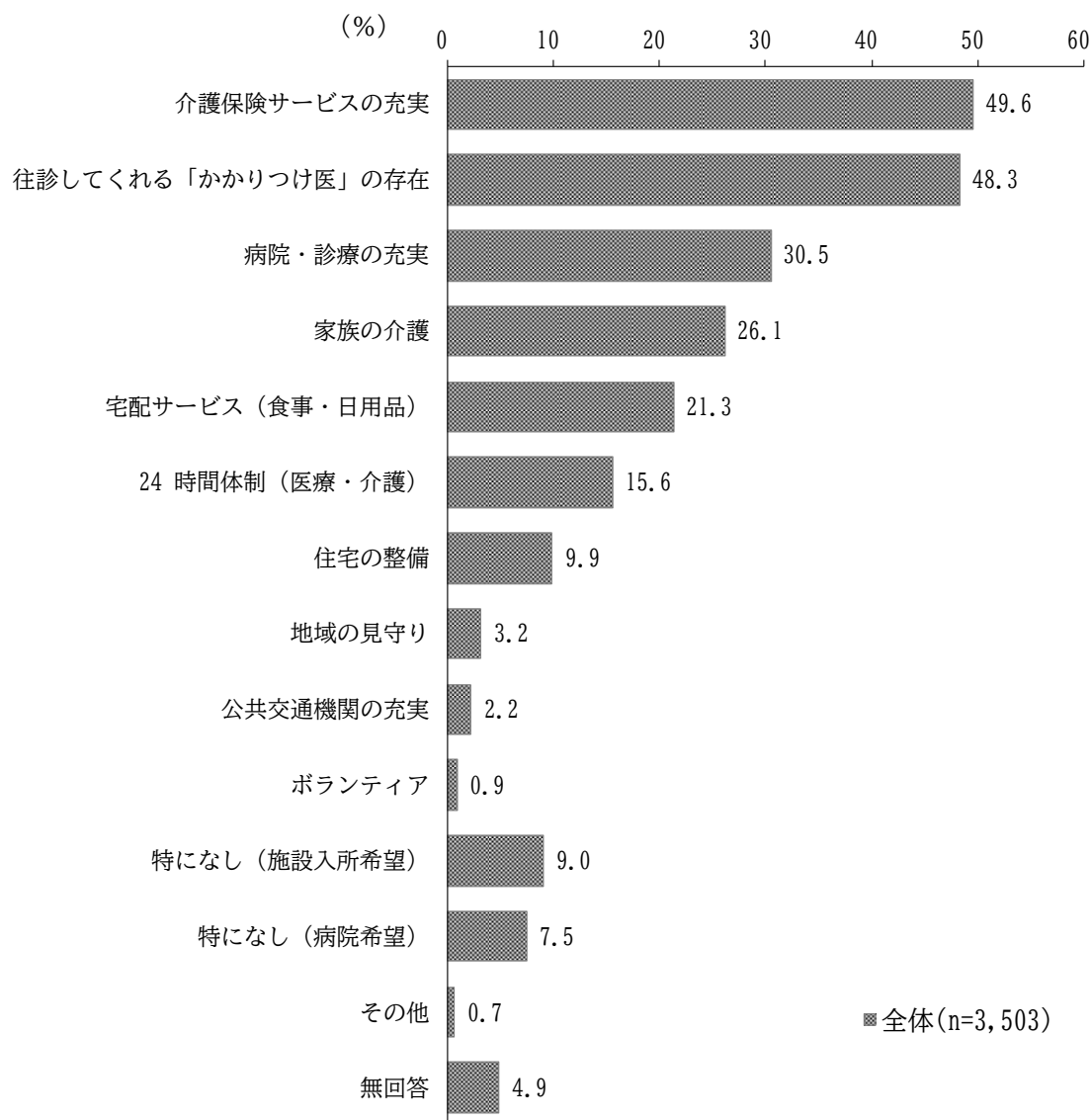
- ・ 男性は「最期まで自宅で過ごしたい」の割合が女性よりも高く、男女ともに年齢が高くなるにつれて「最期まで自宅で過ごしたい」の割合が高くなる傾向にあります。



- 最期まで自宅で過ごしたい
- 自宅などで療養して、必要になれば医療機関に入院したい
- ▨ 老人ホームなどの施設に入所したい
- その他
- ▨ 最期まで子どもや親戚の家で過ごしたい
- ▨ 医療機関に入院したい
- ▨ わからない
- 無回答

(4) あなたは、病気などで医療や介護が必要になったとき、住み慣れた自宅で生活するために何が重要だと思いますか（いくつでも）

病気等で医療や介護が必要になったとき、住み慣れた自宅で生活するために必要なことについては、「介護保険サービスの充実」が49.6%と最も高く、次いで「往診してくれる「かかりつけ医」の存在」の48.3%、「病院・診療の充実」の30.5%、「家族の介護」の26.1%の順となっています。



※「全体」降順ソート

- ・ 男性の75～84歳と85歳以上、女性の85歳以上では「往診してくれる「かかりつけ医」の存在」の割合が最も高くなっています。

上段：人 下段：%	介護保険サービスの充実	往診してくれる「かかりつけ医」の存在	病院・診療の充実	家族の介護	宅配サービス（食事・日用品）	24時間体制（医療・介護）	住宅の整備	地域の見守り	公共交通機関の充実	ボランティア	特になし（施設入所希望）	特になし（病院希望）	その他	無回答
	全体 (n=3,503)	1,737 49.6	1,692 48.3	1,068 30.5	916 26.1	747 21.3	546 15.6	346 9.9	111 3.2	78 2.2	31 0.9	316 9.0	261 7.5	24 0.7
男性 (n=1,498)	724 48.3	706 47.1	491 32.8	499 33.3	264 17.6	209 14.0	131 8.7	34 2.3	35 2.3	8 0.5	121 8.1	95 6.3	15 1.0	76 5.1
男性 65～74歳 (n=694)	349 50.3	309 44.5	245 35.3	209 30.1	114 16.4	121 17.4	78 11.2	16 2.3	19 2.7	5 0.7	60 8.6	46 6.6	7 1.0	27 3.9
男性 75～84歳 (n=631)	306 48.5	310 49.1	185 29.3	238 37.7	126 20.0	65 10.3	47 7.4	14 2.2	12 1.9	1 0.2	48 7.6	37 5.9	6 1.0	36 5.7
男性 85歳以上 (n=173)	69 39.9	87 50.3	61 35.3	52 30.1	24 13.9	23 13.3	6 3.5	4 2.3	4 2.3	2 1.2	13 7.5	12 6.9	2 1.2	13 7.5
女性 (n=1,987)	1,006 50.6	978 49.2	568 28.6	411 20.7	481 24.2	335 16.9	215 10.8	77 3.9	43 2.2	23 1.2	193 9.7	165 8.3	9 0.5	94 4.7
女性 65～74歳 (n=914)	521 57.0	468 51.2	285 31.2	196 21.4	222 24.3	185 20.2	126 13.8	33 3.6	25 2.7	7 0.8	84 9.2	63 6.9	6 0.7	27 3.0
女性 75～84歳 (n=829)	401 48.4	399 48.1	226 27.3	166 20.0	220 26.5	114 13.8	69 8.3	39 4.7	16 1.9	15 1.8	76 9.2	68 8.2	3 0.4	50 6.0
女性 85歳以上 (n=242)	83 34.3	110 45.5	57 23.6	49 20.2	38 15.7	36 14.9	20 8.3	5 2.1	2 0.8	1 0.4	32 13.2	34 14.0	0 0.0	17 7.0

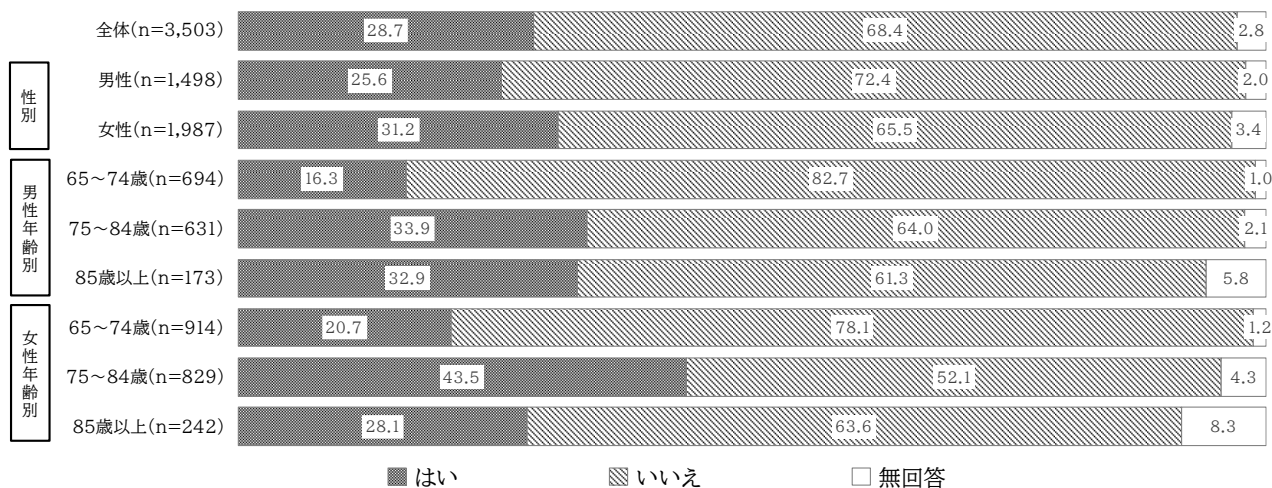
※「全体」降順ソート

問 11 長寿応援バス（旧：ワンコインバス）について

（１） 長寿応援バスを利用していますか

長寿応援バスを利用しているかについては、全体では「はい」が28.7%、「いいえ」が68.4%となっています。

- ・ 利用率は女性の方が高く、特に75～84歳の女性では4割を超えています。

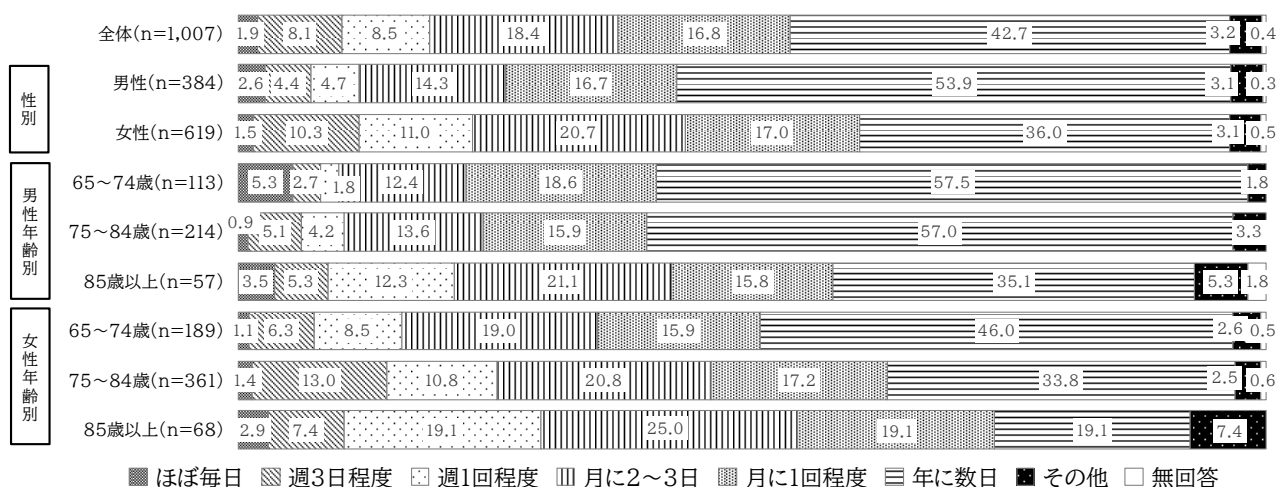


（１）① バスをどのくらい利用していますか

長寿応援バスを利用している方

長寿応援バスの利用者の利用頻度は、「年に数日」が42.7%と最も高く、次いで「月に2～3日」の18.4%、「月に1回程度」の16.8%の順となっています。

- ・ 性別にみると、週1回以上（「ほぼ毎日」「週3日程度」「週1日程度」の合計）の割合が男性は11.7%、女性は22.8%となっており、女性の方が高くなっています。
- ・ 年齢別にみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて週1回以上（「ほぼ毎日」「週3日程度」「週1日程度」の合計）の割合が高くなる傾向にあります。

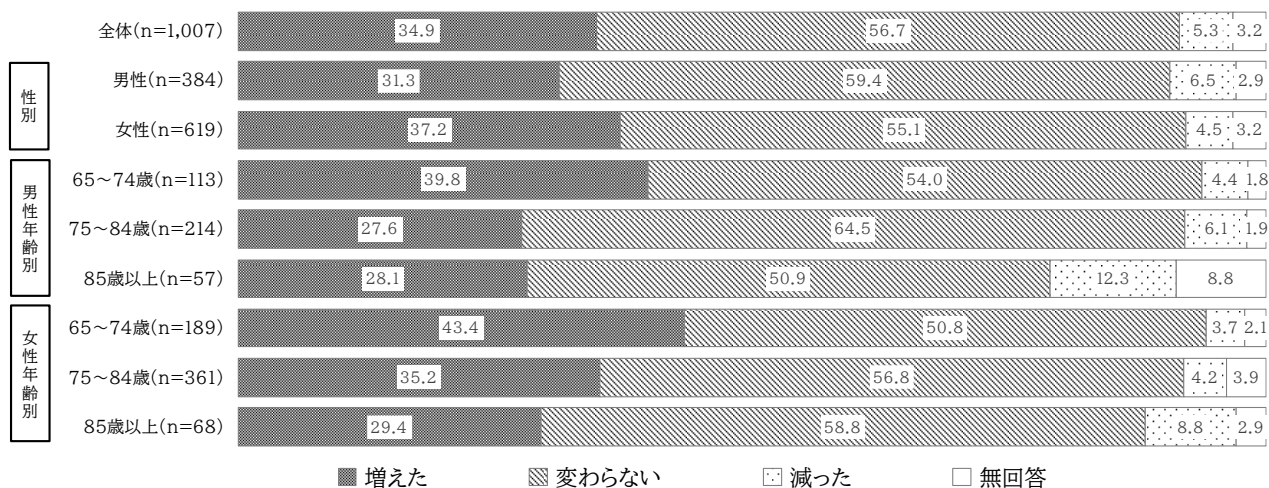


(1) ② 長寿応援バス乗車証を取得後、バスに乗車する回数は増えましたか

長寿応援バスを利用している方

乗車証を取得後、バスに乗車する回数が「増えた」という回答は、全体で 34.9%となっています。

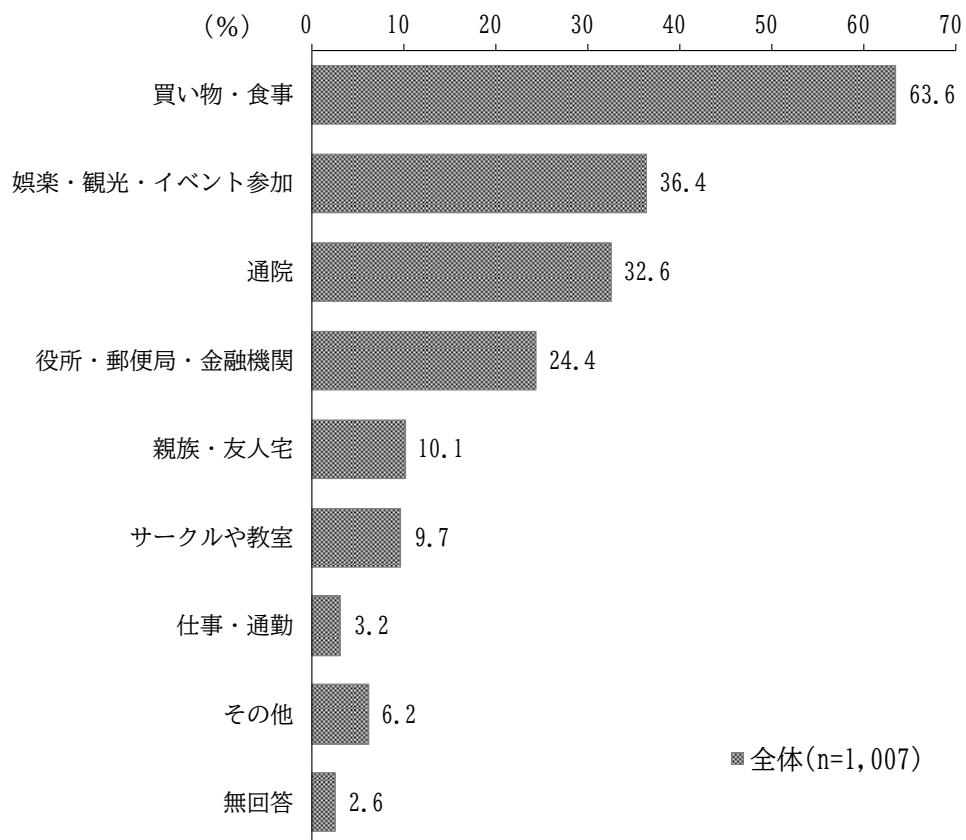
- 「増えた」の割合は、65～74 歳の層で男女とも 4 割程度と高くなっています。



(1) ③ バスを利用している目的は何ですか (いくつでも)

長寿応援バスを利用している方

バスを利用している目的については、「買い物・食事」が63.6%と突出して高く、次いで「娯楽・観光・イベント参加」の36.4%、「通院」の32.6%の順となっています。



■ 全体(n=1,007)

※「全体」降順ソート

- 性別にみると、男女ともに「買い物・食事」の割合が最も高くなっており、いずれの年代でも女性が男性よりも高くなっています。また、女性は「通院」「役所・郵便局・金融機関」「親族・友人宅」の割合が男性よりも高く、男性は「娯楽・観光・イベント参加」の割合が女性よりも高くなっています。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 上段:人 下段:% </div>	買い物・食事	娯楽・観光・イベント参加	通院	役所・郵便局・金融機関	親族・友人宅	サークルや教室	仕事・通勤	その他	無回答
	全体 (n=1,007)	640 63.6	367 36.4	328 32.6	246 24.4	102 10.1	98 9.7	32 3.2	62 6.2
男性 (n=384)	205 53.4	166 43.2	82 21.4	68 17.7	23 6.0	19 4.9	13 3.4	32 8.3	12 3.1
男性 65~74歳 (n=113)	61 54.0	56 49.6	15 13.3	16 14.2	7 6.2	3 2.7	5 4.4	6 5.3	2 1.8
男性 75~84歳 (n=214)	115 53.7	93 43.5	44 20.6	29 13.6	14 6.5	11 5.1	8 3.7	22 10.3	6 2.8
男性 85歳以上 (n=57)	29 50.9	17 29.8	23 40.4	23 40.4	2 3.5	5 8.8	0 0.0	4 7.0	4 7.0
女性 (n=619)	432 69.8	200 32.3	245 39.6	177 28.6	77 12.4	79 12.8	18 2.9	30 4.8	13 2.1
女性 65~74歳 (n=189)	122 64.6	65 34.4	55 29.1	42 22.2	27 14.3	18 9.5	8 4.2	10 5.3	7 3.7
女性 75~84歳 (n=361)	265 73.4	120 33.2	149 41.3	115 31.9	41 11.4	51 14.1	10 2.8	14 3.9	5 1.4
女性 85歳以上 (n=68)	44 64.7	14 20.6	41 60.3	20 29.4	9 13.2	10 14.7	0 0.0	6 8.8	1 1.5

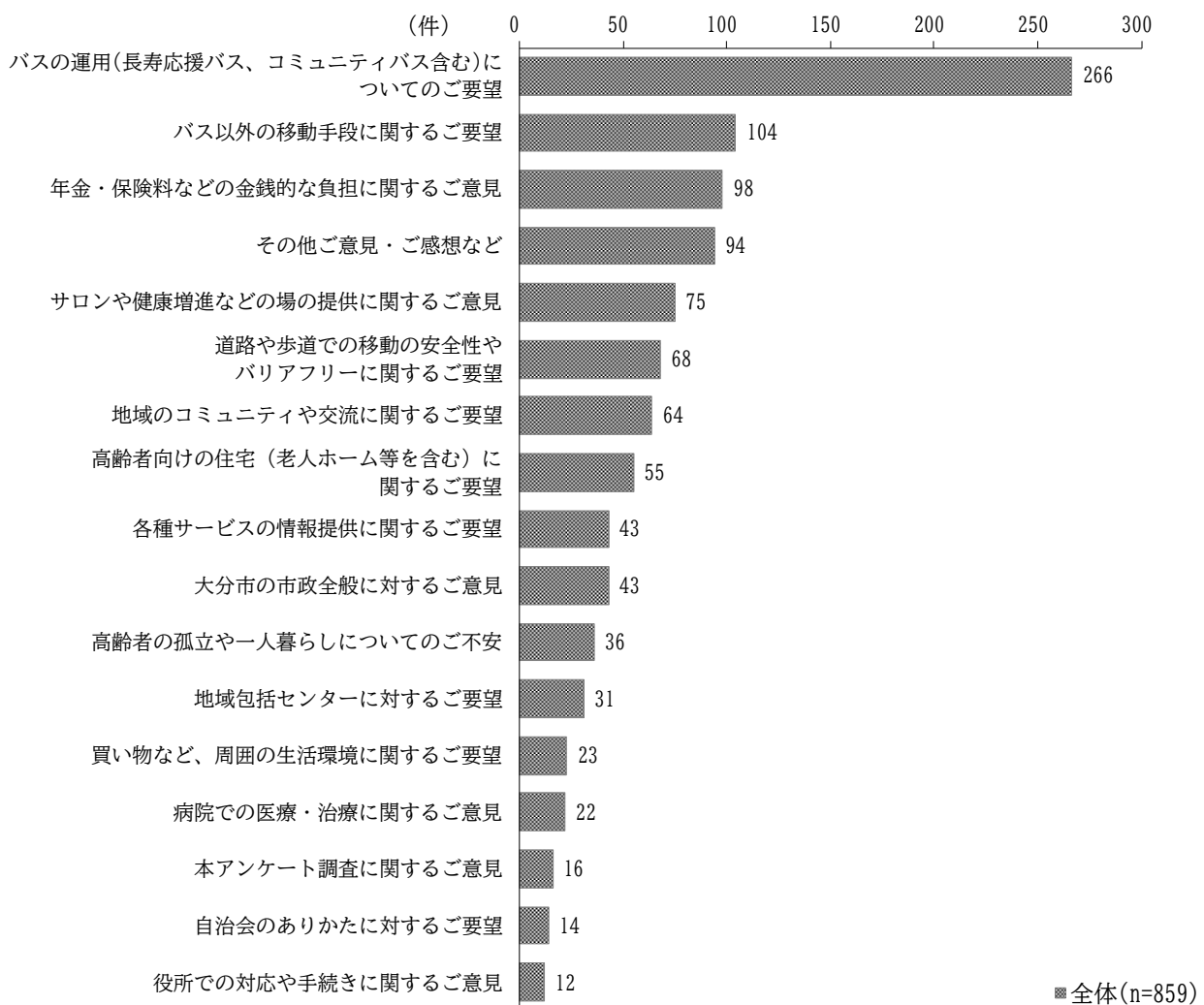
※「全体」降順ソート

問 12 ご意見・ご提案について

暮らしやすいまちづくりのために、ご意見・ご提案がありましたらお書きください。(自由回答)

暮らしやすいまちづくりについてのご意見やご提案をお伺いしたところ、859件(「特になし」を除く)のご意見をいただきました。

ご意見・ご提案の内訳としては、「バスの運用」に関するご要望が266件と最も多く、次いでタクシーや自家用車等「バス以外の移動手段」に関するご要望が104件、年金、介護保険、生活費などの「金銭的な負担」に関するご意見が98件の順となっています。



※いただいた自由意見の内容に基づきカテゴリー分類し、降順ソート

※1つの意見に複数カテゴリーの意見が含まれることがあるため、全体 n 数は各カテゴリーの合計と合致しない

Ⅲ 生活機能低下リスク等の評価



Ⅲ 生活機能低下リスク等の評価

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、生活機能の低下リスクを判定するための設問を設けており、その評価結果は、以下のとおりです。

指標 E1 運動器機能低下のリスク

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」	左記設問・選択肢で3問以上が該当
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」	
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	「3. できない」	
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」または「2. 1度ある」	
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」または「2. やや不安である」	

- 運動器機能低下のリスクがあると判定されたのは15.0%で、居住地区では「植田東」(22.5%)などが高くなっています。

図 運動器機能リスク(男女別)

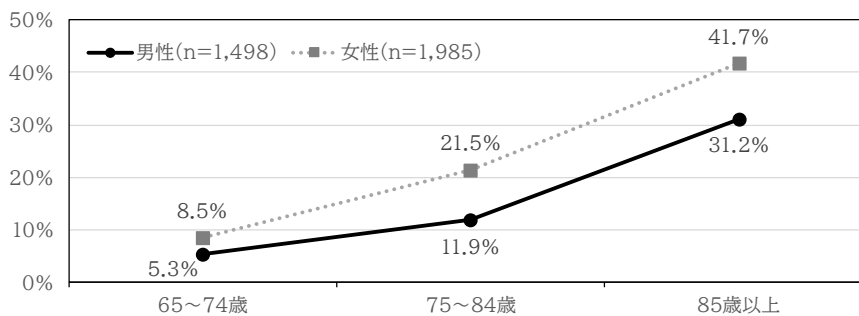
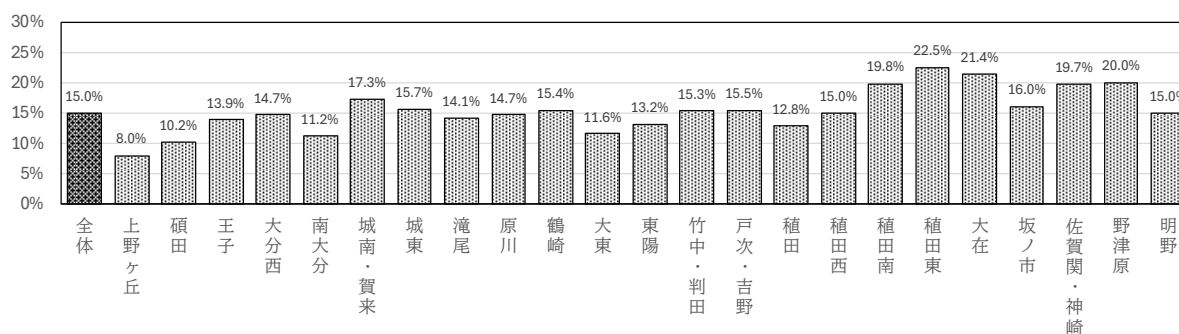


図 運動器機能リスク(地域別)



指標 E2 栄養改善リスク

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問3(1)	身長・体重	身長・体重よりBMIを算出 (BMI=体重(kg)/身長(m)/ 身長(m))	BMI18.5未満が 該当

- ・ 栄養改善リスク（BMI18.5未満）の該当者は6.9%で、居住地区では「植田南」（10.8%）などが高くなっています。

図 栄養改善リスク(男女別)

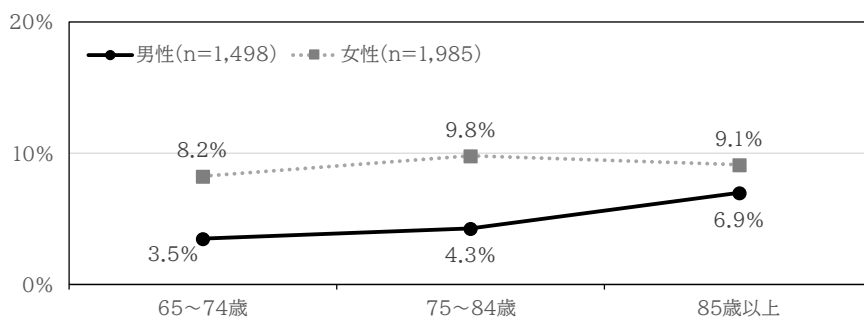
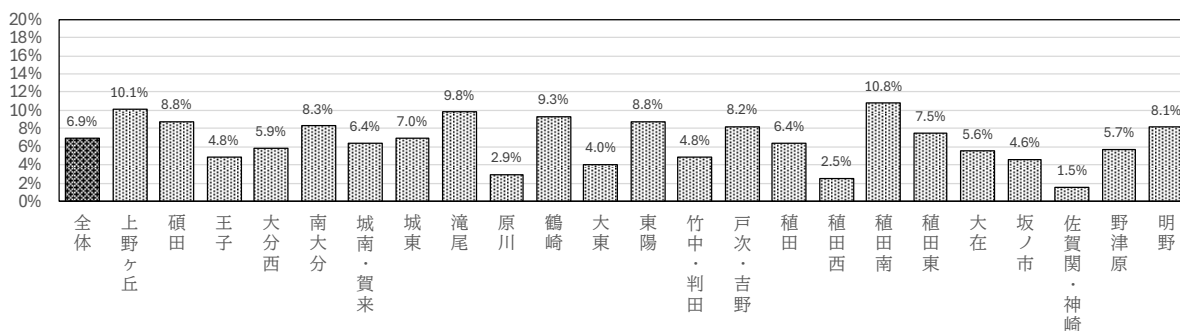


図 栄養改善リスク(地域別)



指標 E2-1 低栄養リスク

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問3(2)	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか	「1. はい」	問3(2) = 1かつ BMI18.5 未満が 該当
問3(1)	身長・体重	(BMI を算出)	

- 低栄養リスクの該当者は1.3%で、居住地区では「戸次・吉野」(3.1%)などが高くなっています。

図 低栄養リスク(男女別)

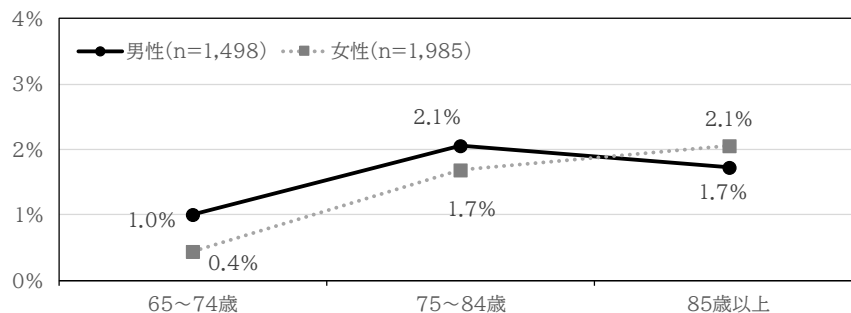
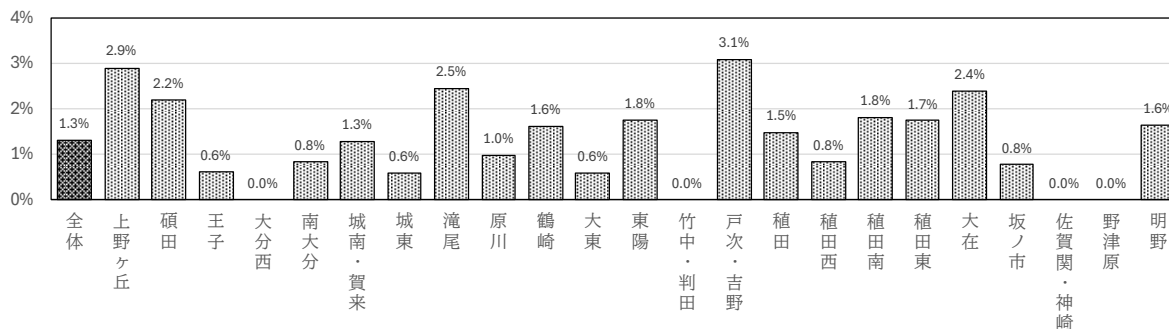


図 低栄養リスク(地域別)



指標 E3 咀嚼機能リスク

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問3(3)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」	左記設問・選択肢に該当

- 咀嚼機能リスクの該当者は 25.0%で、居住地区では「野津原」(34.3%)などが高くなっています。

図 咀嚼機能リスク(男女別)

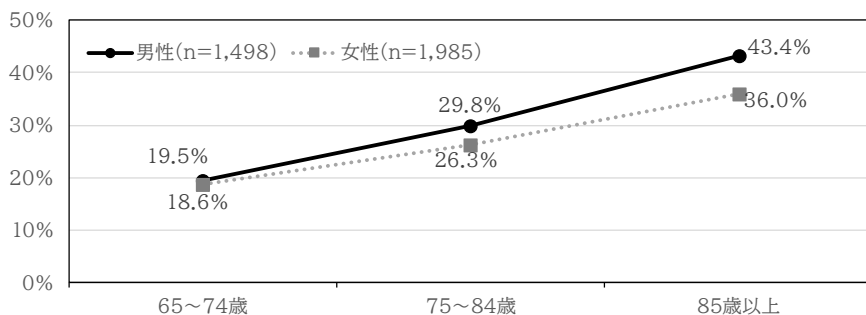
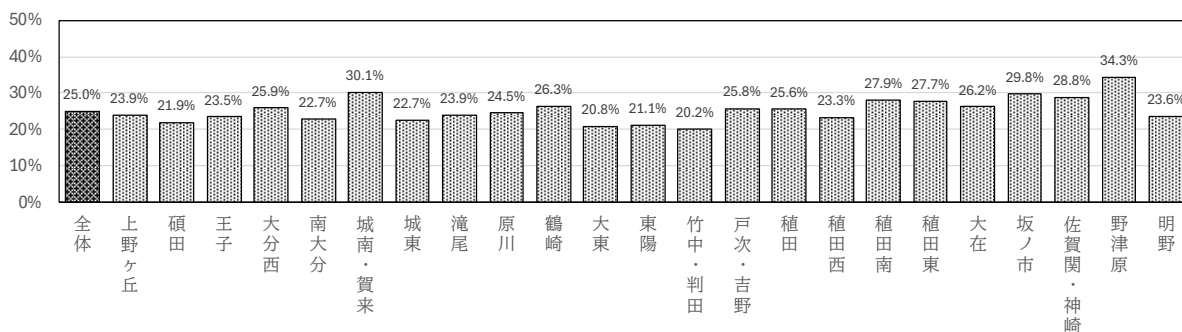


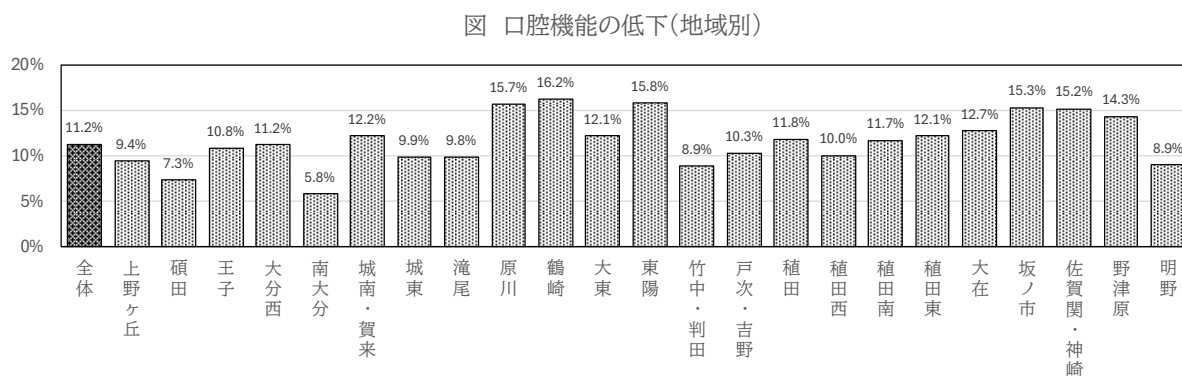
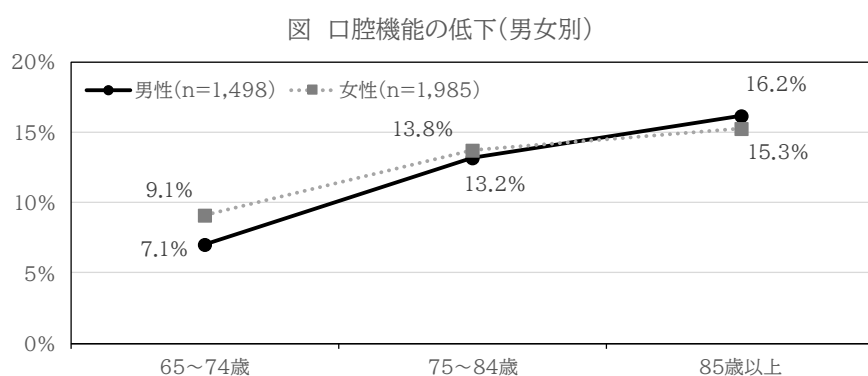
図 咀嚼機能リスク(地域別)



指標 E3-1 口腔機能の低下

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問3(3)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」	左記設問・選択肢を2つ以上選択で該当
問3(4)	食べることや口の中で気になることはありますか(いくつでも)	「1. お茶や汁物などでむせることがある」「2. 口の渇きが気になる」	

- ・ 口腔機能の低下のリスクの該当者は11.2%で、居住地区では「鶴崎」(16.2%)などが高くなっています。



指標 E4 閉じこもりリスク

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	「1.ほとんど外出しない」	左記設問・選択肢に該当

- 閉じこもりリスクの該当者は15.1%で、居住地区では「野津原」(20.0%)などが高くなっています。

図 閉じこもりリスク(男女別)

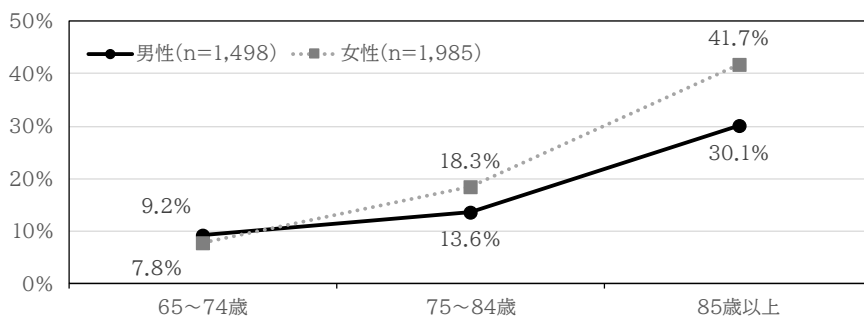
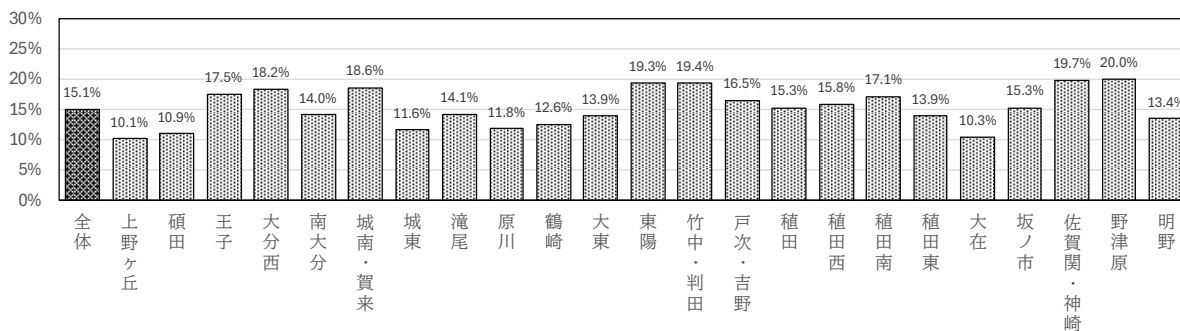


図 閉じこもりリスク(地域別)



指標 E5 認知症リスク

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」	左記設問・選択肢に該当

- ・ 認知症リスクの該当者は 35.7%で、居住地区では「植田南」(44.1%)などが高くなっています。

図 認知症リスク(男女別)

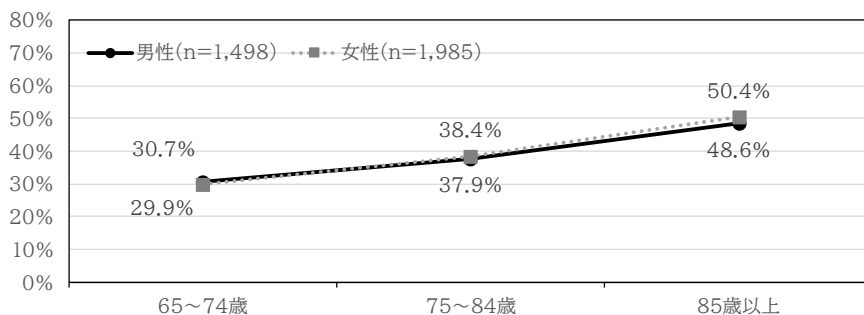
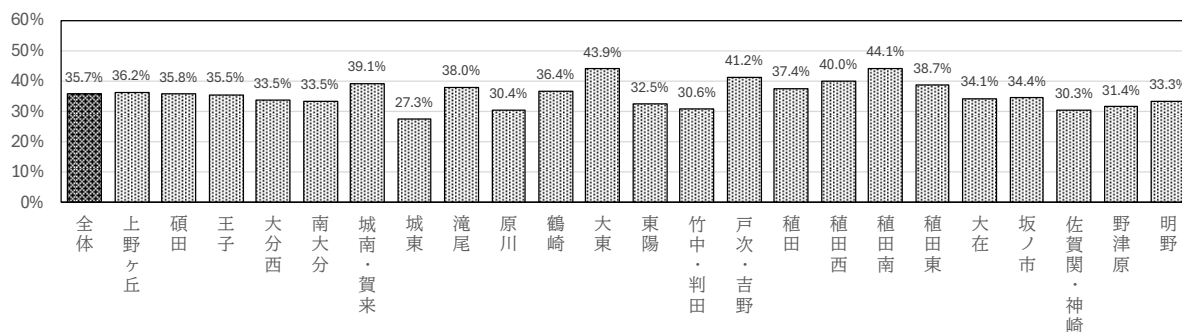


図 認知症リスク(地域別)



指標 E6 うつのリスク

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問8(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」	左記設問・選択肢のいずれか1つ以上に該当
問8(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」	

- ・ うつのリスクの該当者は 37.2% で、居住地区では「大在」(43.7%) などが高くなっています。

図 うつリスク(男女別)

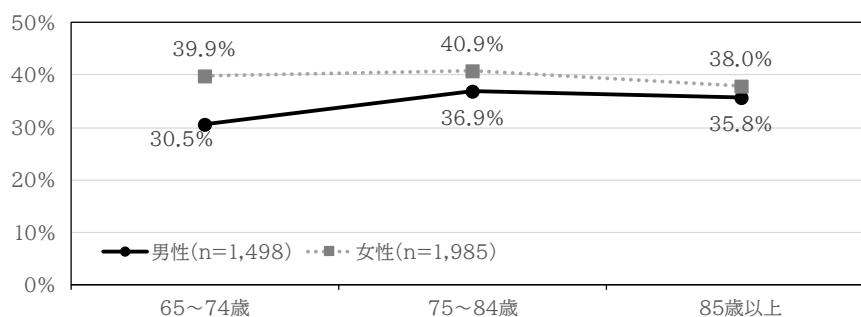
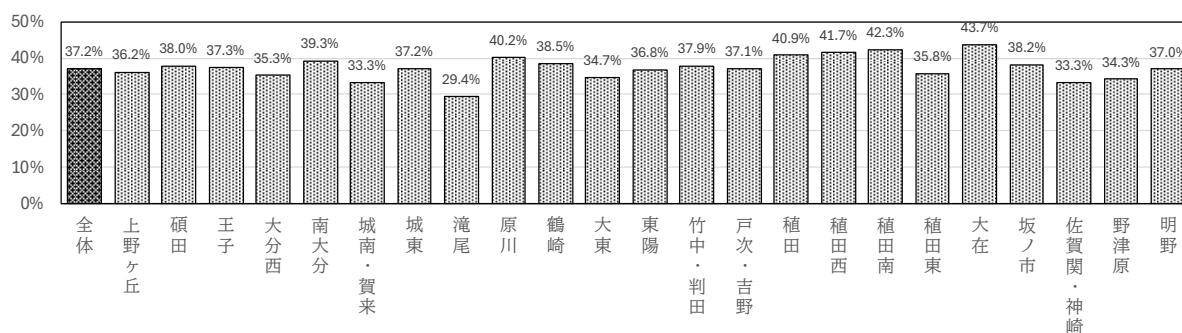


図 うつリスク(地域別)



指標 E7 手段的自立度 (IADL)

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問4(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」	左記設問・選択肢を選択した場合を1点とし、計3点以下で該当
問4(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」	
問4(4)	自分で食事の用意をしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」	
問4(5)	自分で請求書の支払いをしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」	
問4(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」	

- 手段的自立度 (IADL) が低いと判定される方は 5.3% で、居住地区では「坂ノ市」(9.2%) などが高くなっています。

図 手段的自立度(IADL)が低い(男女別)

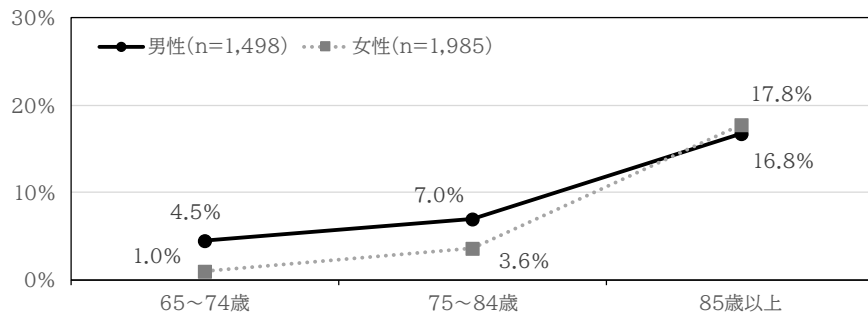
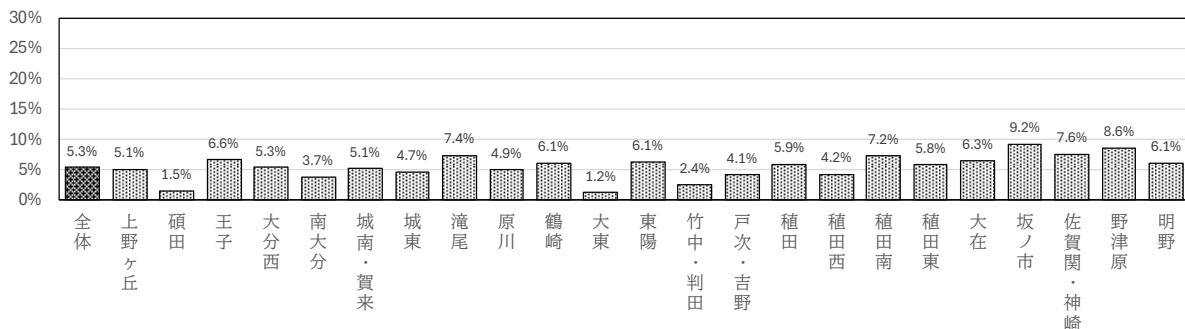


図 手段的自立度(IADL)が低い(地域別)



指標 E8 ボランティアグループの参加率

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問5(1)①	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ① ボランティアのグループ	「6. 参加していない」以外	左記設問・選択肢に該当

- ・ ボランティアグループの参加率は11.6%で、居住地区では「野津原」(22.9%)などが高くなっています。

図 ボランティアに参加している高齢者(男女別)

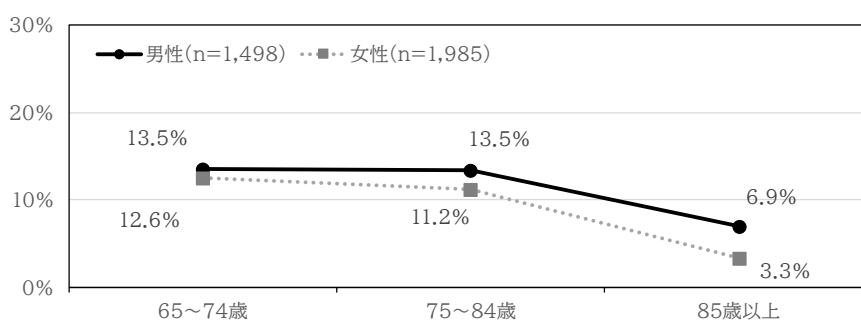
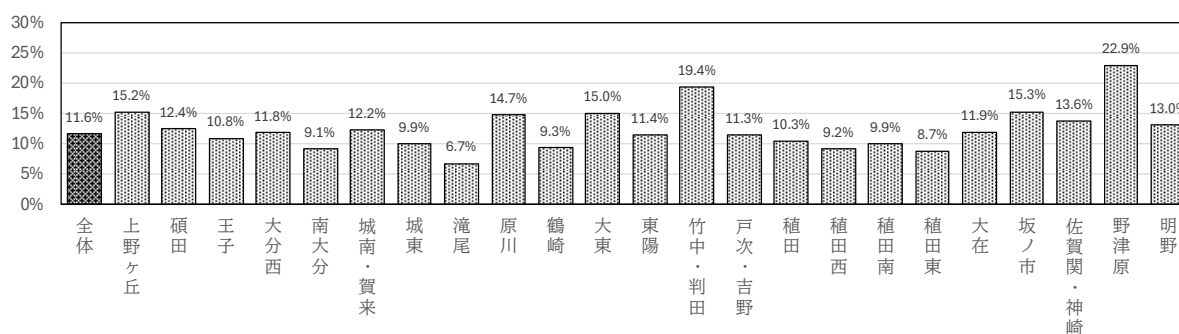


図 ボランティアに参加している高齢者(地域別)



指標 E9 スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問5(1)②	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ② スポーツ関係のグループやクラブ	「6. 参加していない」以外	左記設問・選択肢に該当

- ・ スポーツ関係のグループやクラブの参加率は21.8%で、居住地区では「碩田」(29.2%)などが高くなっています。

図 スポーツ関連のグループやクラブに参加している高齢者(男女別)

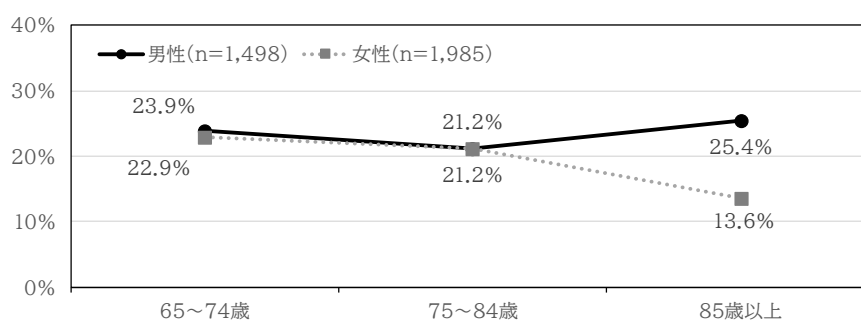
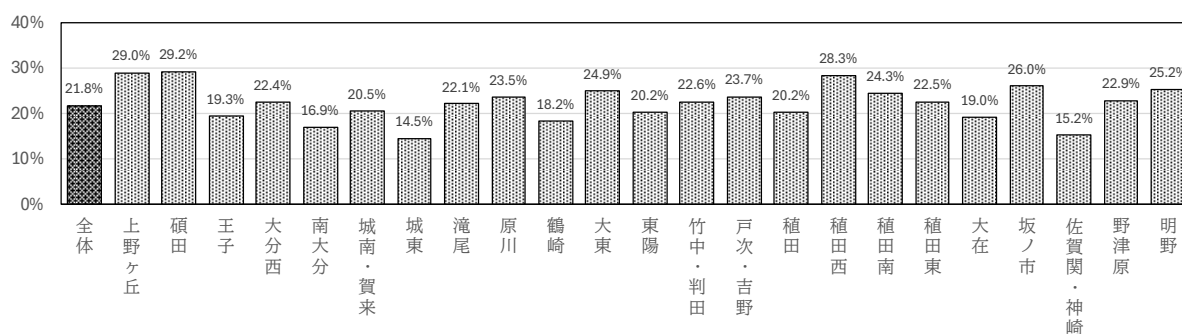


図 スポーツ関連のグループやクラブに参加している高齢者(地域別)



指標 E10 趣味関係のグループに参加している高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問5(1)③	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ③ 趣味関係のグループ	「6. 参加していない」以外	左記設問・選択肢に該当

- 趣味関係のグループの参加率は22.5%で、居住地区では「上野ヶ丘」(31.2%)などが高くなっています。

図 趣味関係のグループに参加している高齢者(男女別)

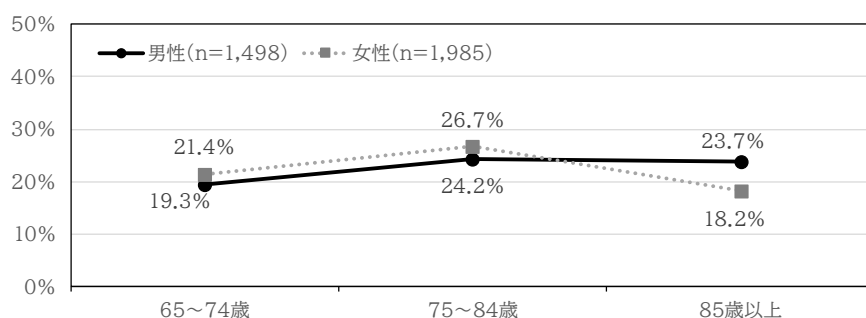
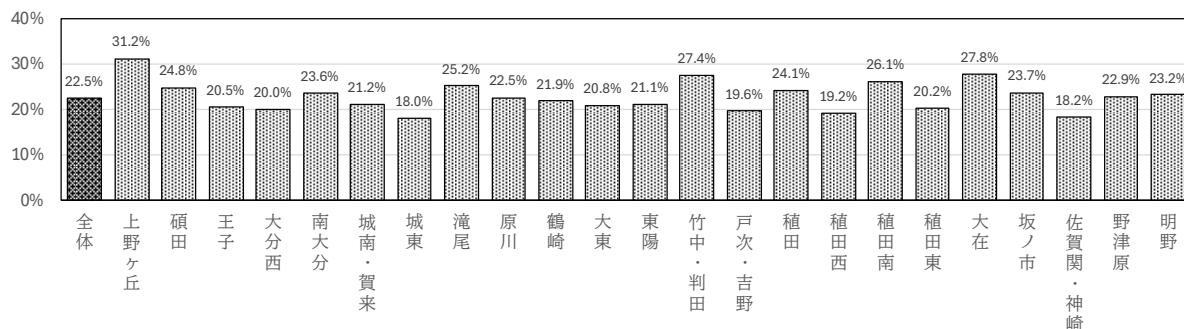


図 趣味関係のグループに参加している高齢者(地域別)



指標 E11 学習・教養サークルに参加している高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問5(1)④	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ④ 学習・教養サークル	「6. 参加していない」以外	左記設問・選択肢に該当

- ・ 学習・教養サークルの参加率は6.5%で、居住地区では「上野ヶ丘」(10.9%)などが高くなっています。

図 学習・教養サークルに参加している高齢者(男女別)

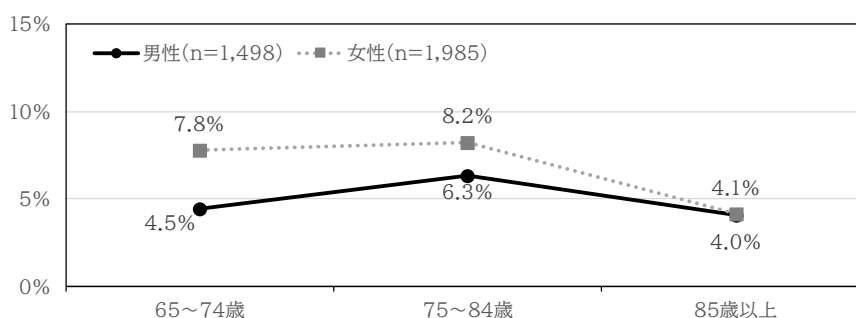
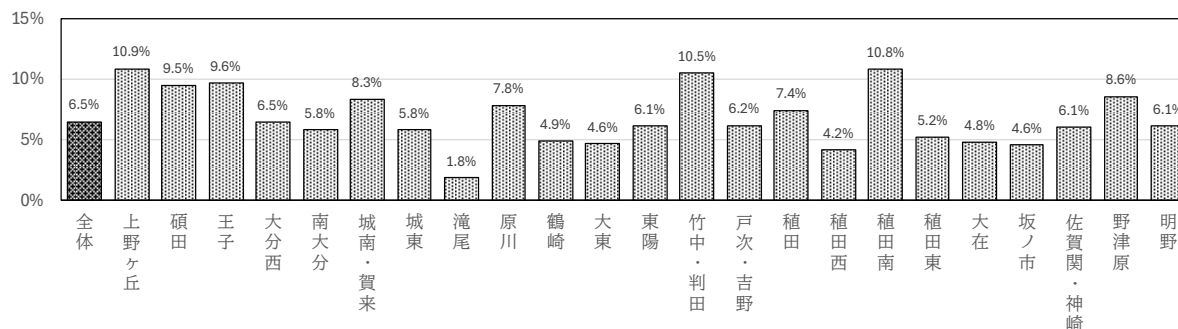


図 学習・教養サークルに参加している高齢者(地域別)



指標 E12 地域活動への参加希望割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問5(2)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか	「3. 参加したくない」以外	左記設問・選択肢に該当

- 地域活動への参加希望割合は46.9%で、居住地区では「大東」(55.5%)などが高くなっています。

図 地域づくりへの参加意向のある高齢者(男女別)(既に参加している人も含む)

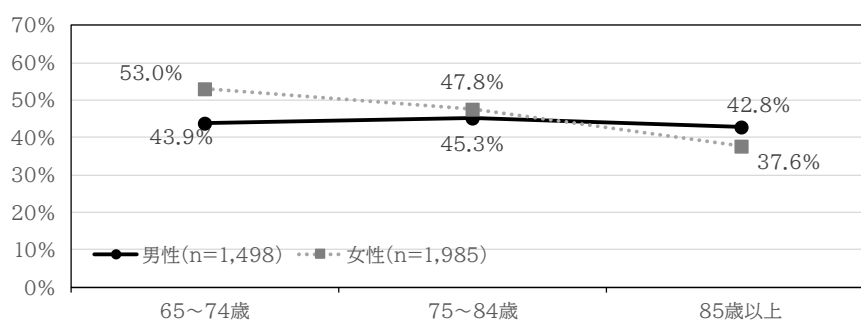
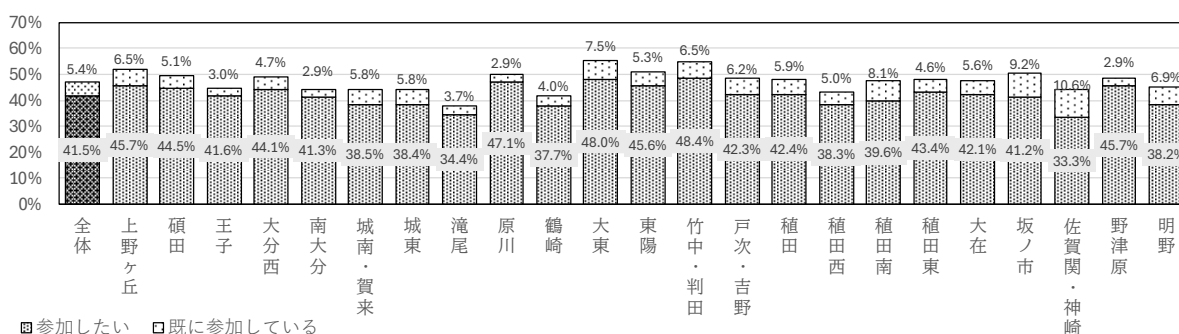


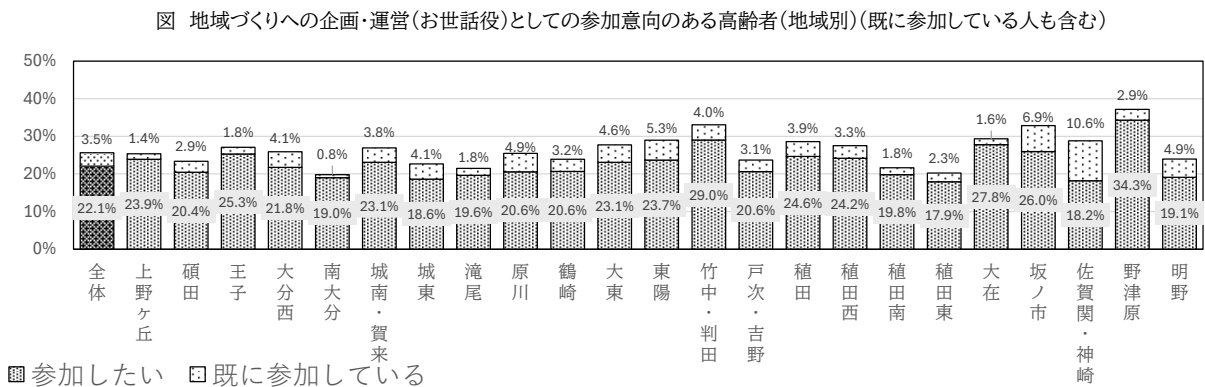
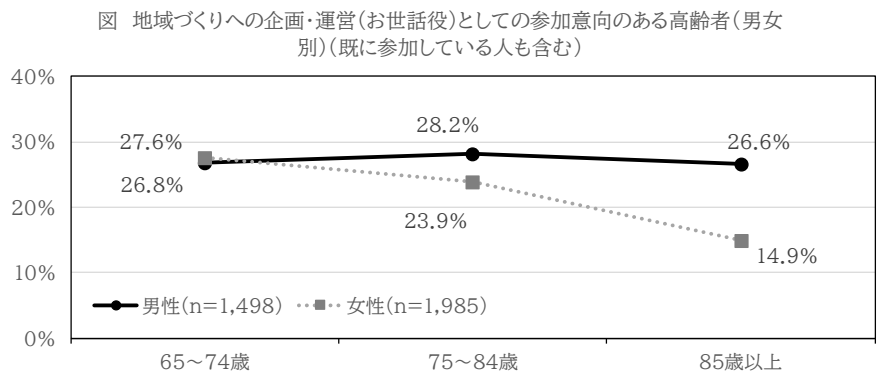
図 地域づくりへの参加意向のある高齢者(地域別)(既に参加している人も含む)



指標 E13 地域活動の企画・運営（お世話役）への参加希望割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問5(3)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思えますか	「3. 参加したくない」以外	左記設問・選択肢に該当

- 地域活動の企画・運営（お世話役）への参加希望割合は 25.6% で、居住地区では「野津原」（37.1%）などが高くなっています。



指標 E13-1 社会活動に参加していないと回答した高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問5(1)	地域での活動について ①ボランティアのグループ ②スポーツ関係のグループやクラブ ③趣味関係のグループ ④学習・教養サークル ⑤地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室など介護予防のための通いの場 ⑥老人クラブ ⑦町内会・自治会 ⑧収入のある仕事	「3. 参加したくない」以外	左記設問・選択肢に該当

- ・ 8項目の社会活動に参加していないと回答した高齢者の割合は 25.5%で、居住地区では「城東」(34.3%)などが高くなっています。

図 活動に参加していない高齢者(男女別)

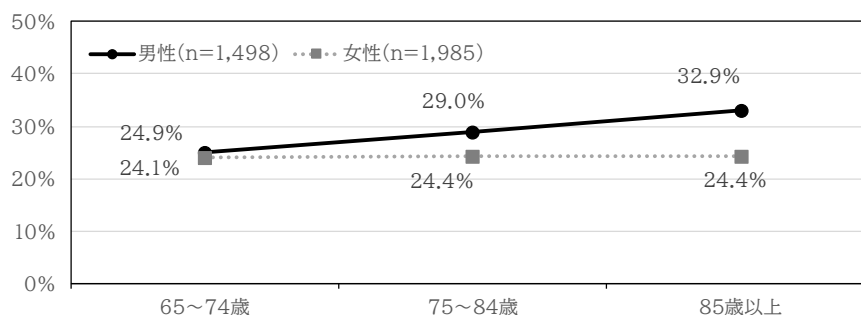
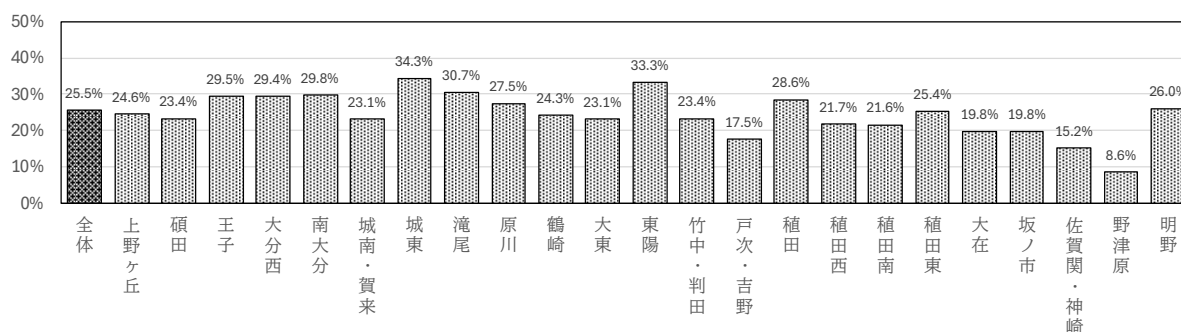


図 活動に参加していない高齢者(地域別)



指標 E14 転倒リスク高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」または「2. 1度ある」	左記設問・選択肢に該当

- ・ 転倒リスクの該当割合は31.0%で、居住地区では「佐賀関・神崎」(45.5%)などが高くなっています。

図 転倒リスク(男女別)

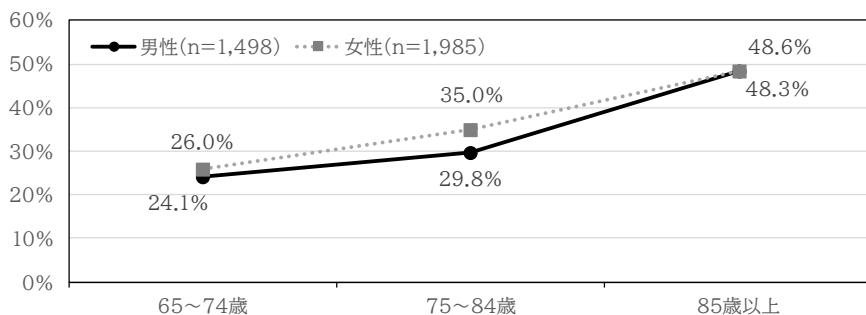
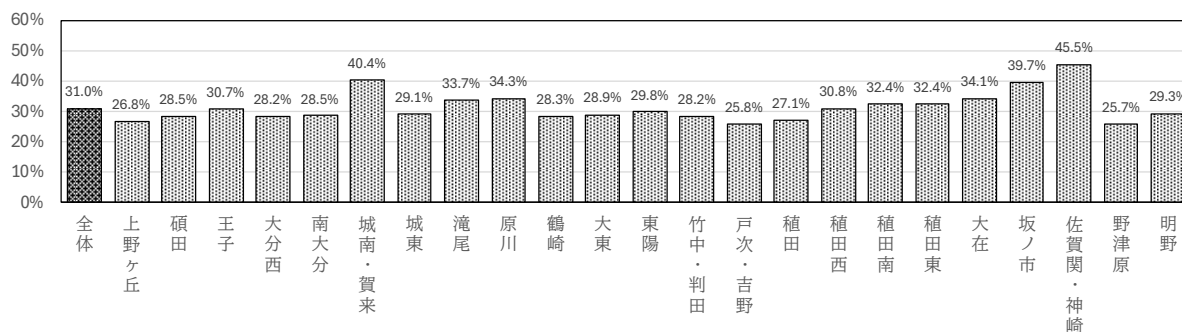


図 転倒リスク(地域別)



指標 E15 独居高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問1(1)	家族構成を教えてください	「1.1人暮らし」	左記設問・選択肢に該当

- 独居高齢者の割合は20.1%で、居住地区では「佐賀関・神崎」(31.8%)などが高くなっています。

図 独居高齢者(男女別)

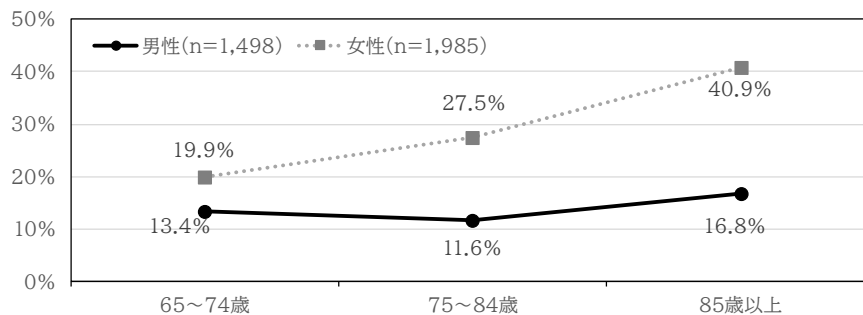
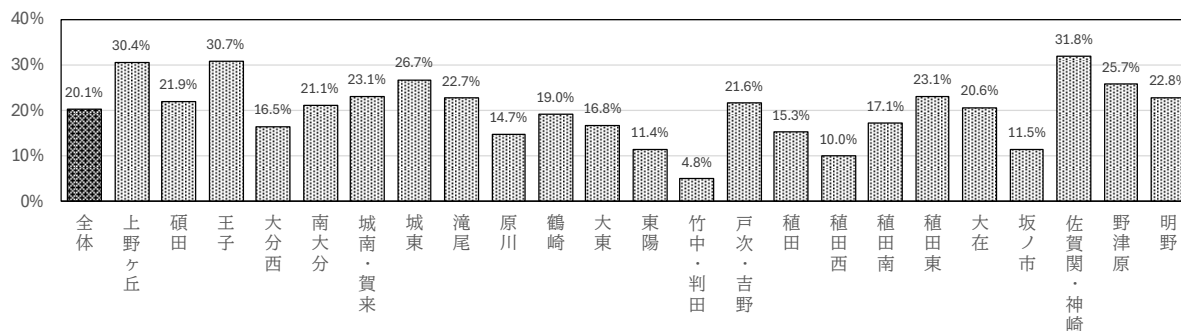


図 独居高齢者(地域別)



指標 E16 高齢者夫婦二人暮らし世帯の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問1(1)	家族構成を教えてください	「2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」	左記設問・選択肢に該当

- ・ 高齢者夫婦二人暮らし世帯の割合は45.9%で、居住地区では「東陽」(56.1%)などが高くなっています。

図 二人暮らし(配偶者65歳以上)(男女別)

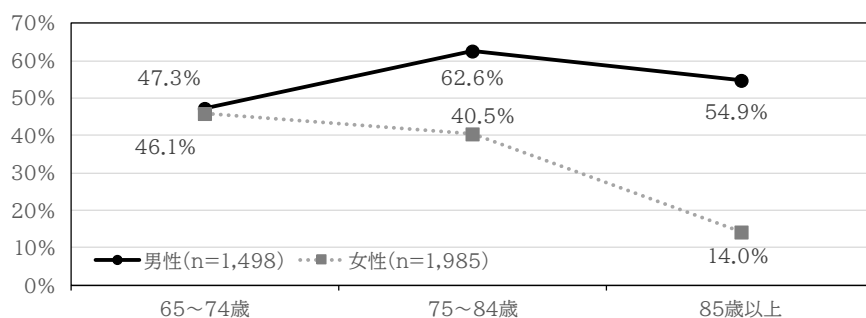
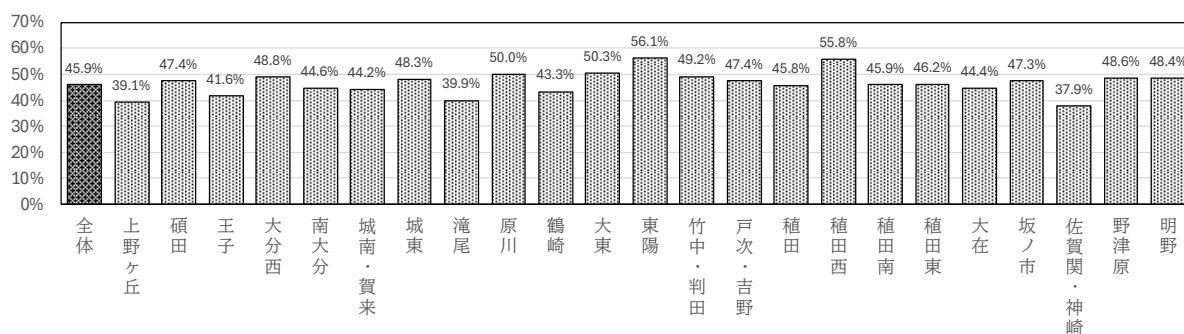


図 二人暮らし(配偶者65歳以上)(地域別)



指標 E17 配食ニーズありの高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問4(4)	自分で食事の用意をしていますか	「3.できない」	左記設問・選択肢に該当

- 自分で食事の用意ができない人を「配食ニーズあり」と定義すると、その割合は8.7%で、居住地区では「坂ノ市」(16.0%)などが高くなっています。

図 配食ニーズありの高齢者(男女別)

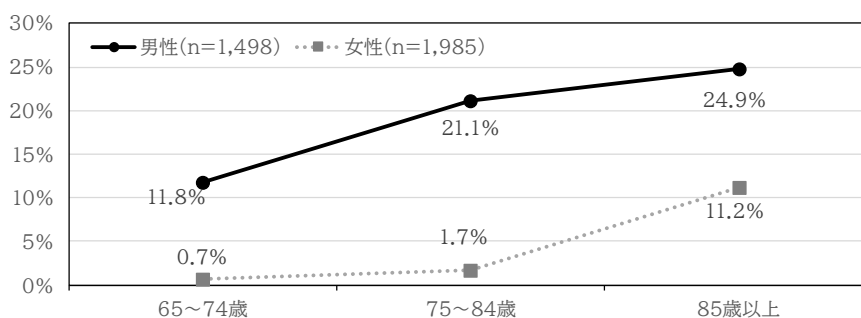
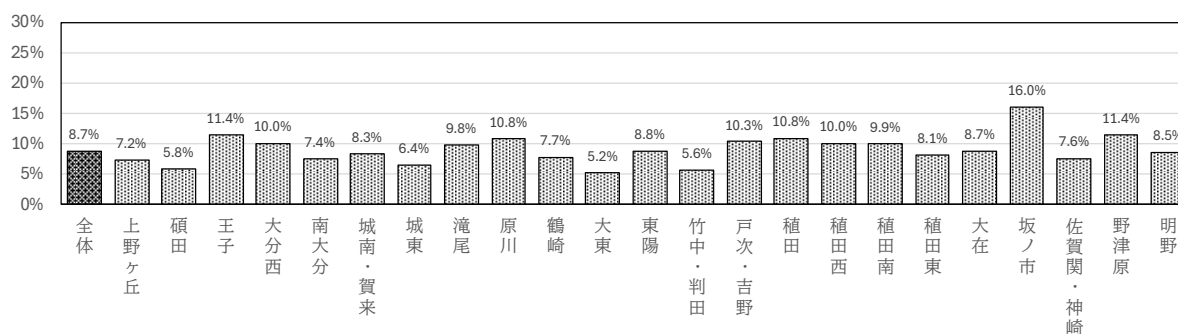


図 配食ニーズありの高齢者(地域別)



指標 E18 買い物ニーズありの高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問4(5)	自分で食品・日用品の買物をしていま すか	「3.できない」	左記設問・選択肢 に該当

- 自分で食品・日用品の買物ができない人を「買い物ニーズあり」と定義すると、その割合は3.7%で、居住地区では「坂ノ市」(7.6%)などが高くなっています。

図 買い物ニーズありの高齢者(男女別)

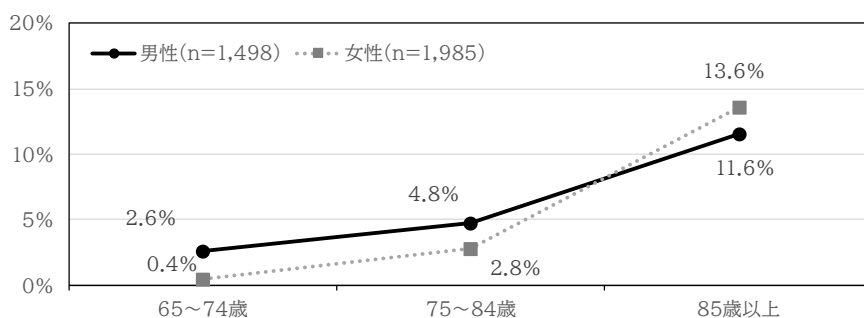
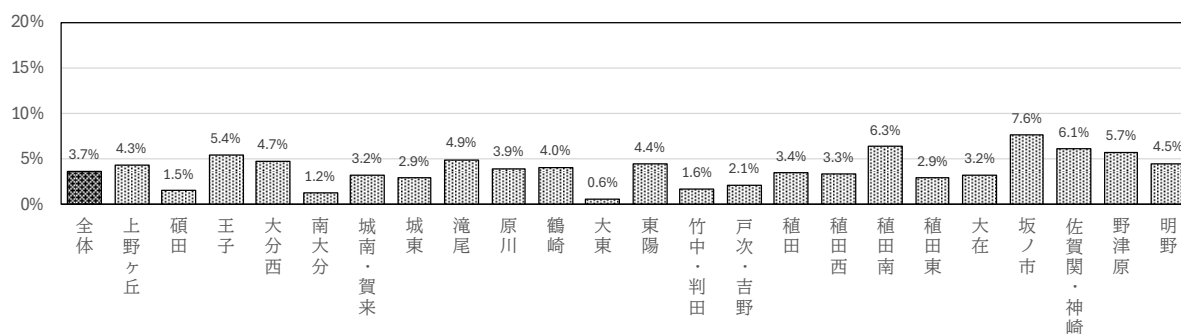


図 買い物ニーズありの高齢者(地域別)



指標 E19 介護が必要な高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問1(2)	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	「3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」	左記設問・選択肢に該当

- 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」での要介護・要支援者は5.8%で、居住地区では「野津原」(11.4%)などが高くなっています。なお、要介護・要支援者を対象に、別途、「在宅介護実態調査」を行っており、この割合は、その対象者を含んでいないため、対象者の一部であることに留意が必要です。

図 介護が必要な高齢者(男女別)

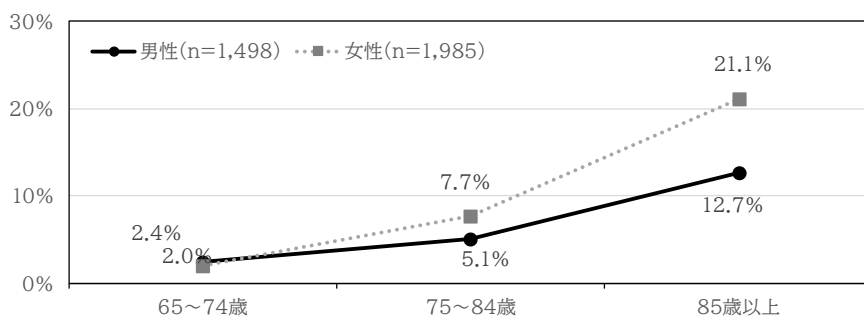
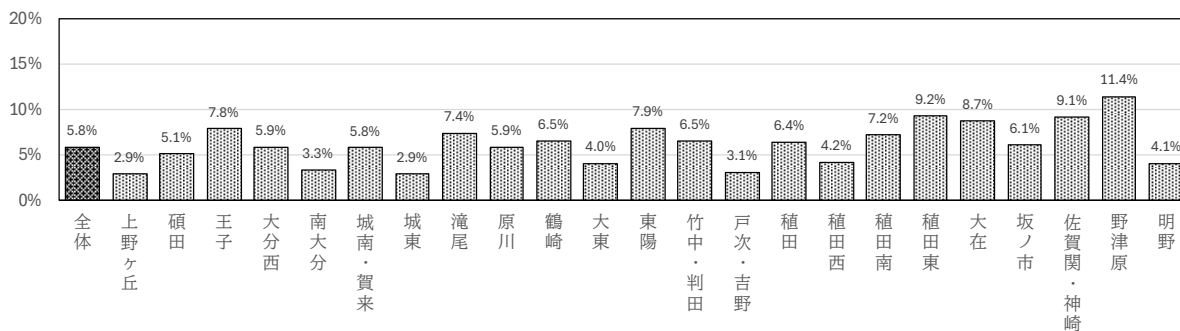


図 介護が必要な高齢者(地域別)



指標 E20 介護が必要だが現在は受けていない高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問1(2)	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」	左記設問・選択肢に該当

- 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」での介護が必要だが現在は受けていない高齢者の割合は6.8%で、居住地区では「佐賀関・神崎」(12.1%)などが高くなっています。なお、要介護・要支援者を対象に、別途、「在宅介護実態調査」を行っており、この割合は、その対象者を含んでいないため、対象者の一部であることに留意が必要です。

図 介護が必要だが現在は受けていない高齢者(男女別)

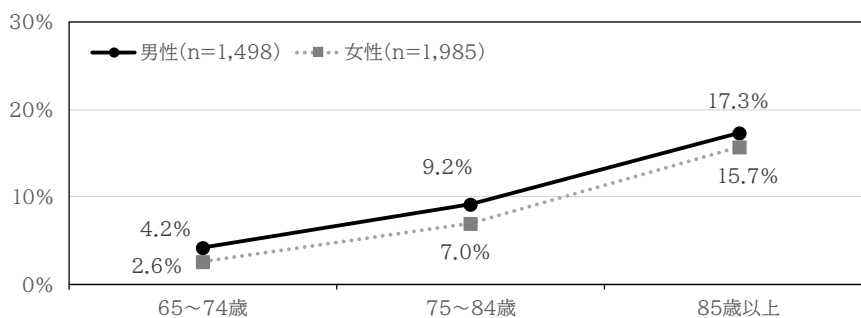
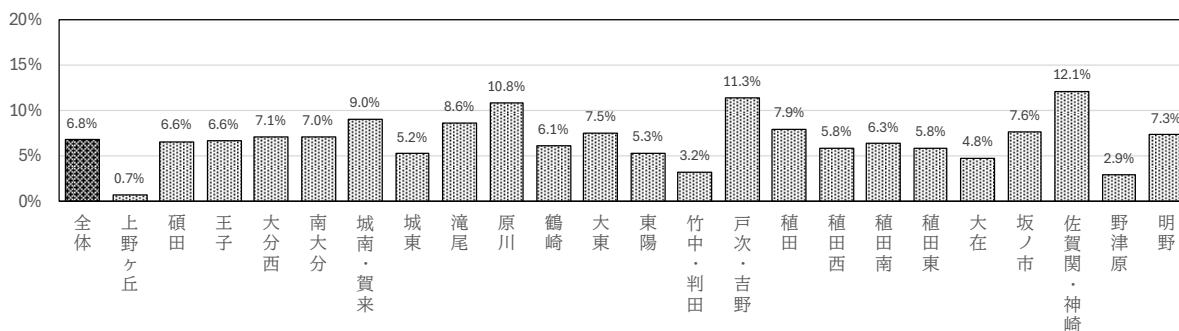


図 介護が必要だが現在は受けていない高齢者(地域別)



指標 E21 現在の暮らしが苦しい高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問1(3)	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	「1. 大変苦しい」	左記設問・選択肢に該当

- 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」での現在の暮らしが苦しい高齢者の割合は31.6%で、居住地区では「佐賀関・神崎」(42.4%)などが高くなっています。なお、要介護・要支援者を対象に、別途、「在宅介護実態調査」を行っており、この割合は、その対象者を含んでいないため、対象者の一部であることに留意が必要です。

図 現在の生活が苦しい高齢者(男女別)

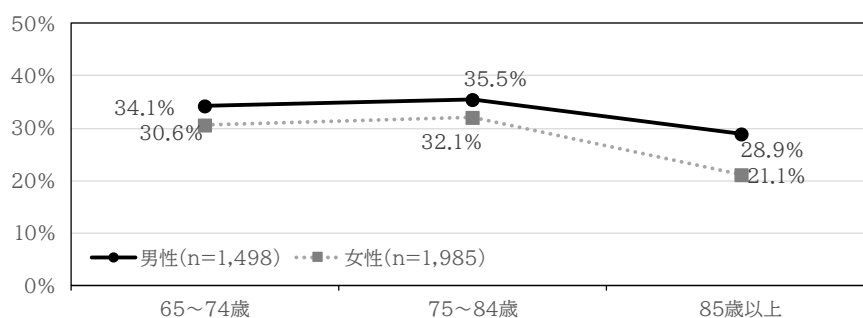
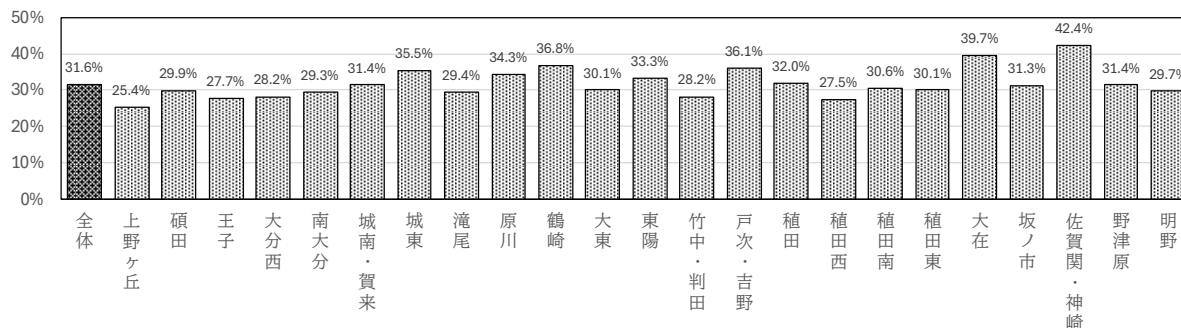


図 現在の生活が苦しい高齢者(地域別)



指標 E22 情緒的サポートをくれる相手がいる高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問7(1)	あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか(いくつでも)	「8. そのような人はいない」以外	左記設問・選択肢に該当

- ・ 情緒的サポートをくれる相手がいる高齢者の割合は94.3%で、居住地区では「大東」(97.7%)などが高くなっています。

図 情緒的サポートをくれる相手がいる高齢者(男女別)

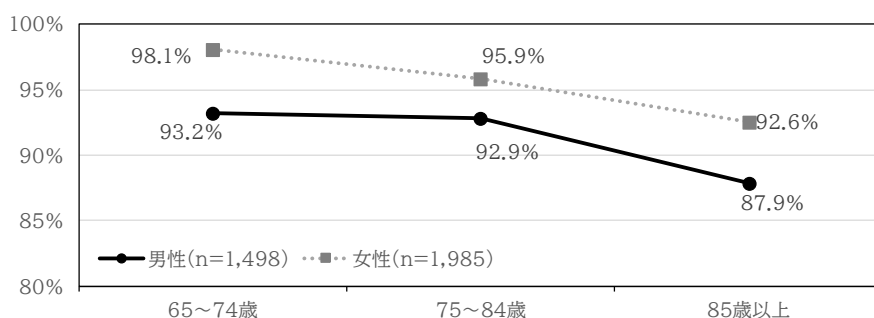
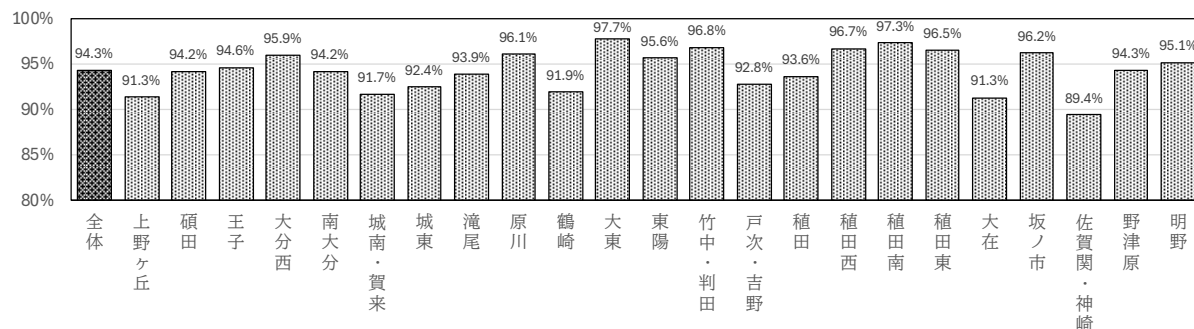


図 情緒的サポートをくれる相手がいる高齢者(地域別)



指標 E23 情緒的サポートを与える相手がいる高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問7(2)	反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか(いくつでも)	「8. そのような人はいない」以外	左記設問・選択肢に該当

- ・ 情緒的サポートを与える相手がいる高齢者の割合は90.9%で、居住地区では「竹中・判田」(97.6%)などが高くなっています。

図 情緒的サポートを与える相手がいる高齢者(男女別)

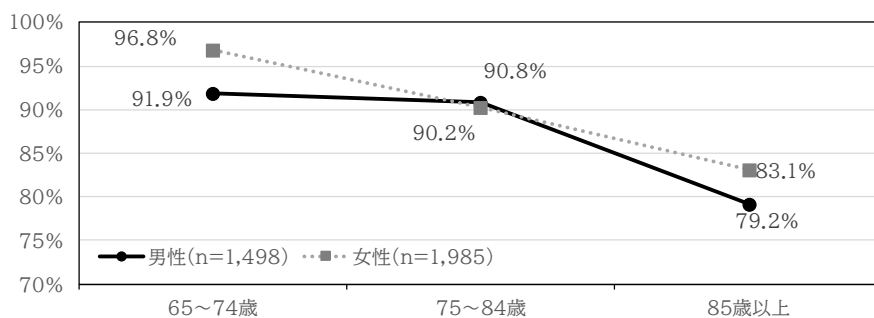
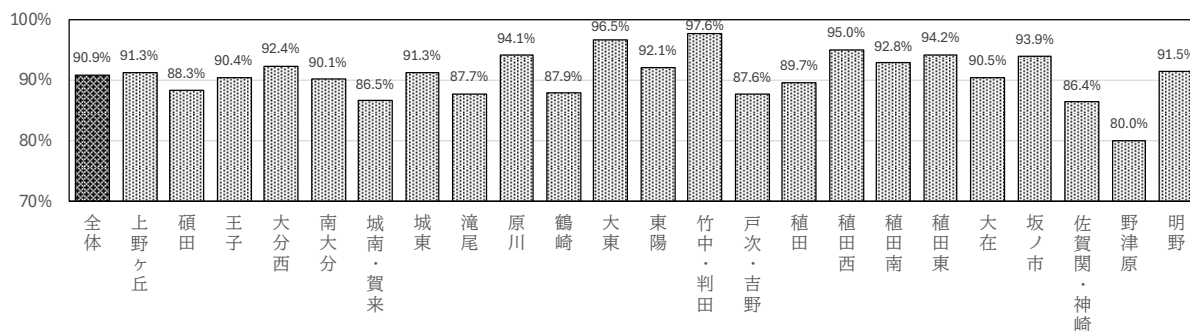


図 情緒的サポートを与える相手がいる高齢者(地域別)



指標 E24 手段的サポートをくれる相手がいる高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問7(3)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか(いくつでも)	「8. そのような人はいない」以外	左記設問・選択肢に該当

- 手段的サポートをくれる相手がいる高齢者の割合は90.5%で、居住地区では「植田西」(95.8%)などが高くなっています。

図 手段的サポートをくれる相手がいる高齢者(男女別)

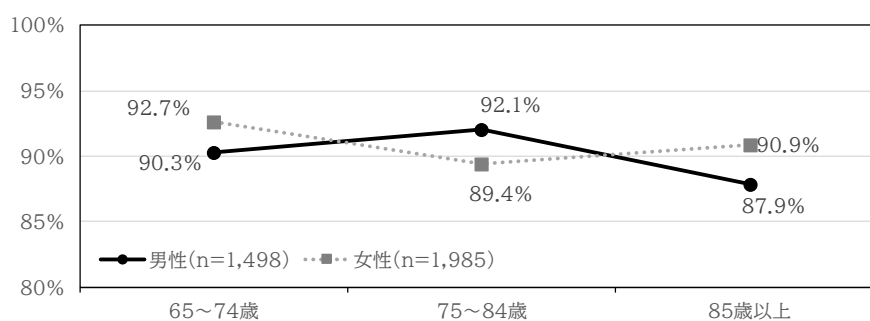
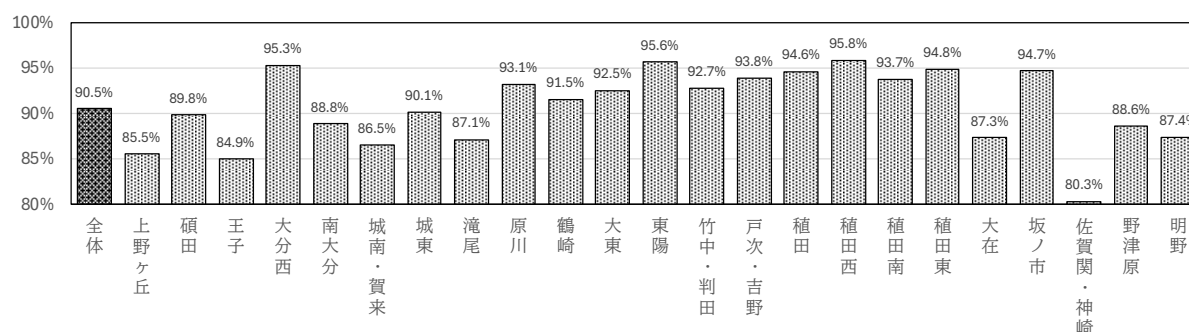


図 手段的サポートをくれる相手がいる高齢者(地域別)



指標 E25 手段的サポートを与える相手がいる者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問7(4)	反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか(いくつでも)	「8. そのような人はいない」以外	左記設問・選択肢に該当

- 手段的サポートを与える相手がいる高齢者の割合は82.4%で、居住地区では「原川」(92.2%)などが高くなっています。

図 手段的サポートを与える相手がいる高齢者(男女別)

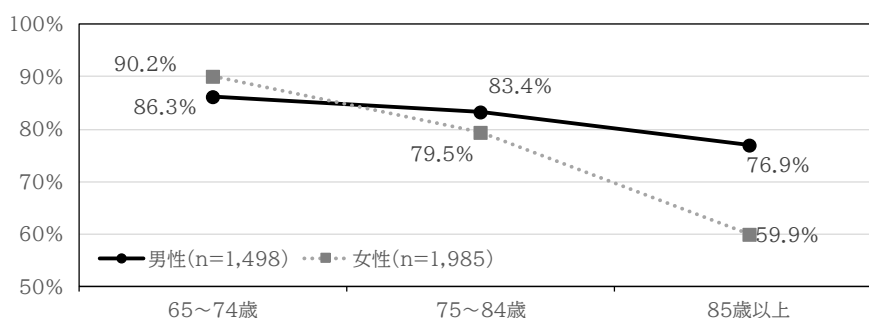
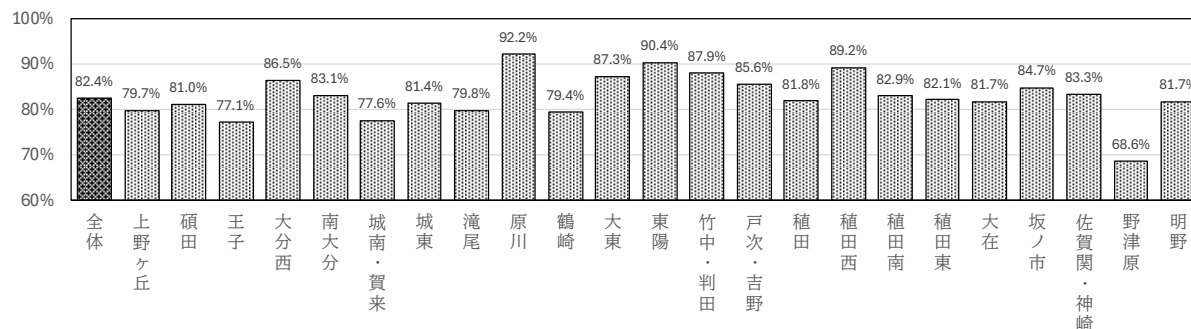


図 手段的サポートを与える相手がいる高齢者(地域別)



指標 E26 主観的健康観の高い高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問8(1)	現在のあなたの健康状態はいかがですか	「1.とてもよい」または「2.まあよい」	左記設問・選択肢に該当

- 主観的健康観の高い高齢者の割合は79.6%で、居住地区では「東陽」(88.6%)などが高くなっています。

図 主観的健康観の高い高齢者(男女別)

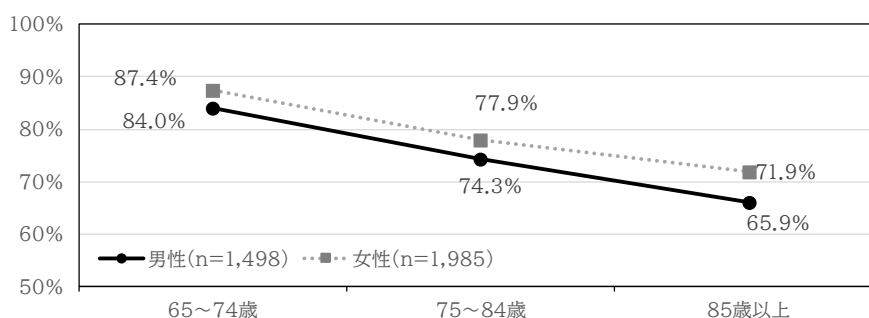
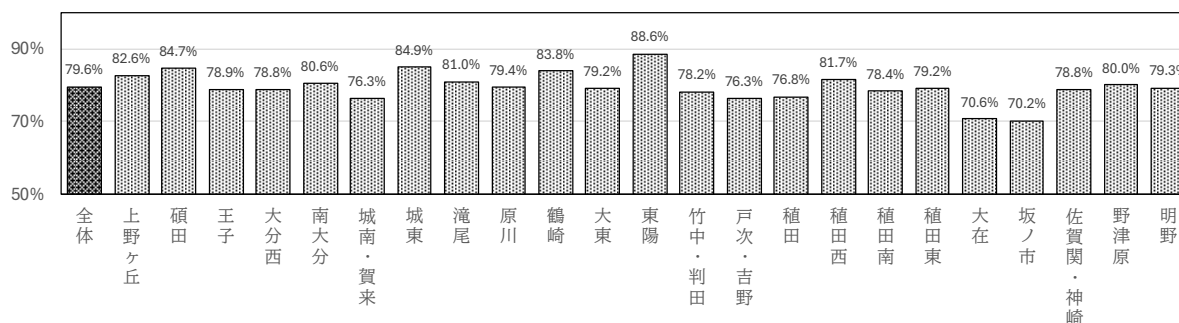


図 主観的健康観の高い高齢者(地域別)



指標 E27 主観的幸福観の高い高齢者の割合

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問8(1)	あなたは、現在どの程度幸せですか	8点以上	左記設問・選択肢に該当

- 主観的幸福観の高い高齢者の割合は48.7%で、居住地区では「竹中・判田」(59.7%)などが高くなっています。

図 主観的幸福観の高い高齢者(男女別)

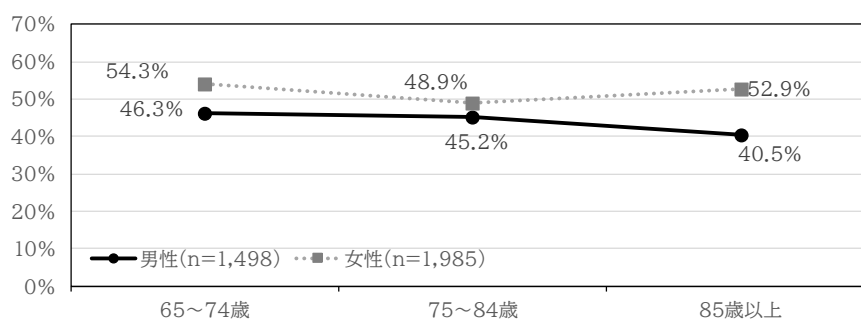
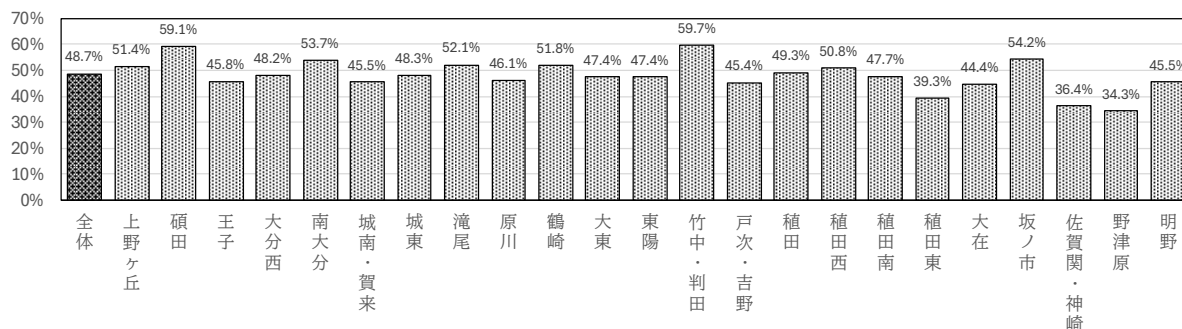


図 主観的幸福観の高い高齢者(地域別)



指標 F2 社会活動の週1回以上の参加率

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問5(1)	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ①ボランティアのグループ ②スポーツ関係のグループやクラブ ③趣味関係のグループ ④学習・教養サークル ⑤地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室など介護予防のための通いの場 ⑥老人クラブ ⑦町内会・自治会 ⑧収入のある仕事	いずれかの項目に「週4回以上」または「週2～3回」または「週1回」	左記設問・選択肢に該当

- ・ 8項目の社会活動の週1回以上の参加率は42.1%で、居住地区では「大東」(52.0%)などが高くなっています。

図 週1回以上の外出率(男女別)

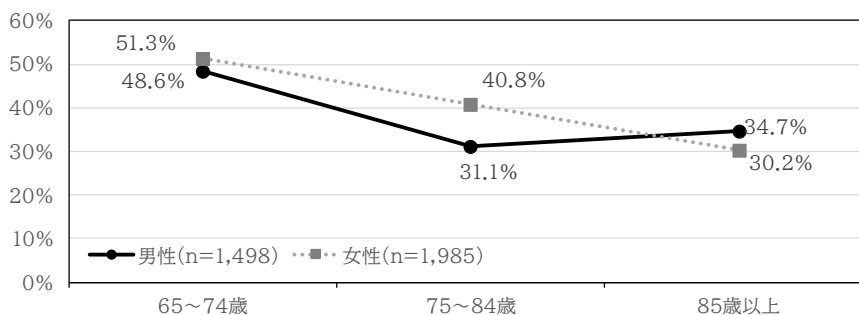
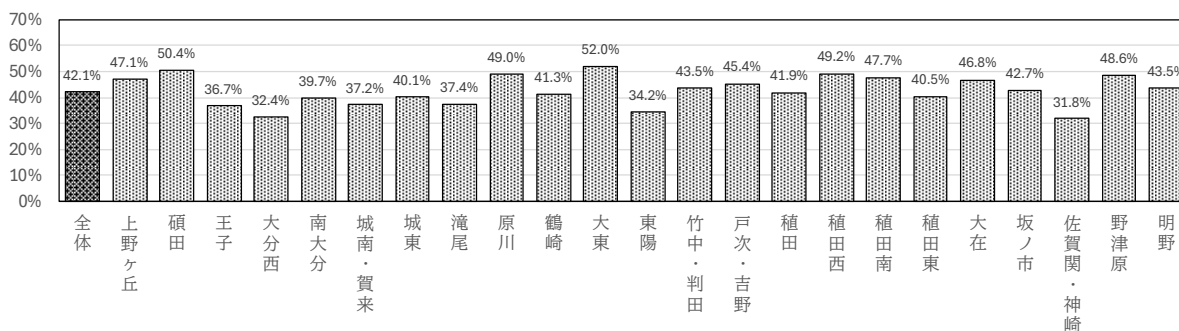


図 週1回以上の外出率(地域別)



指標 F3 有職率

設問番号	調査項目	選択肢	判定方法
問6(1)	現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも)	「3. 常勤(フルタイム)」「4. 非常勤(パート・アルバイト等)」「5. 自営業」のいずれか1つ以上	左記設問・選択肢に該当

- 有職率は27.9%で、居住地区では「竹中・判田」(37.1%)などが高くなっています。

図 有職率(男女別)

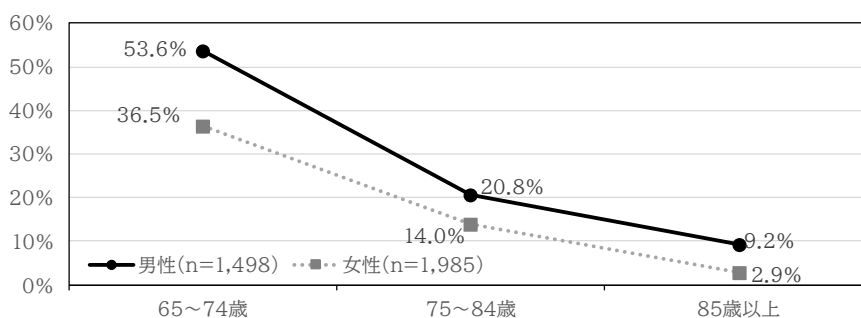
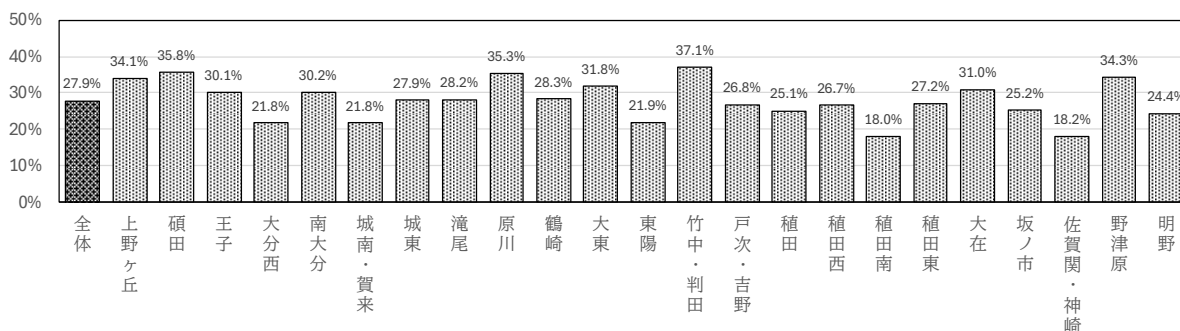


図 有職率(地域別)



IV 調査票



IV 調査票

大分市介護予防・日常生活圏域二一ス調査 調 査 票

日頃から、市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。
本調査票にご回答いただき、同封の返信用封筒（切手不要、氏名、住所の記入不要）に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。
なお、ご回答いただきました内容は統計的に処理し、効果的な介護予防等の政策立案と効果評価の目的以外に使用することはありません。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

大分市 長寿福祉課

基本属性	あなた（あて名のご本人）のことについて		
(1) あなた（あて名のご本人）の性別を教えてください			
1. 男性	2. 女性	3. その他	
(2) あなた（あて名のご本人）の年齢を教えてください			
1. 65～69歳	2. 70～74歳	3. 75～79歳	
4. 80～84歳	5. 85～89歳	6. 90～94歳	
7. 95歳以上			
(3) あなた（あて名のご本人）は、要介護認定の要支援1、要支援2または事業対象者に該当しますか			
1. 要支援1	2. 要支援2	3. 事業対象者	
4. 1から3に該当しない（要支援認定などを受けていない）			
(4) 調査票を記入されているのはどなたですか			
1. あて名のご本人	2. 本人以外（家族など）		

1

問1	あなたのご家族や生活状況について	
(1) 家族構成を教えてください		
1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	4. 息子・娘との2世帯	
5. その他		
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか		
1. 介護・介助は必要ない	2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	
3. 現在、何らかの介護を受けている （介護認定を受けず「家族などの介護を受けている場合も含む」）		
【(2)で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】		
① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（いくつでも）		
1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	2. 心臓病	3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（肺炎等）	5. 関節の病気（リウマチ等）	
6. 認知症（アルツハイマー病等）	7. パーキンソン病	8. 糖尿病
9. 腎疾患（透析）	10. 視覚・聴覚障害	11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷	13. 高齢による衰弱	
14. その他（ ）		
15. 不明		
【(2)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】		
② 主にどなたの介護・介助を受けていますか（いくつでも）		
1. 配偶者（夫・妻）	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他（ ）	

3

(5) お住まいはどの地区ですか。1～23の中から選んでください	
地区	日常生活圏域（中学校区）
大分	1. 上野ヶ丘 2. 磯田 3. 王子 4. 大分西 5. 南大分 6. 城南・賀束 7. 城東 8. 滝尾
鶴崎	9. 原川 10. 鶴崎 11. 大東 12. 東陽
大南	13. 竹中・判田 14. 戸次・吉野
穂田	15. 穂田 16. 穂田西 17. 穂田南 18. 穂田東
大在	19. 大在
坂ノ市	20. 坂ノ市
佐賀関	21. 佐賀関・神崎
野津原	22. 野津原
明野	23. 明野

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか			
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう	
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある		
(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか			
1. 持家（一戸建て）	2. 持家（集合住宅）		
3. 公営賃貸住宅	4. 民間賃貸住宅（一戸建て）		
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）	6. 借家		
7. その他			
(5) 自動車運転免許を持っていますか（自動車を運転していますか）			
1. はい（運転をしている）	2. はい（運転はしていない）	3. いいえ	

問2	からだを動かすことについて	
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(3) 15分くらい続けて歩いていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか		
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
(5) 転倒に対する不安は大きいですか		
1. とても不安である	2. やや不安	3. あまり不安でない
4. 不安でない		

4

(6) 週に1回以上は外出していますか

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか

1. はい 2. いいえ

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】
① 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

1. 病気 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配 (失禁) 5. 耳の障害 (聞こえの問題など)
6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない 10. その他 ()

5

(9) 外出する主な行先 (目的) はどこですか。主なもの3つお答えいただき、場所 (範囲) や移動手段も、それぞれお答えください

	行先 (目的)	場所 (範囲)	移動手段
記入例	2	C	オ
1つ目			
2つ目			
3つ目			

下記の番号や記号からそれぞれ選んでください

【行先 (目的) の選択肢】	【場所 (範囲) の選択肢】	【移動手段の選択肢】
1. 仕事場 (通勤) 2. 買い物 3. 医療機関 4. 金融機関 5. 公共施設 6. 地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室 7. 娯楽・趣味活動の場 8. 散歩 9. 食事 10. 親族・友人宅 11. その他	A. 自治区 B. 日常生活圏域 (中学校区) C. 支所管内エリア D. 市中心部 E. 市外 F. その他	ア. 徒歩 イ. 自転車 ウ. 自動車・バイク (自分で運転) エ. 自動車・バイク (人に乗せてもらう) オ. 路線バス カ. 鉄道 キ. タクシー ク. 病院や施設の送迎車 ケ. その他

(10) 外出についての希望や困りごとはありますか (いくつでも)

1. 今よりもっとひんぱんに (何度も) 外出したい (だけどできない)
2. 今よりもっと遠くまで外出したい (だけどできない)
3. 今の頻度や行先で満足している
4. できれば外出したくない
5. わからない

6

【(10)で「1. 今よりもっとひんぱんに (何度も) 外出したい」、「2. 今よりもっと遠くまで外出したい」と答えた方のみ、①と②に回答してください】
① 今よりもっと外出したい行先 (目的)、場所 (範囲) はどこですか。主なもの3つお答えください。(9)と同じ選択肢を選んでも構いません

	行先 (目的)	場所 (範囲)
記入例	3	B
1つ目		
2つ目		
3つ目		

下記の番号や記号からそれぞれ選んでください

【行先 (目的) の選択肢】	【場所 (範囲) の選択肢】
1. 仕事場 (通勤) 2. 買い物 3. 医療機関 4. 金融機関 5. 公共施設 6. 地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室 7. 娯楽・趣味活動の場 8. 散歩 9. 食事 10. 親族・友人宅 11. その他	A. 自治区 B. 日常生活圏域 (中学校区) C. 支所管内エリア D. 市中心部 E. 市外 F. その他

② 何があれば今よりもっと外出ができる (可能となる) と思いますか (いくつでも)

1. 交通手段 (移動手段) 2. 経済的な負担の軽減
3. 外出したいと思える場所 4. 病状の安定
5. 足腰などの痛みの解消 6. トイレ (失禁) の不安の解消
7. バリアフリー化やベンチの設置など 8. その他 ()

7

問3 食べることにについて

(1) 身長・体重を教えてください

身長 cm 体重 kg

(2) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか

1. はい 2. いいえ

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい 2. いいえ

(4) 食べることや口の中で気になることはありますか (いくつでも)

1. お茶や汁物などでむせることがある 2. 口の渇きが気になる
3. 噛み合わせが気になる 4. 気になることはない

(5) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください (成人の歯の総本数は親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(6) どなたかと食事をとる機会がありますか

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

1. はい 2. いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

8

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(4) 自分で食事の用意をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(7) 趣味はありますか(「1. 趣味あり」の方は()内に趣味を記入してください)		
1. 趣味あり → ()		
2. 思いつかない		
(8) 生きがいはありますか(「1. 生きがいあり」の方は()内に生きがいを記入してください)		
1. 生きがいあり → ()		
2. 思いつかない		
(9) 耳の聞こえが悪くなったと感じることはありますか		
1. いつもそう思う	2. 時々そう思う	
3. そう思ったことはない		
【(9)で「1. いつもそう思う」「2. 時々そう思う」の方のみ】		
① 聞こえについて耳鼻科医に相談しましたか		
1. 相談して、治療を受けている	2. 相談したが、治療は受けていない	
3. 相談するつもりがある	4. 相談するつもりはない	
(10) 補聴器を使用していますか		
1. 使用する必要がない		
2. 日常的に使用している		
3. 持っているが、ほとんど使用していない		
4. 以前使用していたが、今は使用していない		
5. 経済的な理由などで購入することができない		

9

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①～⑧それぞれに回答してください						
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室など介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
【⑤地域ふれあいサロン、健康づくり運動教室など介護予防のための通いの場において「6. 参加していない」の方のみ】						
(1) -1 参加していない理由を教えてください(いくつでも)						
1. 他の団体に入っている	2. 他の娯楽がある					
3. 魅力的に感じない	4. 役員をやりたいくない					
5. 仕事等で参加する時間がない	6. 名称に抵抗がある					
7. 交通の便が悪い	8. 他人との交流に関心が無い					
9. 健康面に不安がある	10. いつどこでしているのかわからない					
11. その他()						
【⑧収入のある仕事において「6. 参加していない」の方のみ】						
(1) -2 収入のある仕事に参加したいと思いませんか						
1. できる限り参加したい	2. 負担の少ない仕事であれば参加したい					
3. あまり参加したくない	4. 参加したくない					
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いませんか						
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している			
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いませんか						
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している			

10

問6 就労について		
(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも)		
1. 職に就いたことがない	2. 今は就労していない	3. 常勤(フルタイム)
4. 非常勤(パート・アルバイト等)	5. 自営業	6. 求職中
7. その他		

問7 人とのつながりについて あなたとまわりの人とのつながりについて教えてください		
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. 地域包括支援センター・役所	6. その他	7. そのような人はいない
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

11

(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(いくつでも)		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人	
6. ボランティア等の活動での友人	7. その他	8. いない
(8) 高齢者の総合相談窓口として、地域包括支援センターが設置されていることを知っていますか		
1. 知っている	2. 聞いたことはあるが詳しく知らない	3. 初めて聞いた

問8 健康について												
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか												
1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない									
(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)												
とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか												
1. はい			2. いいえ									
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか												
1. はい			2. いいえ									
(5) お酒は飲みますか												
1. ほぼ毎日飲む			2. 時々飲む				3. ほとんど飲まない					
4. もともと飲まない												
(6) タバコは吸っていますか												
1. ほぼ毎日吸っている			2. 時々吸っている				3. 吸っていたがやめた					
4. もともと吸っていない												

12

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	13. 血液・免疫の病気
14. うつ病	15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他 ()
(8) フレイルについて知っていますか フレイル: 病気ではないが、加齢により、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護状態の中間の段階のこと		
1. 聞いたことはあるし、意味も知っている		
2. 聞いたことはあるが、意味は知らない		
3. 初めて聞いた		

13

問10 医療や介護が必要になったときの過ごし方について	
(1) あなたは、健康状態や病気のことで気軽に相談でき、決まった診療を受ける「かかりつけ医」がいますか	
1. かかりつけ医がいる	
2. かかりつけ医といえる医師はいないがいつも受診する医療機関はほぼ決まっている	
3. そのような医師・医療機関はない	
(2) あなた自身の身体が虚弱になって、医療や介護が必要になったとき、主にどこで医療や介護を受けたいですか	
1. 自宅	
2. 病院などの医療機関への入院	
3. 施設などへの入所 (特別養護老人ホーム、有料老人ホームなど)	
4. わからない	
(3) あなたは、治る見込みがなく死期が迫っている (6か月あるいはそれより短い期間を想定) と告げられたとき、どこで過ごしたいと思いますか	
1. 最期まで自宅で過ごしたい	
2. 最期まで子どもや親戚の家で過ごしたい	
3. 自宅などで療養して、必要になれば医療機関に入院したい	
4. 医療機関に入院したい	
5. 老人ホームなどの施設に入所したい	
6. わからない	
7. その他 ()	
(4) あなたは、病気などで医療や介護が必要になったとき、住み慣れた自宅で生活するために何が重要だと思いますか (3つ以内で回答)	
1. 病院・診療の充実	
2. 往診してくれる「かかりつけ医」の存在	
3. 介護保険サービスの充実	
4. 家族の介護	
5. 地域の見守り	
6. 宅配サービス (食事・日用品)	
7. 24時間体制 (医療・介護)	
8. ボランティア	
9. 住宅の整備	
10. 公共交通機関の充実	
11. 特になし (施設入所希望)	
12. 特になし (病院希望)	
13. その他 ()	

15

問9 認知症について	
(1) あなたに認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか	
1. はい	
2. いいえ	
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか	
1. はい	
2. いいえ	
(3) あなたは、認知症に対してどのようなイメージを持っていますか (いくつでも)	
1. 認知症は誰にでも起こり得ることで、特別なことではない	
2. 認知症は早期対応で、進行を遅らせたり、改善ができる可能性がある	
3. 認知症になっても、自分らしく暮らし続けることができる	
4. 認知症になったら何もわからなくなる	
5. 認知症になったら家族や周囲に迷惑をかける	
6. 認知症になったら社会から孤立してしまう	
7. 特にイメージはない/わからない	
(4) 認知症になった場合を考えた備えをしていますか (いくつでも)	
1. 特に備えはしていない	
2. 認知症に関する情報を集めている	
3. 認知症予防につながる生活習慣 (運動、食事、趣味など) を意識している	
4. 家族や知人と話し合っている	
5. かかりつけ医を持っている	
6. その他 ()	
(5) もし認知症になった場合、どのような支援があると安心ですか (いくつでも)	
1. 気軽に相談できる場所があること	
2. 専門医療が受けられること	
3. 介護サービスが身近にあること	
4. 生活支援を受けられること	
5. 金銭管理のサポートを受けられること	
6. 社会参加の機会があること	
7. その他 ()	

14

問11 長寿応援バス (旧: ワンコインバス) について	
(1) 長寿応援バスを利用していますか	
1. はい	
2. いいえ (一問12へお進みください)	
【(1)で「1. はい」の方のみ、①~③にそれぞれに回答してください】	
① バスをどのくらい利用していますか	
1. ほぼ毎日	
2. 週3日程度	
3. 週1回程度	
4. 月に2~3日	
5. 月に1回程度	
6. 年に数日	
7. その他 ()	
② 長寿応援バス乗車証を取得後、バスに乗車する回数は増えましたか	
1. 増えた	
2. 変わらない	
3. 減った	
③ バスを利用している目的は何ですか (いくつでも)	
1. 買い物・食事	
2. 娯楽・観光・イベント参加	
3. サークルや教室	
4. 親族・友人宅	
5. 通院	
6. 役所・郵便局・金融機関	
7. 仕事・通勤	
8. その他 ()	

問12 ご意見・ご提案について

暮らしやすいまちづくりのために、ご意見・ご提案がありましたらお書きください。

アンケートは以上です。ご記入ありがとうございました。

16



令和7年度 大分市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和8年3月

発行：大分市福祉保健部長寿福祉課
〒870-8504 大分市荷揚町2番31号